

## 第15号議案

令和3年度に中学校において使用する教科用図書および中学校の特別支援学級において使用する学校教育法附則第9条第1項に規定する教科用図書の採択の適正を図るため、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第8条に定める採択基準と選定に必要な資料について

令和3年度に中学校において使用する教科用図書および中学校の特別支援学級において使用する学校教育法附則第9条第1項に規定する教科用図書の採択の適正を図るため、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第8条に定める採択基準と選定に必要な資料について、次のとおり定める。

令和2年6月11日

滋賀県教育委員会

---

別紙のとおり



# — 中 学 校 —

## 「選定に必要な資料」の活用について

国語	1
書写	9
社会（地理的分野）	17
社会（歴史的分野）	26
社会（公民的分野）	35
地図	43
数学	49
理科	60
音楽（一般）（器楽合奏）	69
美術	76
保健体育	83
技術・家庭（技術分野）	91
技術・家庭（家庭分野）	98
英語	105
道徳	115
参考資料	126

「選定に必要な資料」は、いずれの種目（教科）においても、次の４つから構成されている。

- ① 観 点 の 内 容：「観点」「観点のための研究調査事項」「指導についての留意事項」を示したもの
- ② 調 査 方 法：カウントした内容・項目について説明したもの
- ③ 調 査 結 果：「観点のための研究調査事項」について○印を入れて示したもの
- ④ 選 定 の た め の 参 考：各発行者の特長を総合的に文章表記したもの

# 中学校教科用図書「選定に必要な資料」の活用について

滋賀県教育委員会

## 1 「選定に必要な資料」作成にあたっての基本的な考え方

- (1) 「選定に必要な資料」を作成するにあたっては、文部科学省の指導通知にもとづき、各採択権者において、より参考となるよう内容の一層の工夫・充実を図った。
- (2) 研究調査については、種目（教科）ごとに学習指導要領に示された目標を達成するための観点を中心として、「観点」「観点のための研究調査事項」「指導についての留意事項」を設定し、客観性を重視した。
- (3) 「観点のための研究調査事項」については、種目（教科）ごとに各発行者の特長を○印で示した「**調査結果**」を作成した。他の教科書との比較の上、その教科書で重きを置いている研究調査事項の3つに○印を付した。
- (4) 「**選定のための参考**」については、「**調査結果**」をもとに、種目（教科）ごとに特長を総合的に文章表記した。

## 2 「選定に必要な資料」活用にあたっての留意事項

- (1) 「**選定のための参考**」を熟読し、調査研究に活用すること。
- (2) 「**調査結果**」の○印のみに注目することなく、総合的に研究調査をすること。
  - ① 「**調査結果**」の○印と併せて、教科書での取扱い・取り上げ方についても、十分調査研究をすること。
  - ② 「**調査結果**」の元資料として、観点のための研究調査事項について、項目数やページ数をカウントして作成した「**調査結果（数値）**」を、参考までに資料の最後に添付している。
- (3) 「研究調査事項」については、「指導についての留意事項」で示した内容をふまえて研究調査に活用すること。
- (4) 「**調査方法**」については、種目（教科）ごとに示しているので、「**調査結果**」を見る際の参考にすること。

# 国語

東京書籍

三省堂

教育出版社

光村図書

## 観点の内容

### 国語科 目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉の特徴や使い方に関する事項を取り上げている箇所数</li> <li>・ 情報の扱い方に関する事項を取り上げている箇所数</li> <li>・ 我が国の言語文化に関する事項を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉の働きや語感を磨き語彙を豊かにすること、話や文章に含まれている情報の扱い方に関することを身に付けること、また、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることなどについて指導するよう留意する。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話したり聞いたりする活動や話し合う活動を取り上げ、「話すこと・聞くこと」の学習過程を明確に示している箇所数</li> <li>・ 説明的な文章や実用的な文章、文学的な文章を書く活動を取り上げ、「書くこと」に関する学習過程を明確に示している箇所数</li> <li>・ 説明的な文章、文学的な文章、本などから情報を得て活用する活動を取り上げ、「読むこと」の学習過程を明確に示している箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「話すこと」「聞くこと」「話し合うこと」の学習過程に共通して示された「話題の設定、情報の収集、内容の検討」に関する指導事項や目的や場面に応じて、必然性をもって学習を進めるように留意する。</li> <li>・ 「書くこと」の学習過程が一層明確に整理され、「題材の設定、情報の収集、内容の検討、構成の検討、考えの形成、記述、推敲、共有」となった。文章を読み合う上で、特に「共有」の指導事項に留意する。</li> <li>・ 「読むこと」の学習過程が「構造と内容の把握」「精査・解釈」「考えの形成、共有」の三つで示された。「読むこと」領域においては、[知識及び技能]の「読書」に関する事項との関連に留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領に記載してある言語活動例が示されている箇所数</li> <li>・ 国語科の学習が読書活動に結び付いている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科及び学年の目標において挙げられている態度等を養い、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」の育成が一層充実するように留意する。</li> <li>・ 自ら進んで読書をし、読書を通して人生を豊かにしようとする態度を養うように留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 国語 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の特徴や使い方に関する事項を取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 相手の行動を促す働きについての記載、話し言葉と書き言葉、事象や行為・心情を表す語句、辞書的な意味と文脈上の意味との関係に関する箇所、類義語、対義語、同音異義語、多義的な意味を表す語句、慣用句、四字熟語、和語、漢語、外来語に関する箇所</li> <li>・情報の扱い方に関する事項を取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 原因と結果、意見と根拠、具体と抽象という情報の関係に関する箇所、分類、関係付け、引用、出典に関する箇所、情報の信頼性の確かめ方に関する箇所</li> <li>・我が国の言語文化に関する事項を取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 古典、言葉の由来や変化、共通語と方言に関する箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p style="text-align: center;">思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話したり聞いたりする活動や話し合う活動を取り上げ、「話すこと・聞くこと」の学習過程を明確に示している箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 話題の設定や情報の収集、内容の検討に関する箇所</li> <li>・説明的な文章や実用的な文章、文学的な文章を書く活動を取り上げ、「書くこと」に関する学習過程を明確に示している箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「題材の設定、情報の収集、内容の検討、構成の検討、考えの形成、記述、推敲、共有」に関する箇所</li> <li>・説明的な文章、文学的な文章、本などから情報を得て活用する活動を取り上げ、「読むこと」の学習過程を明確に示している箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「構造と内容の把握」「精査・解釈」「考えの形成、共有」に関する箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p style="text-align: center;">学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に記載してある言語活動例が示されている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 紹介、報告、質問、助言、評価、議論、討論、記録、案内、詩・短歌・俳句・物語・随筆などの創作、手紙、電子メールに関する箇所</li> <li>・国語科の学習が読書活動に結び付いている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 進んで読書をすること、読書を生活に役立てること、読書を通して自己を向上させることに関する箇所</li> <li>※新聞、雑誌を読んだり、調べるための資料を読んだりすることを含む。</li> </ul>

調査結果

国語

		観点A			観点B			観点C	
		知識及び技能			思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
研究調査事項	発行者	言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報 の扱い 方に関 する事 項を取 り上げ ている 箇所数	我が国 の言語 文化に 関する 事項を 取り上 げている 箇所数	話し たり聞 いたり する活 動や話 すこと の学習 過程を 明確に 示してい る箇所 数	学理的 な文章 や実用 的な文 章、文 程を明 確に示 してい る箇所 数	説明的 な文章 、文学 的な文 章、本 文など から情 報を得 て活用 する活 動を取 り上げ 、「読む こと」 の学習 過程を 明確に 示してい る箇所 数	学習指 導要領 に記載 されて いる言 語	国語科 の学習 が読書 活動に 結び付 いている 箇所数
		東京書籍	1年生	○	○		○		
2年生	○				○	○			
3年生	○			○				○	
三省堂	1年生		○			○	○		
	2年生					○	○		○
	3年生			○			○	○	
教育出版	1年生	○	○	○					
	2年生	○					○	○	
	3年生	○	○					○	
光村図書	1年生			○				○	○
	2年生			○	○				○
	3年生		○		○				○



種目名 国語	発行者名	東京書籍
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の扱い方に関する事項では、整理する力、分析する力、議論する力、解釈する力、表現する力、伝え合う力という項目を立て、それぞれについて「学びを支える言葉の力」として巻末にまとめられている。これにより、各項目について系統立てて学習することができ、整理して捉えることができる。</li> <li>・言葉の特徴や使い方に関する事項では「他教科で学ぶ漢字」として教科横断的な言語の学習をすることができる。また、各学年ともに「扉の詩」「扉の短歌」「扉の俳句」として、日本言語文化に関する内容を紹介しており、学習段階に応じて生徒の興味関心をひくように工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの扉」では日常の場面から出てくる課題が漫画で示されており、それを導入として基礎編「学びを支える言葉の力」で深く学ぶことができる。</li> <li>・目標を意識して「読むこと」の観点では「てびき」、「書くこと」「話すこと・聞くこと」の観点では「学習の手順」が示されており、考えを深めることができる。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」の観点が充実しており、完成作品例だけでなく途中段階の具体例なども示されているので、活動に取り組むときの参考にすることができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域全てにおいて、言語活動が取り入れられている。「話すこと・聞くこと」の題材としては、日常生活を意識したものが設定されており、生徒の興味・関心を促すように工夫されている。</li> <li>・読み物教材には、各教材に「てびき」が掲載されており、学習を進める中で、自分の考えを書いたり、話し合ったりする言語活動が取り入れられている。</li> </ul>	

種目名 国語	発行者名	三省堂
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「集めた情報を分類して整理する」という教材があり、また、資料編には「情報探しの方法」「引用と著作権」「メモを活用する」がまとめられており、様々な場面で資料の収集・整理・活用ができるようになっている。</li> <li>・古典教材に関連した説明文があり、日本独自の文化を学ぶことができ、古典教材も厳選されており、「和歌の技法」や三大和歌集の特徴が詳しくまとめられている。また、資料編に「能・狂言の世界」があり、古典特有の言い回しや日本文化芸能を学習することができる。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」の観点が充実している。「学びの道しるべ」では、見通しから振り返りまでの手順が示されており、「学びを広げる」で自主学習にも対応した課題なども設定されている。</li> <li>・一つの読み物教材を学んだあと、「読み方を学ぼう」という項目があり、直前の教材を例に読み方を図解している。それをもとに他教材、他教科での学習、日常の読書などに活用することができる。</li> <li>・「表現プラザ」では、随筆を創作したり、変わり身の上話を作ったりして、自分の考えを表現する活動に取り組めるようになっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物教材の末尾に、「私の本棚」として教材に関連した作品を3冊ずつ紹介している。また、巻末の「小さな図書館」では、6つのテーマに分けて図書を紹介している。</li> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域全てにおいて、言語活動が取り入れられ、「読むこと」の領域では、「学びの道しるべ」で、自分の考えをまとめたり、話し合ったりする言語活動が設定されている。</li> </ul>	

種目名 国語	発行者名	教育出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の学習として「漢字の広場」が設けられており、漢字学習がしやすいように工夫されている。また、言葉について「文法・言葉の小窓」と巻末の「解説編」で詳しく説明されていたり、「表現に役立つ言葉」がまとめられていたりするため、学習しやすくなっている。</li> <li>・「四季のたより」には歌人の歌が紹介されており、言語文化に触れるように工夫されている。また、1年生の古典教材で「箱に入った桃太郎」を取り上げ、初めての古典学習に興味・関心をもたせるように工夫されている。さらに、巻末に「百人一首」の記載もある。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」の観点が充実している。「持続可能な未来を創るために」という教材では、国連の「持続可能な開発目標」と深く関係する17の目標に関連した読み物が掲載されており、自分の考えを形成する足掛かりとなっている。</li> <li>・それぞれの教材の前に「学びナビ」があり、導入として作品を読むポイントが示されている。また、「こう読み深めよう」という項目では、詩の題名を比喩や象徴という視点から考えるなど、読みを深めるポイントも示されている。</li> <li>・「学びのチャレンジ」では、様々な文章や資料を読んで、思考力・判断力・表現力を高める総合的な問題が設けられている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域全てにおいて、言語活動が設定されており、生徒の言語活動を充実させるように工夫されている。</li> <li>・読み物教材については、各教材に「みちしるべ」という学習の手引きがあり、自分の考えをまとめたり、伝え合ったりする言語活動が取り入れられている。</li> </ul>	

種目名 国語	発行者名	光村図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生の古典の学習のはじめに、3年間で学習する古典教材が明示しており、見通しをもって学習することができる。また、「季節のしおり」として日本独自の作品が紹介されており、語感を磨き、語彙を豊かにすることができるように工夫されている。</li> <li>・ 3年生でインターネットやA I、新聞記事の比較など、身近にある情報に関する分野の内容を多く扱っている。また、「情報整理のレッスン」として発想を広げたり、情報を整理したりする方法がまとめられている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「話すこと・聞くこと」の観点が充実しており、どの学年にも「聞き上手になろう」の項目があるなど、3年間で段階的にレベルアップし、系統性のある学習をすることができるように工夫されている。</li> <li>・ 「思考を広げる」「思考を整理する」「思考を深める」として、思考を視覚化したり、マッピングで広げたりと、様々な思考法を使って課題を解決する項目がある。</li> <li>・ 「学習の窓」では、学習を通して身に付ける力のポイントを具体的に示している。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み物教材の末尾の「広がる読書」や「本の世界を広げよう」では、図書を紹介し、「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」では、読書に親しむ姿勢を育むように工夫されている。</li> <li>・ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域全てにおいて、言語活動が取り入れられている。教材には、日常生活に関連した題材を多く取り上げている。</li> </ul>	

# 書 写

東 京 書 籍

三 省 堂

教 育 出 版

光 村 図 書

## 観点の内容

### 国語科 書写 目標

- (1) 文字を正しく整えて速く書くことができる。
- (2) 書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てる。
- (3) 硬筆による書写の能力の基礎を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 字形、文字の大きさ、配列の例示の箇所数</li><li>・ 楷書や行書の書き方についての注意例の箇所数</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 楷書と行書や漢字とかなとの関連的な指導を工夫し、目的や必要に応じた書き方を判断したり効果的に文字を書いたりできるように留意する。</li></ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 手本となっている文字の数</li><li>・ 手本に関わる例示の箇所数</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 硬筆及び毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、毛筆を使用する書写の指導により、硬筆による書写の能力の基礎を養うように留意する。</li></ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 書写の能力を生かす様々な場面（模造紙にまとめる、手紙を書くなど）の紹介例の箇所数</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 書写の学習で身に付けた資質・能力を、各教科等の学習や生活の様々な場面で積極的に生かすように留意する。</li></ul>

## 調査方法

### 種目名【 書写 】

観点	調査する内容・項目についての説明
A 知識及び技能	・字形、文字の大きさ、配列の例示の箇所数について調査を行った。 例) 字形、文字の中心、字間、かなと漢字の調和の注意点などの箇所  ・楷書や行書の書き方に関する注意例の箇所数について調査を行った。 例) 筆脈、点画の形や方向、筆順等の比較による留意点に関する記述箇所
B 思考力・判断力・表現力等	・楷書、行書の手本の数について調査を行った。  ・手本から確認する事項や留意点、特徴についての箇所数について調査を行った。 例) 実際に字を書くときの、点画、筆順等の留意点に関する記述箇所
C 学びに向かう力・人間性等	・目的に応じて効果的に書くなど、様々な場面の紹介例の箇所数について調査を行った。 例) 手紙を書く、作品を作る、メモをする、ポスターやレポートにまとめる、新聞やリーフレットで発信する、掲示する等、日常生活に生かすための記述箇所

調査結果

書写

	観点A		観点B		観点C
	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等
研究調査事項 発行社	の字 箇形、 所文、 数字の 大き さ、 配列 の例 示	楷書 や行 書の 書き 方につ いての 注	手本 となっ ている 文字の 数	手本 に関わ る例示 の箇所 数	書写の 能力を 生かす 様々な 場面 （模造 紙にま とめる 、手紙 を書く など） の紹介 例の箇 所数
東京書籍		○		○	○
三省堂		○	○	○	
教育出版	○		○	○	
光村図書	○	○			○



種目名 書写	発行者名	東京書籍
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楷書と行書の使い分けについて、また、点画の書き方や字形、仮名の書き方、書く動き、配列など書写で学ぶことを「書写のかぎ」として系統立てて示している。例えば、配列の整え方について、学習事項や既習事項としてインデックスで示し、何を学んでいるのか生徒が見てすぐに分かるように工夫されている。</li> <li>・ 1年生では、行書の動きをパターン化し、「四つの動き」として分かりやすく示している。2年生の行書の学習の中でも、「四つの動き」が丸で囲んで示され、学んだことを次の学年に生かせるように工夫されている。</li> <li>・ 単元の最後に「まとめ」のページがあり、学習事項を振り返ることができるようになっている。「書写テストに挑戦しよう」を設け、知識の定着と学力の向上が図れるようになっている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楷書の書き方について、ノートの書き方の二つの例を示して文字の大きさと配列について気づかせたり、ポイントを意識できていない例を示すことで、字形と配列を整える書き方に気づかせたりできるように工夫されている。</li> <li>・ 「見つけよう」で生徒の学習意欲を引き立て、「書写のかぎ」で学び、「生かそう」で理解が深まるように工夫されており、手本で学んだことを他にも生かすことができるよう書き込み欄が設けられている。</li> <li>・ 毛筆では、手本は見開きの左側、点画・筆順の留意点などは右側に固定して配置されており、見やすいように工夫されている。また、毛筆の手本の半紙の部分には他の要素を入れず、紙面全体に使用する色の数を押さえるなど、生徒の集中を妨げないように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「生活に広げよう」では、ノートやメモ、手紙、本のポップ、パンフレットなどの作品例を紹介し、場面に応じた書き方や筆記具が示されており、書写で身に付けた知識・技能が他教科の学習や特別活動などで生かせるように工夫されている。</li> <li>・ 巻末の「書写活用ブック」では、原稿用紙の使い方やレポートの書き方、新聞の書き方など、様々な場面での書き方が紹介され、実生活で生かせるように工夫されている。</li> <li>・ 「文字のいずみ」では、古文をなぞり書きする活動や、文字の成り立ちと移り変わり、伝統的な用具・用材、世界の文字などに関するコラムを数多く掲載し、我が国の伝統的な言語文化や世界の文字文化に親しめるようになっている。</li> </ul>	

種目名	書写	発行者名	三省堂
観点	選 定 の た め の 参 考		
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字形の整え方と筆使い、点画、配列など、どのようなところに気をつけて書けばよいのかを具体的な字形例とともに「書き方を学ぼう」として示されている。また、巻末に全ての「書き方を学ぼう」が楷書と行書に分けて一覧としてまとめられている。</li> <li>・行書の隣に楷書を並べて例示することで、違いやポイントになる部分が分かりやすくなっている。例えば、「楷書に調和する仮名」と「行書に調和する仮名」を並べて提示することで、「行書に調和する仮名は、流れるように書いて筆脈を意識する。」ことが見て分かるようになっている。</li> <li>・毛筆学習の後には、硬筆で確かめる「書いて身につけよう」を設け、学習内容の定着を図ったり、他の文字に応用したりできるように工夫されている。</li> </ul>		
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手本が大小に関わらず豊富で、行書と楷書の両方が示されており、違いを考えられるようになっている。</li> <li>・毛筆では、手本は見開きの左側、点画・筆順の留意点などは右側に固定して配置されており、分かりやすくなっている。また、巻末資料には毛筆補充教材として手本がまとめて例示されている。硬筆の手本は上に、書き込み欄は下に配置し、利き手に関わらず手本を見て書けるように配慮されている。</li> <li>・二次元コードを読み込むと動画を見ることができ、姿勢と構え方、筆や鉛筆の持ち方など、書写の基本動作を確認することができるようになっている。</li> </ul>		
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「やってみよう」では、新聞、情報誌などの作品例を紹介し、書写で身に付けた知識・技能が他教科に生かせるように工夫されている。</li> <li>・3年生では、「身のまわりの文字」として現代まで続く文字の歴史や文化を取り上げるとともに、文字に関わる仕事をしている人物を紹介し、文字文化の豊かさに親しめるようになっている。</li> <li>・巻末に「日常の書式」、「書写の広場」が「資料編」としてまとめられており、便箋や封筒の書き方、はがきの書き方など日常生活で生かせるように紹介されている。</li> </ul>		

種目名 書写	発行者名	教育出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年生では、行書の筆使いについて分かりやすい言葉で丁寧に説明し、行書の基礎的な書き方を理解できるように工夫されている。例えば、「連続」や「変化」「省略」「筆順の変化」など、行書を書くときのポイントとなる言葉が手本に示されていて分かりやすくなっている。</li> <li>・ 毛筆で学習したことが、硬筆で生かせるような教材の構成になっている。巻末に「書写テストで確認」が配置され、3年間の学びが確認できるように工夫されている。</li> <li>・ 半紙形を維持した紙面によって、書き始めの位置や字形の整え方、文字の大きさと余白のとり方などが、より実感できるように工夫されている。中心線や中心点を入れ、生徒たちに意識させたいところが見て分かるように示されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手本が豊富で、筆の動きを矢印で表すとともに、筆圧も図で表し、丁寧に説明されている。また、巻末に実物大の書き初めの手本が例示されている。</li> <li>・ 毛筆では、手本は見開きの右側、点画・筆順の留意点等は左側に固定して配置されており、朱筆の手本には筆順が細かく示されている。また、とめ、払いなど注意すべき箇所については、筆の絵を用いて説明が加えられており、イメージしやすいように工夫されている。</li> <li>・ 文学作品をなぞり書きする箇所が豊富に掲載され、国語科の学習に生かすことができるようになっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「コラム」では、「文字の変遷」や「季節の行事と書写」など、我が国の伝統的な言語文化に親しめるようになっている。</li> <li>・ 「学習を生かして書く」が単元のまとめとして配置されている。学習の復習だけでなく、レポートや手紙、新聞の書き方など他教科の学習に生かせるように工夫されている。</li> <li>・ ノートの書き方や立て看板、クラス旗など学校生活の中で生かせるよう、多岐にわたって紹介されている。</li> </ul>	

種目名 書写	発行者名	光村図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を分解し、点や画でできていることを分かりやすく示すとともに、点や画がどのようなものなのか生徒たちが理解しやすいように工夫されている。</li> <li>・「考えよう」で、楷書と行書の違いなどを見つけ、「確かめよう」で部分的に詳しく説明するなど定着を図るための工夫がされている。また、「書写ブック」が切り離して使えるようになっており、毛筆で学習したことが硬筆でも生かせるように工夫されている。</li> <li>・全教材に始筆、送筆、終筆、筆圧、筆使い、配列など学習のポイントがひと目で分かる「学習の窓」を設け、他の文字を書く時にも活用できる基礎・基本・原理・原則が明確に示されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半紙と同じ大きさの手本が横向きに配置されている。別のページには、同じ手本の縦向き配置が示されている。また、手本の横にその学習でポイントとなる部分が赤で小さく示されていて、生徒たちが気をつけるポイントが分かりやすいように工夫されている。</li> <li>・毛筆の手本の各ページに二次元コードが配置されており、各文字の筆使いを見ることができ、自学自習できるように工夫されている。</li> <li>・文学作品をなぞり書きする手本などが掲載された「書写ブック」を取り外して、国語科の学習でも活用できるように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙、はがき、入学願書、送り状などが「日常に役立つ書式」としてまとめられており、実生活に生かせるように工夫されている。別冊の書写ブックの中の、はがき大の用紙は、切り取って実際に送ることができるようになっている。</li> <li>・「コラム」で、文字の歴史や古文を掲載し、伝統的な言語文化に親しめるようになっている。</li> <li>・壁新聞作りや、目標を書く、年賀状を書く活動などが、書写で身に付けた知識・技能を使って、日常のどのような場面で生かされるのかが目次に示されていて、分かりやすくなっている。</li> </ul>	

# 社 会

(地理的分野)

(历史的分野)

(公民的分野)

## 観点の内容

### 社会科 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して、社会における様々な場面で活用できる、概念などに関する知識について理解させるための学習内容の箇所数</li> <li>・ 調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける学習内容の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単に知識を身に付けることではなく、基礎的・基本的な知識を確実に習得しながら、既得の知識と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、学習内容の深い理解と、個別の知識の定着を図るとともに、社会における様々な場面で活用できる、概念などに関する知識として獲得するよう留意する。</li> <li>・ 小学校の社会科での学習を踏まえるとともに、高等学校の地理歴史科、公民科での学習を視野に、中学校社会科の学習において生徒が身に付けることが目指される技能を繰り返し活用し、その習熟を図るよう留意する。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する学習内容の箇所数</li> <li>・ 社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする学習内容の箇所数</li> <li>・ 思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする学習内容の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習対象としている社会的事象自体が様々な側面をもつ「多面性」と、社会的事象を様々な角度から捉える「多角性」とを踏まえて考察するよう留意する。</li> <li>・ 現実社会において生徒を取り巻く多種多様な課題に対して、「それをどのように捉えるのか」、「それとどのように関わるのか」、「それにどのように働きかけるのか」といったことを問う中で、それらの課題の解決に向けて自分の意見や考えをまとめることができるよう留意する。</li> <li>・ 考察、構想（選択・判断）したことを、資料等を適切に用いて論理的に示したり、その示されたことを根拠に自分の意見や考え方を伝え合い、自分や他者の意見や考え方を発展させたり、合意形成に向かおうとしたりするよう留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする学習内容の箇所数</li> <li>・ 社会的事象について、多面的・多角的な考察や深く理解させるための学習内容の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会的事象について主体的に調べ分かつようとして学習上の課題を意欲的に解決しようとする態度や、よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に考察、構想（選択・判断）したことを社会生活に生かそうとする態度を養うよう留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 社会 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して、社会における様々な場面で活用できる、概念などに関する知識について理解させるための学習内容の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「中世」や「近世」といった時代の特色を踏まえた学習内容の箇所</li> <li>・調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付ける学習内容の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「中世の日本」を大観するなど、自分の言葉で表現する学習内容の箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する学習内容の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「他地域とのつながり」などを踏まえた学習内容の箇所</li> <li>・社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする学習内容の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「環境問題」などを踏まえた学習内容の箇所</li> <li>・思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする学習内容の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「雨温図」を用いて気候の特色を捉えるなどの学習内容の箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする学習内容の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「持続可能な社会」の実現を目指そうとするなどの学習内容の箇所</li> <li>・社会的事象について、多面的・多角的な考察や深く理解させるための学習内容の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「対立と合意」に着目して考察しようとするなどの学習場面の箇所</li> </ul>

# 社会（地理的分野）

東京書籍

教育出版

帝国書院

日本文教出版



調査結果

社会(地)

	観点A		観点B			観点C	
	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
研究調査事項  発行者	活用できる知識について理解するための	我が国の歴史、現代の政治、経済、国際関係等に關する	社会的現象の意味や意義、特色	社会に見られる課題の解決に向	思考・判断したことを説明したりす	社会的現象について、よりよい	社会的現象について、多面的・
東京書籍	○	○					○
教育出版	○		○			○	
帝国書院	○			○	○		
日本文教出版			○		○		○

種目名 社会 (地理的分野)	発行者名	東京書籍
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「チェック」と「トライ」では、学習課題を提示することで、学習内容が確実に定着するよう工夫されている。</li> <li>・思考の整理に適した多様な思考ツールを紹介し、課題解決のための単元のまとめ方を例示している。</li> <li>・単元のまとめでは、探究課題を解決するヒントを示し、様々な情報を効果的にまとめられるように工夫している。</li> <li>・随所に「スキルアップ」「集める」「読み取る」「まとめる」が設定され、諸資料を読み取ったり、まとめたり、活用したりすることができる。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のまとめである「みんなでチャレンジ」では、グループ学習などを通して多面的・多角的に考察することのできる課題追究の具体例を示している。</li> <li>・「トライ」や「見方・考え方」では、学習したことを説明する活動を通して地理的な見方・考え方を働かせて考えられるよう工夫されている。</li> <li>・単元ごとに「探究課題を解決しよう」というコーナーが設けられており、「どのような」や「なぜ」と問うことで、思考を深めさせる工夫がされている。</li> <li>・随所に「考える」場面が設定され、理由を予想させたり、考えさせたりして、思考力・判断力・表現力を高める工夫がされている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地理にアクセス」では、環境問題や経済問題など身近な問題を取り上げ、学習上の課題を意欲的に追究できるように促している。</li> <li>・随所にキャラクターによる吹き出しのコメントがあり、多面的・多角的な考察や深く理解するためのヒントが示されており、各単元の探究課題を解決しやすい工夫がされている。</li> <li>・「みんなでチャレンジ」では、グループ活動をしたり、思考ツールを活用したりすることで、主体的に課題を解決する学習の仕方を示している。</li> </ul>	

種目名 社会（地理的分野）	発行者名	教育出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容が詳しく丁寧に取り扱われており、基礎的・基本的な知識が確実に習得できるよう記述されている。</li> <li>・「地理の窓」では、社会の変化による今日的な課題が反映された事象が教材化されており、様々な場面で活用できるよう工夫されている。</li> <li>・「地理の技」では、個人やグループの活動を通じて、地理の授業で身に付けるべき技能を修得できるよう工夫されている。</li> <li>・本編ページの最後に「確認」が設けられ、学習事項の定着が図られるように構成されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を進めながら常に地図を活用でき、多面的・多角的に考察できるように構成されている。</li> <li>・各ページに「確認」と「表現」を設け、様々な角度から考察できるように工夫されている。</li> <li>・国際理解教育を通して、世界に見られる課題の解決に向けて、選択・判断する学習内容が記載されている。</li> <li>・単元末の「学習のまとめと表現」では、課題に対して話し合う内容が用意されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の在り方」の単元では、自分たちが暮らす地域の課題を選定し、その課題について調査を行い、解決方法を考えたり、地域に向けて提案したりする学習が設定されている。</li> <li>・地域調査の方法を学ぶ学習においては、テーマについてまとめたレポートをクラスで話し合ったり意見交換を行ったりするなど、対話的な学習の場面が設定されている。</li> <li>・地域調査では、教え合いや学び合いによる協働学習を通して、多角的に理解したり考えを深めたりして、新たな知識の習得や学習意欲の向上が図れるよう工夫されている。</li> </ul>	

種目名 社会 (地理的分野)	発行者名	帝国書院
観点	選定のための参考	
<p>A 知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き1時間の紙面が、学習を見通せる「学習課題」「本文」の展開で構成され、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付けられるようになっている。</li> <li>・1時間ごとの授業で学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構成され、基礎的・基本的な知識・技能が確実に身に付けられるようになっている。</li> <li>・世界と日本の諸地域の単元では、各州の地形や気候などの自然環境を人々の生活と関連づけながらつかめるように工夫されている。</li> <li>・地域の姿が見える写真やイラストなどの資料が多く、情報を効果的にまとめられるようになっている。</li> </ul>	
<p>B 思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「節の学習を振り返ろう」と「地域の在り方」が関連しているため、世界や日本の課題を自分たちの身の回りの課題と関連付けて考えることができるようになっている。また、「章の学習を振り返ろう」では、「章の問い」に対して、地理的な見方・考え方を働かせて考える学習課題が設定されている。</li> <li>・単元ごとの最初の問いを明示することで、見通しをもって課題追究学習に取り組めるように工夫されている。</li> <li>・社会的に見られる課題の解決に向けて、理解の助けとなる資料の写真が数多く使用されている。</li> <li>・多くの本文ページには、「説明しよう」の問いが設けられており、自分の意見や考えをまとめることによって、言語活動の充実を図れるよう工夫されている。</li> </ul>	
<p>C 学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くのページで写真や地図、グラフなどが大きく見やすく提示されており、興味をもって取り組むことができるようにしている。</li> <li>・人々の生活と環境では、衣・食・住など興味をもって課題を解決できるよう工夫されている。</li> <li>・「地理プラス」が多く設定されており、地理的事象について多面的・多角的に考察できるようになっている。</li> </ul>	

種目名 社会 (地理的分野)	発行者名	日本文教出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページで、それぞれ学習課題が明確に示されている。</li> <li>・「確認」コーナーで基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着をねらいとしている。</li> <li>・単元の最後のページに学習のまとめにあたる「ふりかえるコーナー」を設けて、学習の振り返りの助けとなるようにしている。</li> <li>・生徒が身に付けることが目指されている技能を繰り返し活用し、その習熟を図れるよう留意している。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を進めながら、常に地図や写真を活用でき、多面的・多角的に考察できるよう構成されており、各ページに「見方・考え方」のコーナーを設け、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせられるよう留意している。</li> <li>・「見方・考え方」のコーナーでは、学習課題の解決に向けた手がかりとなる地理的な見方・考え方の例を示している。</li> <li>・各ページの「確認」コーナーでは、学習内容の理解を確かにする問いを用意し、「説明しましょう」という問いかけで、自分の意見を伝え合い合意形成に向かわせるように工夫している。</li> <li>・単元末の「アクティビティ」では、具体的な課題を自ら調べたり、クラスで議論したりする活動を通して思考を深められるように構成されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ページにある「資料活用」の問いでは、より深く学び、主体的に解決しようとする学習内容が取り上げられている。</li> <li>・「地域の在り方」では、社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう、地域を構成する具体例や地域の課題が紹介されている。</li> <li>・「地域調査の手法」では、自分の言葉で表現し、他者の考えを認めた上で自分の考えを発展させることができる。</li> </ul>	

# 社会（歴史的分野）

東京書籍

教育出版

帝国書院

山川出版社

日本文教出版

学び舎

育鵬社

調査結果

社会(歴)

	観点A		観点B			観点C	
	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
研究調査事項  発行者	学習内容の箇所数 活用できる概念などに関する	我が国の歴史、現代の政治、経済、国際関係等に關する知識を身に付ける学習内容の箇所数	社会的な事象の多面的・多角的に考察する学習内容の箇所数	社会に於ける課題の解決に向けての選択・判断の学習内容の箇所数	思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする学習内容の箇所数	社会的な事象について、よりよい解決しようとする学習内容を主体的に解決しようとする学習内容を	社会的な事象について、多面的・多角的に学習内容を理解させるための学習内容の箇所数
東京書籍	○	○			○		
教育出版	○				○	○	
帝国書院	○					○	○
山川出版社			○	○		○	
日本文教出版		○	○		○		
学び舎	○			○			○
育鵬社	○			○	○		

種目名 社会（歴史的分野）	発行者名	東京書籍
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとに「学習課題」を示し、見通しをもって学習が進められるように構成されている。また、「チェック」課題が設定されており、「学習課題」に関連した問い（共通点や理由など）を本文から抜き出し、知識の確認ができるようになっている。</li> <li>・章末の「基礎・基本のまとめ」では、章で学習した内容の説明や年表などの資料から知識の確認ができるようになっている。</li> <li>・「スキルアップ」「集める」「読み取る」「まとめる」では、歴史地図やイラストなどの資料から、内容を読み取る課題が設定されている。また、「見方・考え方」では、他の時代の資料と比較しながら効果的に調べ、まとめられるよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとに「トライ」課題が設定されており、時代による比較や特色をまとめるもの、歴史学習をふまえて現代社会における課題について考えるもの、単位時間ごとの学習内容を文章でまとめ説明するものが設定されている。</li> <li>・章の最後に「学習のまとめ」があり、文章を効果的に書くためのガイドがキャラクターの吹き出しによって紹介されている。</li> <li>・「みんなでチャレンジ」の課題では、グループによる対話などにより、学習内容を深めることができる。</li> <li>・「まとめの活動」では、思考ツールを活用し、時代や出来事の特徴を捉える課題が設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末「歴史に学び、未来へと生かそう」では、歴史学習を振り返りながら、持続可能な社会の実現に向けて自分たちができることを考える学習が用意されるとともに、テーマ設定やまとめ方の例が紹介されており、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>・人物や「歴史にアクセス」などのコラム、「もっと歴史」という特設ページがあり、多面的・多角的に歴史を考察できるよう工夫されている。また、その内容が、環境・エネルギーなど教科書を貫く5つのテーマのどれであることを明示している。</li> </ul>	



種目名 社会（歴史的分野）	発行者名	教育出版
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとの「学習課題」には、学習内容のポイントとなる言葉が用いられ、見通しをもって学習できるようになっている。また、「確認」課題が設定されており、その時間の学習を振り返りながら基礎・基本となる語句を確認することができる。</li> <li>・章末の「学習のまとめと表現」では、年表や歴史地図から知識の理解について確認することができる。</li> <li>・「歴史の技」では、写真や風刺画などの資料から、その時代背景を探究する発問が設定されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとの「表現」では、単位時間ごとの学習内容を文章でまとめ説明する課題が設定されている。</li> <li>・節ごとに「節のまとめ」があり、キーワードを用いて時代の特徴を説明する課題が設定されている。また、章の最後「〇章のまとめ」では、資料を活用し説明する学習がある。</li> <li>・各時代の最後には、次時に向けた「時代の変化に注目しよう」という課題が設定されており、次回の学習内容に繋がるヒントとなっている。</li> <li>・「身近な地域の歴史を調べよう」では、単元の内容についてより詳しく調べ、新たに身近な課題を見つけ、より深い思考につながるよう設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末「歴史を振り返って未来を構想しよう」では、歴史学習をふまえながら現代社会の課題について考え、よりよい未来を開くためにどのようなことができるかを考える学習が用意されている。また、現代社会の課題を考える際の参考として、「SDGsの17の目標」の紹介がされており、主体的に取り組める工夫がされている。</li> <li>・「歴史の窓」というコラムや、「身近な地域の歴史を調べよう」「歴史を探ろう」という特設ページがあり、歴史を多面的・多角的に考察するための学習が用意されている。特に「歴史を探ろう」では、中世の女性や子どもの労働、近世の江戸のリサイクルなど、現代社会の課題とも関連するテーマが取り上げられている。</li> </ul>	

種目名 社会（歴史的分野）	発行者名	帝国書院
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節のはじめには、節を見通した問いが掲載されているとともに、節の問いに対応した「学習課題」が設定され、見通しをもって学習を進めることができる。</li> <li>・小单元ごとに「確認しよう」という課題が設定されており、学習内容を振り返り、習得した知識を活用して言語活動につなげることができる。</li> <li>・「タイムトラベル」では、文章だけではイメージが難しい内容について、イラストによって視覚的に確認できる。また、タイムトラベルと関連した内容については、本文に注釈として赤字で記載されており、分かりやすい。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとの「説明しよう」では、単位時間ごとの学習内容を文章でまとめ説明する課題が設定されている。</li> <li>・時代の区切りごとに、その当時の様子を描いた「タイムトラベル」のイラストがあり、図を比較させて時代の特色を考えさせるようにしている。</li> <li>・章の最後では、時代の特色を説明させるポイントを「ステップ」ごとに示し、まとめの文章を書くためのガイドとなっている。</li> <li>・「歴史学習のまとめ」では、未来に向けて、現代の課題について考える設定となっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末「多面的・多角的に構想する—未来に向けて」では、現代社会の課題を一つ選び、歴史学習をふまえながら、その課題解決に向けて何をしていくべきかを考える学習が用意されている。また、その課題の歴史的な経緯を整理したり、最後に80年後の未来に向けてメッセージをまとめたりする活動が設定されており、主体的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>・「人物コラム」「未来に向けて」「地域史」「歴史プラス」といったコラムや、「歴史を探ろう」「イラスト世界地図」「多面的・多角的に考えてみよう」といった特設ページがあり、歴史を多面的・多角的に考察するための学習が豊富に用意されている。特にコラム「未来に向けて」では、環境、交流、人権、平和の4つのテーマが明示されていたり、「歴史を探ろう」のページでは関連する事項とそのページが明示されていたりするなど、学習の視点が分かりやすい。</li> </ul>	

種目名 社会（歴史的分野）	発行者名	山川出版社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとに「学習課題」が示されており、単元で学習する内容について理解し、見通しをもって学習が進められるようになっている。</li> <li>・本文に記載される人物や語句についての小問題が設定されている。</li> <li>・「身近な地域を調べよう」では、調査のスキルを身に付ける方法が細かく提示されている。例えば、テーマを見つける方法や聞き取り調査の注意点など、具体的な場面が示されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとに「ステップアップ」課題があり、時代の特色や変化を考えたり、それらを説明する活動が設定されている。</li> <li>・各ページにある、写真や地図といった資料には、資料をより深く読み取らせるための「付せん」がついており、特色を確認しやすい。</li> <li>・章の最後にはまとめの学習があり、時代を説明する課題が設定されている。</li> <li>・歴史学習の最後の「ステップアップ」では、それまでの歴史学習をふまえた上で、現代の課題について考えさせる課題が設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7章のまとめ「現在の世界はどこへ向かっているのだろうか」では、平和で誰もが暮らしやすい社会をつくっていくために、解決すべき問題点とその解決策について考える学習が設定されている。ここでは、解決すべき問題点の分類例が4つ挙げられており、主体的に取り組めるよう工夫がされている。</li> <li>・人物や歴史事象のコラムや、「歴史へのアプローチ」「地域へのアプローチ」「歴史を考えよう」といった特設ページがあり、歴史を多面的・多角的に考察できる学習が設定されている。特に「〇世紀の世界」や「歴史へのアプローチ」では、琉球やアイヌ民族などとのつながりや、日本を諸外国との関係から捉える工夫がされている。</li> </ul>	

種目名 社会（歴史的分野）	発行者名	日本文教出版
観点	選定のための参考	
<p>A 知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとに示された学習課題に対して「見方・考え方」を示し、見通しをもって学習することができる。</li> <li>・「資料活用」では、写真や絵画などの資料を読み取る学習活動が設定されている。資料は比較的大きいサイズになっており、読み取りがしやすい。</li> <li>・各章末「学習の整理と活用」の「アクティビティ」では、課題についての振り返りを行い、それぞれの時代の特色をまとめることができる。</li> </ul>	
<p>B 思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとに学習課題を考える「深めよう」という課題があり、時代の特色を考えたり、比較して考えたりすることができる。また、「確認」課題が設定されており、時代の特色やその時代が与えた影響などを文章でまとめ説明することができる。</li> <li>・章のはじめに、時代の特色や違いを資料を用いて考えることができる課題が設定されている。また、各章末の「アクティビティ」では、内容を深めるポイントをステップで示しながら文章にまとめる課題が設定されている。</li> <li>・「チャレンジ歴史」では、資料をもとに対話などで学習を深める課題がある。</li> <li>・歴史学習の最後では、「歴史との対話を未来に生かす」というテーマで、過去の歴史から現代の課題を考える設定がされている。</li> </ul>	
<p>C 学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末「『歴史との対話』を未来に活かす」では、現代社会の課題を取り上げ、歴史を振り返りながらその課題の成り立ちや変遷、それらの課題解決に向けた先人の取り組みについて考える学習が設定されている。ここでは、3つの課題例とテーマ別のさくいんが示されており、主体的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>・「女性史コラム」「歴史+α」「地域に学ぶ」「先人に学ぶ」といったコラムや、「歴史を掘り下げる」といった特設ページがあり、歴史を多面的・多角的に考察する学習が設定されている。特に、生活の向上や文化の発展に取り組んだ先人、各時代の女性の姿といった人物に焦点をあてることで、歴史を捉えるといった工夫もされている。</li> </ul>	

種目名 社会（歴史的分野）	発行者名	学び舎
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとに追究する学習課題を焦点化し、本文を読んで理解するためのめあてが設定されている。また、民衆、特に子どもや女性など歴史の裏に隠れがちな人々の視点で本文が書かれ、時代の特色がまとめられている。</li> <li>・「章をふりかえる」では、年表や歴史地図から知識に関する内容を確認することができる。</li> <li>・「歴史を体験する」では、フィールドワークをイメージした調査活動の方法がまとめられている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「章をふりかえる」では、その時代の特徴となるものをあげ、時代の特色を考える問いがある。</li> <li>・歴史学習最後のまとめでは、それまでの学習をふまえながら、現代における国際社会の課題について日本がどうすべきかを考える課題が設定されている。</li> <li>・各部、各章の最後には、「ふりかえり」「まとめ」の学習があり、時代の特色を説明したり、出来事について考えたりする課題が設定されている。</li> <li>・「歴史を体験する」では、実際にその当時の様子を再現し、体験から考える学習が設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6部の学習のまとめ「歴史を現代とつなげて考えを深めよう」では、歴史の諸課題について、現在から見て「乗り越えられた課題」か「現在も課題となっていること」かについて分けながら考える学習が設定されている。ここでは、友達と意見交換する活動があり、その例を提示することで主体的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>・多くのコラムが設けられ、歴史を多面的・多角的に考察する学習が設定されている。特に歴史の舞台に焦点をあてた「フォーカス」というコラムは、見開きの最初に配置され、時代背景を理解したうえで、学習を進められるよう工夫されている。また、歴史を多面的・多角的に捉えるためのコラムでは、見開きの最後に配置されており、紙面の構成が工夫されている。</li> </ul>	

種目名 社会（歴史的分野）	発行者名	育鵬社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元ごとに追究する学習課題を示し、見通しをもって学習が進められるようになっている。</li> <li>・「学習のまとめ」では、年表や歴史地図で知識に関する内容を確認することができる。</li> <li>・歴史人物カードを作成する課題が設定され、インターネットなどの情報を活用した調べ学習の方法が提示されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小单元の最後には、学習課題について、時代の特色を比較したり、特徴を考えたりする課題が設定されている。</li> <li>・現代史を振り返る学習では、人口推移を扱うグラフを用いて、人口推移や年齢別割合から日本の課題を考えさせる問いが設定されている。</li> <li>・章の最後には「学習のまとめ」があり、時代を大観し、話し合う学習が設定されている。また、歴史学習の最後では、それまでの学習をふまえ、現代の日本の課題について考える課題が設定されている。</li> <li>・「歴史のターニングポイント」では、各時代の大きな出来事について、グループでの話し合い活動を行い、理解を深める課題が設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末「歴史学習のまとめ」では、主体的に考える学習活動として、歴史で学んだことを将来どう生かしていきたいかを400字程度にまとめる課題が設定されている。</li> <li>・「人物クローズアップ」「歴史ビュー」「歴史ズームイン」などのコラムや特設ページがあり、歴史を多面的・多角的に考察する学習が設定されている。特に、「このころ世界は」のページでは、日本の歴史と関わりの深い外国の動きについて取り上げ、世界と日本の主な出来事を比較する年表が示されるなど、日本を諸外国との関係から捉える工夫がされている。</li> </ul>	

# 社会（公民的分野）

東京書籍

教育出版

帝国書院

日本文教出版

自由社

育鵬社

調査結果 **社会(公)**

	観点A			観点B			観点C	
	知識及び技能			思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
研究調査事項  発行者	学習内容の箇所数 活用できる概念などに関する 活用の場面で 活用できる概念などに関する 活用できる概念などに関する 活用できる概念などに関する	調査や資料から様々な情報を 効率的に調べまとめる技術を 身に付ける学習内容の箇所数	社会的な事象の意義・多角的 や相互の関連を多面的・多 社会的な事象の意義・多角的 や相互の関連を多面的・多 社会的な事象の意義・多角的	社会に見られる課題の解決に 内容の選択・判断したりする 内閣の選択・判断したりする	思考・判断したことを説明した り、それらを基に議論したりす る学習内容の箇所数	社会的な事象について、よりよ 社会的な事象について、よりよ 社会的な事象について、よりよ	社会的な事象について、よりよ 社会的な事象について、よりよ 社会的な事象について、よりよ	社会的な事象について、よりよ 社会的な事象について、よりよ 社会的な事象について、よりよ
東京書籍			○		○			○
教育出版		○		○	○			
帝国書院		○	○			○		
日本文教出版	○		○			○		
自由社	○			○				○
育鵬社	○				○	○		



種目名 社会（公民的分野）	発行者名	東京書籍
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の振り返りのページの中で、重要な用語についてまとめられている。</li> <li>・学習の振り返りの場面において、ページ数が添えられているので振り返りがしやすく、生徒が知識を理解するのに役立つ工夫がされている。</li> <li>・資料が多く掲載されているとともに、各資料を読み取る技能を高めるための課題が提示されている。また、思考の整理やまとめに適した様々な思考ツールも提示されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「トライ」では、社会的事象の意義等を多面的・多角的に考察することに加えて、「持続可能性」や「効率と公正」の観点を踏まえて、理解をより深化させることができるようになっている。</li> <li>・章末の「探究のステップの問いを解決しよう」では、様々な方法で課題の解決方法に向けて話し合うことができるようになっている。</li> <li>・「見方・考え方」では、学習内容を活用し、発展させていくような問題や自分の立場を明らかにして対話する活動もあり、より学びが深まる工夫がされている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人年齢の引き下げに対応したより現実的な特集が組まれていて、社会を担う一員としてよりよい社会の実現に向けて学びに向かうことを促しており、教科書で学んだことを踏まえて、身近な地域のよりよい形を目指して自分の考えをもてることができるよう工夫されている。</li> <li>・社会で起こりうる事象にどう対応するか、さまざまな角度から考察し、合意を形成する活動が設定されている。また、思考ツールの活用が取り上げられており、自分の考えを整理しやすい。</li> </ul>	

種目名 社会（公民的分野）	発行者名	教育出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「LOOK」では、導入資料に関する説明がされていて、スムーズに学習が進められるよう工夫されている。</li> <li>・「確認」では問題を解くことによって、基礎的な事柄をおさえることができるようになっている。</li> <li>・資料が多く掲載されている。また、各章のまとめの中で、資料を深く読み取るための課題も出されており、資料を活用する力が身につけられる工夫がされている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ページに「表現！」というコーナーがあり、学習内容の到達を図りつつ、社会的事象の意味を確認できる。また、「読んで深く考えよう！」「さらにステップアップ」では、思考力・判断力・表現力を養う活動や考察を行うことができ、学習を深化させる工夫がされている。</li> <li>・単元末のコーナーでは、持続可能な社会の実現に向けて主体的に課題解決する力を育てることができる工夫がみられたり、ディベートについてまとめられたりしており、効率的にディベートをすることができる。</li> <li>・「言葉で伝え合おう」では、多様な表現活動を行うことができ、対話を通じて深い学びにつなげることができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際の生活で起こりうることや身近な事象を取り上げることによって、主体的に課題解決しようとする態度を養うことができる。</li> <li>・各章のまとめで、単元のテーマについて多面的・多角的に考察を深める課題が出されている。</li> </ul>	

種目名 社会（公民的分野）	発行者名	帝国書院
観点	選 定 の た め の 参 考	
<p style="text-align: center;">A</p> 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インデックスがあり、調べたいページや、今何を学習しているのかが分かりやすい。</li> <li>・資料が豊富に掲載されている。また、各資料には、資料を深く読み取るための課題が提示されており、資料活用の技能が身につく工夫がされている。</li> <li>・「技能を磨く」では、思考ツールなどを活用し、基礎的な技能が身に付けられるような内容となっている。</li> </ul>	
<p style="text-align: center;">B</p> 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習得した知識を活用して、社会的事象についてより深く考察できるよう工夫されている。また、「Yes Noテーマ」では、現代の課題について多面的・多角的に考えることができる。</li> <li>・課題の解決に向けて、様々な視点から自分がどう捉えるか、どう関わるかなどについて、自分の考えをまとめることができる。</li> <li>・現代社会で議論されているテーマについて賛否の意見が紹介されており、多面的・多角的に考察し、ディベートすることができる。</li> </ul>	
<p style="text-align: center;">C</p> 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい社会の実現に向けて学習することができるよう、様々な分野で活動する方々へのインタビューが盛り込まれている。</li> <li>・「アクティブ公民」では、様々な社会的な課題について、対話的な活動を通じて、深く考察できる内容となっている。</li> </ul>	

種目名 社会（公民的分野）	発行者名	日本文教出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
<p style="text-align: center;">A</p> 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インデックスがあり、調べたいページや、今何を学習しているのかが分かりやすい。</li> <li>・「公民プラスα」のコーナーを活用することで、身近な事柄と関連付けながら知識を習得することができるように工夫されている。</li> <li>・各章のまとめでは、シンキングツールを活用しながら情報をまとめることができる。</li> </ul>	
<p style="text-align: center;">B</p> 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容をさらに深めるために、効果的な資料が用意されており、考察することを通して、思考力・判断力・表現力を向上させることができる。</li> <li>・「確認」や「深めよう」では、社会にみられる課題の解決に向けて、自分だったらどう働きかけるかなど、主体的に考えをもち、まとめることができ、表現力を高められるよう工夫されている。</li> <li>・教科書の内容に関連した設問があり、話し合いを通して、さらに理解を深めることができる。</li> </ul>	
<p style="text-align: center;">C</p> 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参画にかかわって、SDGs・防災・キャリア教育など様々なテーマで特集が組まれており、主体的に学ぼうとする姿勢をもつことができる。</li> <li>・「アクティビティ」では、様々な視点からの情報が掲載されていたり、対話的な活動を行ったりする課題が出されており、多面的・多角的な思考につながる。</li> </ul>	

種目名 社会（公民的分野）	発行者名	自由社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「もっと知りたい」では、「科学とは何だろう」といった疑問を投げかける形で社会的な課題について丁寧に解説されている。</li> <li>・「ここがポイント！」には各ページの学習内容が要約して書かれており、学習内容を振り返りやすい。</li> <li>・「新聞の読み比べ」では、情報を読み取るための技能を高めることができる。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象を多面的・多角的に考察できる内容であり、教科書に直接書き込むスペースがあり、取り組みやすくしている。</li> <li>・課題解決に向けて、どのように関わるかなど、自分の考えをまとめることができる設問があったり、「やってみよう」では、調べたり比較したりして話し合えるテーマが設定されている。</li> <li>・思考・判断した内容を話し合うなど、自他の意見を発展することができる工夫がされている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「レポートと卒業論文をつくろう」の単元では、卒業論文の制作を通じて、主体的に社会的事象について探究することができる。</li> <li>・「アクティブに深めよう」では、社会的な課題について様々な視点から考察を深めることができる。</li> </ul>	

種目名 社会（公民的分野）	発行者名	育鵬社
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の最初に「〇〇の入り口」を設け、これから学ぶ学習内容に関する知識や社会における様々な場面で活用できる内容を取り上げている。</li> <li>・学習内容を深めるためのコラムが多数掲載されており、知識の定着を図ることができる。</li> <li>・学習の導入では、キャラクターの吹き出しによって資料を読み取る視点が示されており、分かりやすいように工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象について、文字数設定やキーワード設定のある記述があり、考察をしたり理解を深めたりすることができる。</li> <li>・各章末の学習のまとめなどで、課題の解決に向けて、自分の考えをまとめることができる設問がある。</li> <li>・「スキルアップ」のコーナーでは、様々な話合いの仕方や意見のまとめ方が記載されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元のはじめに、よりよい社会の実現のために学ぼうとすることができる資料やイラストが取り入れられていたり、課題やまとめが提示されていたりしており、主体的な学習につながる工夫がされている。</li> <li>・社会的事象や課題について、多面的・多角的に考察し、社会の一員として主体的に学ぼうとする姿勢をもつことができる内容が扱われている。</li> </ul>	

# 地 図

東 京 書 籍

帝 国 書 院

## 観点の内容

### 社会科 地図 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図の使い方や読図・作図などの活用方法を取り上げている箇所数</li> <li>・ 見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科用図書「地図」は、地図を効果的に活用することともかかわって、社会的事象を適切に見たり考えたりする能力を育てるために必要な教材である。教科用図書「地図」は、地名の位置を確認することができるだけでなく、社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわりを調べることもできる。こうした活用の仕方を身に付けるとともに、教科用図書「地図」を日常的に活用し、教科用図書「地図」への親しみを持たせ、課題解決のために教材として効果的に活用する知識や技能を育てよう留意する。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本図の箇所数 (世界地図、日本地図、世界州別図、日本地域別図)</li> <li>・ 資料図の箇所数 (社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわり、その他)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考察、構想(選択・判断)したことを、教科用図書「地図」を適切に用いて論理的に示したり、その示されたことを根拠に自分の意見や考え方を伝え合い、自分や他者の意見や考え方を「地図」に表したりする表現力を育成しよう留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料図のテーマの数</li> <li>・ 巻末の統計資料の項目の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科用図書「地図」を活用し、社会的事象について主体的に調べ分かれようとして学習上の課題を意欲的に解決しようとする態度や、よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に考察、構想(選択・判断)したことを社会生活に生かそうとする態度を養うよう留意する。</li> </ul>



## 調査方法

### 種目名【 地図 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図の使い方や読図・作図などの活用方法を取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 地図帳の使い方の説明などが掲載されている箇所</li> <li>・ 見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方を取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方などが掲載されている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本図の箇所数、資料図の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 世界の生活・文化について掲載されている箇所数</li> <li>例) 各地域の資料図の項目数（農業分布・鉱産資源など）</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料図のテーマの数や巻末の統計資料の項目の数について調査を行った。</li> <li>例) 「日本の自然環境」や「日本の災害と防災」などのテーマで扱われている資料図の項目数</li> </ul>

調査結果

社会地図

	観点A		観点B		観点C	
	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
研究調査事項  発行社	活用地図の使い方や読図・作図などの方法を取り上げている箇所数	見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方を取り上げている箇所数	基本図の箇所数（世界地図、日本地図、世界州別図、日本地域別図）	資料図の箇所数（社会的事象の様子や関係、自然環境とのかかわり、その他）	資料図のテーマの数	巻末の統計資料の項目の数
東京書籍			○	○	○	
帝国書院	○	○				○

種目名 地図	発行者名	東京書籍
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般図に加えて断面図などが随所に掲載されており、地形の特色をイメージしやすく、理解しやすくなっている。</li> <li>・「一般図の見方」「資料の読み取り方」が説明されているとともに、「歴史的分野や公民的分野との関連」といった他分野との関わりを取り上げることで、知識理解につなげている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連する内容についてさらに詳しく示されたページを紹介する「ジャンプ」コーナーを活用し、資料図に対してより深く学習課題を追究し、考察しやすいように工夫されている。</li> <li>・世界の各州や日本の地域ごとにテーマ資料が掲載され、テーマごとに考察しやすいように工夫されている。</li> <li>・資料図に関連する写真やグラフが適切に挿入されており、多面的・多角的に考察しやすいように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的な諸課題の理解を深められるテーマが掲載されており、学習内容を身近に捉え、学習課題に主体的に取り組めるよう促している。</li> <li>・随所にキャラクターによる吹き出しのコメントを挿入し、学習に対する興味・関心をもちやすいように工夫されている。</li> <li>・二次元コードを利用して、インターネットを使った学習を主体的に行うことができる。</li> </ul>	

種目名	地図	発行者名	帝国書院
観点	選 定 の た め の 参 考		
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大判化されたことにより見やすくなり、地域間の結びつきがより分かりやすくなっている。世界の各州には、イラストを配した鳥瞰図があり、地域の特色が理解しやすいように題材が工夫されている。</li> <li>・「地図活用」では、その地図に関する問題設定が適切にされており、学習課題を明確にすることで、生徒が学習に取り組みやすいように工夫されている。</li> </ul>		
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の各地方全てに、自然環境・人口・産業・交通の四つを中核とした事象の資料図が掲載されている。</li> <li>・各事象を同縮尺で示すことで、因果関係を比較・関連付けながら考えられるようになっている。</li> <li>・江戸時代の五街道や航路を示すことで、歴史的事象の位置関係を地図で確認できるよう工夫されている。</li> </ul>		
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭の「地図帳の使い方」で5ページにわたって分かりやすく解説されており、自学自習の際に活用しやすくなっている。</li> <li>・多くのページに二次元コードが掲載されており、インターネットを使いながら主体的に学習課題に取り組めるように工夫されている。</li> <li>・大都市中心部（東京・大阪・京都）の資料が掲載され、修学旅行や校外学習などで地図帳を活用しながら学習を進めるなど、教科等横断的に活用できるようになっている。</li> </ul>		

# 数 学

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

啓 林 館

数 研 出 版

日 本 文 教 出 版

## 観点の内容

### 数学科 目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数量や図形についての基礎的な知識及び技能を身に付けさせる「例・例題」「問・練習問題」の箇所数</li> <li>・ 学習のまとめ、公式や性質を扱っている事項の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計算などの技能を学ぶ際には、その手続きの基礎に概念や原理・法則があることや、概念や原理・法則をうまく使って数学的な処理の仕方が考え出されることを理解させることに留意する。</li> <li>・ 問題発見・解決の過程において、数学を適切に活用するためには、生きて働く数学的な知識に支えられた技能を習得させることに留意する。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思考力・判断力・表現力を身に付けさせる「例・例題」「問・練習問題」の箇所数</li> <li>・ 問題発見・解決する過程において、見通しをもち筋道を立てて考える内容を取り扱っている箇所数</li> <li>・ 具体物、図、言葉、式、表、グラフなどを用い、自分の考えを表現したり、説明したりする学習活動を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学の事象から問題を見だし、数学的な推論などによって問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する過程を遂行することを通して養われるように留意する。</li> <li>・ 目的に応じた的確な数学的な表現を選択したり、一つの対象の幾つかの数学的な表現を相互に関連付けたりすることを通して、事象の本質を捉えたり、理解を深めたりするように配慮することに留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各々の内容や方法などがもつよさを明らかにしていくような課題を取り扱っている箇所数</li> <li>・ 生活や学習の様々な場面で数学を活用する内容を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単にでき上がった数学を知るだけでなく、事象を理想化したり抽象化したりして数学の舞台にのせ、事象に潜む法則を見つけたり、観察や操作、実験などによって数や図形の性質などを見だし、見いだした性質を発展させたりする活動を通して数学を学べるように留意する。</li> <li>・ 数学が日常生活や社会生活において、また他教科の学習やその後の人生において必要不可欠なものであることに気付かせることに留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 数学 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p style="text-align: center;">知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形についての基礎的な知識及び技能を身に付けさせる「例・例題」「問・練習問題」の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「例・例題」の箇所及び、「問・練習問題」等の適用問題の箇所</li> <li>・学習のまとめ、公式や性質を扱っている事項の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「このように、代入によって1つの文字を消去する方法を<b>代入法</b>といいます。」</li> <li style="padding-left: 2em;">「角錐、円錐の底面積をS、高さをh、体積をVとすると、<math>V = \frac{1}{3} S h</math>」</li> <li>等、特だして記載している箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p style="text-align: center;">思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力・判断力・表現力を身に付けさせる「例・例題」「問・練習問題」の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「例・例題」の箇所及び、「問・練習問題」等の適用問題の箇所</li> <li>・問題発見・解決する過程において、見通しをもち筋道を立てて考える内容を取り扱っている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「姉が弟に追いつくのは家から何mのところかな」</li> <li style="padding-left: 2em;">「ほかにどんなことが読み取れるかな」</li> <li style="padding-left: 2em;">「～を使って、～だと予想しました。という形で説明しよう。」</li> <li>等、吹き出しなどで課題を明確にしたり、見通しをもたせたりする内容が記載されている箇所</li> <li>・図、言葉、式、表、グラフなどを用い、自分の考えを表現したり説明したりする学習活動を取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「～を説明しましょう。」 「～図や式に表しましょう。」など、表現したり、説明したりする活動が記載されている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p style="text-align: center;">学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各々の内容や方法などがもつよさを明らかにしていくような課題を取り扱っている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「相似な図形をかくことによって、2点間の距離を求めることができます」</li> <li style="padding-left: 2em;">「○○と△△の関係を一次関数とみることができます。」</li> <li>等、問題やまとめ、吹き出しなどでよさについて記載されている箇所</li> <li>・生活や学習の様々な場面で数学を活用する内容を取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「鉄道の運行の様子を表したダイヤグラムを読み取ってみよう」</li> <li style="padding-left: 2em;">「身の回りにおける放物線について調べよう」</li> <li>等、日常生活に関わりのあることを問題に設定されているものや、コラム等で数学を活用している場面を紹介している箇所</li> </ul>

調査結果

数学

		観点A		観点B			観点C					
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等					
研究調査事項	発行者	箇 所 数	識 及 び 技 能 を 身 に 付 け さ せ る 「 例 ・ 例 題 」 の 問 ・ 練 習 問 題 」 の 箇 所 数	て 学 習 の ま と め 、 公 式 や 性 質 を 扱 っ て い る 事 項 の 箇 所 数	問 題 「 例 ・ 例 題 」 の 箇 所 数	思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力 を 身 に 付 け さ せ る 「 例 ・ 例 題 」 の 問 ・ 練 習 問 題 」 の 箇 所 数	問 題 発 見 ・ 解 決 す る 過 程 に お い て 見 通 し を も ち 筋 道 を 立 て て 考 え る 内 容 を 取 り 扱 っ て い る 箇 所 数	具 体 物 、 図 、 言 葉 、 式 、 表 、 グ ラ フ な ど を 用 い 、 自 分 の 	取 り 扱 っ て い る 箇 所 数	各 々 の 内 容 や 方 法 な ど が も つ よ さ を 明 ら か に し て い く よ う な 課 題 を 取 り 扱 っ て い る 箇 所 数	所 活 用 す る 内 容 を 取 り 上 げ て い る 箇 所 数	生 活 や 学 習 の 様 々 な 場 面 で 数 学 を 取 り 上 げ て い る 箇 所 数
		東京書籍	1年生				○	○		○		
2年生					○	○	○					
3年生				○		○		○				
大日本図書	1年生	○			○					○		
	2年生	○			○					○		
	3年生	○			○					○		
学校図書	1年生				○	○				○		
	2年生				○	○	○					
	3年生				○		○			○		
教育出版	1年生			○	○		○					
	2年生			○			○			○		
	3年生			○		○				○		
啓林館	1年生	○					○			○		
	2年生	○				○	○					
	3年生	○					○	○				
数研出版	1年生			○		○		○				
	2年生			○	○			○				
	3年生			○		○		○				
日本文教出版	1年生	○						○		○		
	2年生	○			○			○				
	3年生	○			○			○				



種目名 数学	発行者名	東京書籍
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の「考えてみよう」という活動があった後に、「例」「問」が設定されており、知識及び技能を身に付けることができる構成になっている。また、補充問題として、節や章の終わりに「基本の問題」「章の問題A」があり、精選された問題数で構成されている。</li> <li>・数学の用語や公式については、文章中に簡潔に書かれていたり、枠で囲ったりしながらまとめられている。気を付けるべきポイントについては、「注意」と書かれた項目でおさえられている。既習の内容については、「ちょっと確認」で、その時々で振り返りができるようになっている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題発見・解決をする過程で、見通しをもち筋道を立てて考えることができる学習の流れになっている。また、吹き出しなどを用いて課題を明確にしたり、解決の手立てとなるヒントを掲載したりするなどの工夫がされている。</li> <li>・単元内の適切な箇所に「（考えや理由を）説明しなさい。」という活動が設けられ、効果的に言語活動が取り入れられている。</li> <li>・単元の後半にある数学的活動では、自分の考えをもつことを中心とした展開となっている。その後、友達と考えを交流したり、友達の考えに沿って問題解決したりする展開になっている。そのことにより、自分の考えと友達の考えを比較して、自分の考えをより深めることができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・章のはじめに具体的な場面を設定して問題を考えさせ、巻末「大切にしたい見方・考え方」では、数学の学習内容が日常生活でどのように活用されているか、興味をひく工夫がされている。</li> <li>・「数学の自由研究」では、他学年で学習することや他教科と関連する学習内容を明記し、深い学びにつなげる工夫がされている。</li> </ul>	

種目名 数学	発行者名	大日本図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「活動」の後に、「例」「たしかめ」の問題が設定されており、その問題に続く形で、「Q」「プラス・ワン」の問題へと段階的に学習をすすめていくように設定されている。補充問題については、当該学年の内容に限らず、「小学校算数の振り返り」「1・2年の復習」などの内容についても設定されており、幅広い問題レベルの内容が記載されている。</li> <li>・数学の用語や公式については、文章中に簡潔に書かれおり、枠で囲ってまとめられている。既習の内容については、「思い出そう」という項目で、学習の流れの中で振り返りができるようになっている。復習の問題と数学的用语や公式のまとめが同一ページ内に構成されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを読み取る問題、間違いを発見・訂正する問題が多く取り上げられている。また、理由や考え方を説明する問題も多く取り上げられており、思考力・判断力・表現力等を身につけられる工夫がされている。</li> <li>・既習の内容をもとに、きまりや特徴を捉えたり、共通点や相違点などを比較したりしながら、思考力・判断力・表現力等を発揮して、新たな学びにつなげていく学習の流れがある。</li> <li>・数学的活動では、「〇〇さんの考え」としてことばや式、図が示されている。それぞれの考えを説明させる活動が多い。また、複数の考えを比較して、それぞれの考えのよさを見出させる活動を通して、思考力・判断力・表現力等が身につけられる工夫がされている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・章末に「活用・探究」、巻末に「MATHFUL」のページが設けられ、様々な分野で、数学を活用できる良さを感じられる工夫がされている。また、「社会にリンク」というコーナーも設定され、仕事の中で数学を活用している人々の話がコラムとして紹介されている。</li> <li>・どの学習項目に対しても「めあて」が明示され、目的意識を持って課題に取り組める工夫がされている。例えば、1年生の関数分野では、「2つの数量の関係を調べて問題を解決し、生活に生かそう」というめあてに対して、電子レンジの温める時間と出力の間に反比例の関係があると数学的に捉え、解決する力を高めさせている。</li> </ul>	

種目名 数学	発行者名	学校図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の「QUESTION」で活動を行った後に、「例」「問」「ふりかえり」がひとまとめで構成されている。各学年で、家庭学習や計算練習で利用できる「計算力を高めよう」というページが設定されている。補充問題は、基礎・基本の問題が色付けされた形で強調されており、定着を図る工夫がされている。</li> <li>・各章のはじめに、その単元に必要な知識及び技能を振り返るページがある。1・2時間の授業毎に「どんなことがわかったかな」という項目で、学習してきたポイントが簡潔にまとめられている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの単元においても、「考え方」という項目が多く設けられており、課題解決に向けて見通しを持ち、筋道を立てて考える過程を整理している。</li> <li>・学習の最後にある「どんなことがわかったかな」では、この学習で身につけた思考力・判断力・表現力等を確認することができる。さらに、学習した内容から新たな疑問や課題として見出したことを、「次の課題へ！」で取り上げ、学習内容を発展的に展開する工夫がされている。</li> <li>・数学的活動では、「〇〇さんの考え」として、複数の考えがことばや式、図で示されていたり、それぞれ考えを説明させたりする活動がある。また、いくつかの考えを比較し、それぞれの考えのよさを見出す活動が設定されている。さらに、問題を解決した後に「こんな場合はどうなるのか」「条件を変えたらどうなるか」など、問題をさらに発展させる吹き出しが掲載されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の巻末の「さらなる数学へ」に、上級学年や上級学校での学びとの関連が明記され、系統立てて学ぶことができる工夫がされている。</li> <li>・章末ごとに、「まとめの問題」では応用問題が、「役立つ数学」ではコラムが、「深めよう」では活用問題が掲載され、学習内容を深められるよう工夫されている。また、章の中でも、「Tea Break」というコラム欄では、交換法則や結合法則が減法でも成り立つのかなど、学びを深める内容が紹介されている。</li> </ul>	

種目名 数学	発行者名	教育出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Q」で計算や図形の読み取りなどの問題を解いた後、「例」「例題」「たしかめ」「問」といった知識及び技能に関する問題が設定されている。また、章のはじめには、単元の復習にあたる問題が設定されている。巻末の補充問題のほかに、生徒自身が二次元コードを読み取ることでさらに補充問題をプリントアウトまたは閲覧することができる。</li> <li>・章の最後に「学習のまとめ」というページで、その章で学習した内容がまとめられている。また、巻末には「学びのマップ」というページで、単元ごとのつながりについてもまとめられている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの単元においても、「みんなに説明しよう」という学習活動が多く設定されており、自分の考えを整理して説明することや「みんなの考えを知る」などの言語活動により、思考力・判断力・表現力等を身につける工夫がされている。</li> <li>・学習活動の振り返りや思考過程の確認、学習した内容に関連した問いかけにより、問題の解決に向けた吹き出しが効果的に設定されている。登場人物同士だけでなく、学習者に問いかけるような工夫がされている。</li> <li>・数学的活動では、はじめに自らの力で問題解決する場面が設けられている。そのあと友達と話し合う活動があり、自分の考えと友達の考えを比較して、自分の考えをより深める工夫がされている。また、問題を解決するための考えだけでなく、解決する方法や解決のための条件を考える活動を取り上げている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コラムや発展問題、学びを深められる内容が「数学の広場」に記載されている。例えば、1年生の正の数・負の数では、引くとマイナスのちがいについて説明し、算数と数学の接続を意識した工夫がされている。</li> <li>・各章の導入部分では、その章で学ぶ内容について実生活につながる場面がコラムのように紹介されている。また、それに続く「Let's Try」で興味をもちやすい課題を設定し、学習意欲を高める工夫がされている。</li> </ul>	

種目名 数学	発行者名	啓林館
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひろげよう」という活動があった後、「例」「問」の流れで知識及び技能に関する問題が設定されている。章末問題の「学びをたしかめよう」と「学びを身につけよう」では、各2ページを基本とした基礎・基本に関する問題が多く記載されている。教科書の裏から横置きで「自分から学ぼう編」が構成されており、家庭学習向けの問題が設定されている。</li> <li>・数学の用語や公式については、文章中に簡潔に書かれており、枠で囲ってまとめられている。既習の内容の振り返りや注釈については、シンプルな構成になっている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの單元においても、「話しあおう」「説明しよう」など話し合い活動が設けられており、根拠や理由、手順などを説明する活動を通して、思考力・判断力・表現力等が身につけられる工夫がされている。</li> <li>・「？」では、問題を発展させるための問い返しや、きまりや特徴を捉え、理由を問う質問がされており、思考力・判断力・表現力等を働かせる工夫がされている。学習の終わりには、その場面で働かせた数学的な見方・考え方が示され、学習を振り返り他の場面でも活用できるように工夫されている。</li> <li>・数学的活動では、話し合い活動を通して日常場面を数理的に捉え、問題を見出す過程を大切にしている。問題を解決する過程に沿って、丁寧に解説されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学ライブラリー」では、数学的な広がりや、数学のよさを簡潔に紹介している。例えば、実際の琵琶湖の水位を用いて、負の数と負の数の積が正の数になることを求めさせている。</li> <li>・章末の「学びをいかそう」と、巻末にまとめて記載されている「学びをいかそう」では、身近な場面で数学を活用する問題や他学年で学習する内容を、分かりやすく丁寧に紹介されている。</li> </ul>	

種目名 数学	発行者名	数研出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Q」「TRY」の問題の後に、「例」「問」で知識及び技能に関する問題が設定されている。補充問題としては、章末に「確認問題」「問題A」、巻末に「チャレンジ編・力をつけよう」が設定されている。技能に関する問題については、章末の「問題A」で比較的難易度の高い問題が多く掲載されている。</li> <li>・普段の授業で使用するページに「NOTE」という項目があり、文字の書き方などの具体的な注意点が記載されている。各章の学習の前に、単元に関わる既習の内容を振り返るページが設定されている。学年ごとに、1年間で学習した公式や性質を扱った内容が系統的にまとめられている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を解決する過程で、吹き出しの中のやりとりを通して、状況を把握したり、問題解決の方法の見通しを立てたりして、筋道を立てて考えられるような学習の流れになっている。</li> <li>・問題解決にあたり、生徒や先生が意見を交換しながら学習する場面や4人組やペア学習する場面がイラストで掲載されている。実際に話し合い活動を行う際の参考となり、言語活動を充実させるための工夫がされている。</li> <li>・別冊「探究ノート」では、各課題の条件設定を解説するところから記述されている。登場人物のやりとりにおいても、課題のとらえ方や解決の方法など1つ1つ丁寧に表現されており、問題解決に向けて見通しを立てやすくなっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習をすすめるときに、生徒の気づきにつなげたい部分が吹き出しで紹介されている。例えば、1年生の文字と式では、「りんごの個数とみかんの個数を同じ文字で表していいのか」、3年生の2次方程式では、「<math>2x</math>でわるのはダメで、2でわっていいのはなぜだろう」などの数学的概念にふれる発問がある。</li> <li>・別冊「探究ノート」には、応用問題や発展的な内容が紹介されている。例えば、グラフを上下ではなく、左右に平行移動させると式はどう変化するかについて、文章やイラストを活用して、分かりやすく記載されている。</li> </ul>	

種目名 数学	発行者名	日本文教出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Q」「例」「問」の順に定型化された構成で知識及び技能に関する問題が設定されている。「計算の練習」「章の問題」「算数の確かめ」などでは、基礎・基本の定着を図る問題が多く記載されている。また章のはじめに単元に関わる既習内容を振り返る問題もある。</li> <li>・数学の用語や公式については、文章中に簡潔に書かれており、枠で囲ってまとめられている。小見出しで「大切な見方・考え方」という項目があり、知識及び技能に関する内容がキーワードで表現されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決にあたって「考え方」という項目が設けられており、見通しを持ち筋道を立てて考える過程を整理することで、思考力・判断力・表現力等を身につけられる工夫がされている。</li> <li>・単元のはじめに「Q」を設定し、既習の内容をもとに、きまりや特徴を捉えたり、比較して共通点や相違点を見出したりする活動から、思考力・判断力・表現力等を発揮して、新たな学びにつなげていく学習の流れがある。</li> <li>・数学的活動を取り上げた「学び合おう」では、「〇〇さんの考え」をもとに自分の考えを表現する例を示し、表現力を身につけさせる工夫がある。「深めよう」「もっと深めよう」では、条件や設定を変えて発展的に考える活動や、数を文字に置き換えるなど一般化する活動が設けられている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末「マイトライ」では、学習したことを活用した内容が紹介されている。自分の興味に合わせて学習したことと関連したことが紹介されている。例えば、復習するための補充や日常生活で活用する数学、スクラッチを使ったプログラミングについて掲載されている。</li> <li>・「数学のたんけん」では、コラムや学びを深められる内容が記載され、日常生活や他教科とのつながりについても触れられている。</li> </ul>	

# 理 科

東 京 書 籍

大 日 本 図 書

学 校 図 書

教 育 出 版

啓 林 館



## 観点の内容

### 理科 目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察、実験の方法、器具や機器などの使い方及び事故防止等の安全に関する記述の箇所数</li> <li>・ 観察記録や実験データを絵や文、表やグラフに表す活動を示した箇所数</li> <li>・ 単元ごとや章末の練習問題等及び学習内容を整理する工夫の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察、実験などを行うことを通して、自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることが重要である。その際、日常生活や社会との関わりの中で、科学を学ぶ楽しさや有用性を実感しながら、生徒が自らの力で知識を獲得し、理解を深めて体系化していくよう留意する。</li> <li>・ 観察、実験などに関する基本的な技能については、探究の過程を通して身に付けるよう留意する。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題を見いだして課題を設定し、予想や仮説、観察、実験の計画をする活動に関する箇所数</li> <li>・ 結果を分析して解釈し表現する力を高める活動に関する箇所数</li> <li>・ 探究の過程を振り返る活動に関する箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学的に探究する力を育成するに当たっては、自然の事物・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈するなどの活動を行うよう留意する。</li> <li>・ 第1学年では自然の事物・現象に進んで関わり、それらの中から問題を見い出す活動、第2学年では解決する方法を立案し、その結果を分析して解釈する活動、第3学年では探究の過程を振り返る活動などに重点を置き、3年間を通じて科学的に探究する力の育成を図るよう留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学技術の利用等、実生活・実社会、科学史に関する内容、自然の事物・現象について関心を高める内容、発展的な内容の箇所数</li> <li>・ 自然環境の調査、自由研究や課題研究等、生徒自らが探究的な活動の意欲を高める工夫の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に探究する活動を通して、自然の美しさ、精妙さ、偉大さを改めて感得し、自然についての理解を深め、新たな問題を見いだそうとするなど、生徒の感性や知的好奇心などが育まれるよう留意する。</li> <li>・ 自然環境の保全や科学技術の利用に関する問題などでは、人間が自然と調和しながら持続可能な社会をつくっていくため、身の回りの事象から地球規模の環境までを視野に入れて、科学的な根拠に基づいて賢明な意思決定ができるような態度を身に付けるよう留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 理科 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験の方法、器具や機器などの使い方及び事故防止等の安全に関する記述の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 顕微鏡の使い方、電流計等の使い方、メスシリンダーの使い方に関する箇所</li> <li>例) 安全めがねをかける、換気を十分に行ったなどの記述箇所</li> <li>・観察記録や実験データを絵や文、表やグラフに表す活動を示した箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 植物の分類、オームの法則、月の形の変化などの活動の箇所数</li> <li>・単元ごとや章末の練習問題及び学習内容を整理する工夫等の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 単元末、章末の練習問題、「考えてみよう」の箇所</li> <li>例) 単元末、章末の学習のまとめの箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を見いだして課題を設定し、予想や仮説、観察、実験の計画をする活動に関する箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 予想や仮説、実験の計画を考えたり、話し合ったりする場面、課題についての箇所</li> <li>・結果を分析して解釈し表現する力を高める活動に関する箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 結果からどのようなことが言えるのか、話し合ったりする箇所</li> <li>・探究の過程を振り返る活動に関する箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 実験の結果をもとに、計画を振り返ったり、話し合ったりする箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学技術の利用等、実生活・実社会、科学史に関する内容、自然の事物・現象について関心を高める内容、発展的な内容の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) はやぶさ、光触媒、白夜、堤防の桜と防災などの内容を扱う箇所</li> <li>例) 物体の質量・速さと運動エネルギー、電池・電気分解のしくみなどの内容を扱う箇所</li> <li>・自然環境の調査、課題研究や自由研究等、生徒自らが探究的な活動の意欲を高める工夫の箇所数</li> <li>例) 課題研究テーマ例、時間があれば取り組みたい観察・実験を取り上げている箇所</li> </ul>

調査結果

理科

		観点A			観点B			観点C	
		知識及び技能			思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
研究調査事項	発行社	観察、実験の方法、器具や機器など の使い方及び事故防止等の安全に 関する記述の箇所数	観察記録や実験データを絵や文、表 やグラフに表す活動を示した箇所 数	単元ごとや章末の練習問題等及び学 習内容を整理する工夫の箇所数	問題をい出して課題を設定し、予 想や仮説、観察、実験の計画をする 活動に関する箇所数	結果を分析して解釈し表現する力を 高める活動に関する箇所数	探究の過程を振り返る活動に関する 箇所数	科学技術の利用等、実生活・実社 会・科学史に関する内容、自然の事 物・現象について関心を高める内 容、発展的な内容の箇所数	自然環境の調査、自由研究や課題研 究等、生徒自らが探究的な活動の意 欲を高める工夫の箇所数
		東京書籍	1年生			○	○	○	
2年生					○	○			○
3年生					○	○			○
大日本図書	1年生			○				○	○
	2年生	○	○					○	
	3年生	○		○				○	
学校図書	1年生		○				○	○	
	2年生		○			○	○		
	3年生		○				○	○	
教育出版	1年生	○	○						○
	2年生		○		○			○	
	3年生		○	○	○				
啓林館	1年生	○	○				○		
	2年生	○		○			○		
	3年生	○					○	○	

種目名	理科	発行者名	東京書籍
観点	選定のための参考		
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の注意点については、「注意」と表示され、起こりうる危険性や注意点について明確に示されている。さらに数種類の安全についてのマークを示すことで、何に注意すべきか一目で分かるようにしている。</li> <li>・実験結果の整理については、「結果の見方」として生徒が何に注目して結果をまとめるべきかが分かりやすく示されている。また、「実験から」で学習内容が整理されており、まとめ活動や探究活動の参考とすることができる。</li> <li>・学習に役立つ観察・実験が、「どこでも科学」として手順入りで紹介されており、生徒自身が学習を深める活動として取り組むことができる。</li> <li>・章末ごとに、学んだことがチェックできるようになっている。また、単元末の「確かめと応用」では基本的な知識を問う問題と、学んだことを活用する問題とが区別されており、学びの段階に応じて取り組むことができる。</li> </ul>		
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元や章、節の導入では、身のまわりの事象について、生徒が主体的に課題を見出せるとともに、抱いた疑問について考えを深められるような問いかけがなされている。</li> <li>・探究的な学習の場面では、「問題発見」「仮説」「構想」「分析・解釈」などの学習活動が充実しており、科学的な思考力・判断力・表現力等が効果的に育成できるように構成されている。</li> <li>・考察について、細やかな思考のステップを設定することで、生徒が段階を踏んで分析・解釈をしやすいように工夫されている。</li> </ul>		
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味や関心をひく内容の写真を適切に使用することで、探究する意欲を高める工夫がされている。</li> <li>・本文内のコラム「つながる科学」や各単元のコラム「世界につながる科学」では、関連職業に就く人のインタビューを用いて、生徒に親しみをもたせながら知的好奇心などを育む工夫がされている。</li> <li>・巻末にある「学びを広げよう自由研究」では、その学年の学習内容に関連する研究テーマを例示しており、生徒が探究的な活動をするためのヒントとして活用することができる。</li> <li>・単元末や巻末において、学習内容に関連した書籍や博物館・ジオパークなどの施設の紹介があり、生徒が身に付けた学習内容を自ら深めることができる。</li> </ul>		

種目名 理科	発行者名	大日本図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の注意点については、「注意」と表示され、安全に配慮できるようにしている。</li> <li>・実験結果の記録については、「結果の整理」として生徒が何に注目して結果を記入すべきかが分かりやすく示されている。また、次のページに結果例が示されており、まとめ活動や探究活動の参考とすることができる。</li> <li>・学習の導入や課題の発見につなげたり、学習を深めたりする観察・実験について、「やってみよう」という形で示されており、必要に応じて取り組むことができる。</li> <li>・章末問題が設定されており、各章の学びを確認することができる。また、単元末の「単元末問題」では基本的な知識を問う問題と、読み解く力を問う問題とが区別されており、学びの段階に応じて取り組むことができる。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入として「理科の学習の進め方」、学習する内容のめあてや課題、関連する既習の内容を振り返るページが設けられており、生徒が見通しをもって探究活動を行うことができる。</li> <li>・「探究の進め方」のページでは、具体例を挙げて探究の過程が説明されている。また、観察・実験では、注目すべきポイントが「着目点」として示されており、生徒が主体的に探究しやすく、科学的な思考力・判断力・表現力等を伸ばすことができる。</li> <li>・観察・実験では、考察するポイントや結果の例が具体的に示されており、考察する力を養うことができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の各単元の導入部分において、「これまで学習したこと」と「これから学習すること」が見やすくまとめられているため、つながりを意識して学習することができる。</li> <li>・巻頭や「Professional」「くらしの中の理科」「Science Press」などのコラムの中で、理科に関連した職業や発展的内容を紹介することで、学習内容と日常生活や社会とを関連づけ、知的好奇心などを育む工夫がされている。</li> <li>・単元末の「探究活動」では、生徒が関心を持ちやすい内容についての探究例が示されている。また、巻末には「自由研究にチャレンジしよう」と題して、単元ごとに生徒が探究的な活動をするためのテーマ例が数多く示されている。</li> <li>・巻末の「行ってみよう科学館博物館」「ジオパークを見学しよう」では、全国各地の施設とその特徴が紹介されており、住んでいる場所や興味に応じて資料として役立てることができる。</li> </ul>	

種目名 理科	発行者名	学校図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の注意点については、「ストップ」と表示され、安全に配慮できるようにしている。</li> <li>・多くの観察・実験では、探究の過程が大切にされており、「Can-Do List」で身に付けたい技能が明確に示されている。実験の流れについては、大きな写真を用いて分かりやすく示されている。</li> <li>・学習の導入や課題の発見につなげたり、学習を深めたりする観察・実験が「やってみよう」という形で示されており、必要に応じて取り組むことができる。</li> <li>・章末にある二次元コードを読み取ると、学習内容の整理や基本的な練習問題を確認することができる。また、単元末の「学びを日常にいかしたら」では、生活と関連した問題が出題されており、学習の有用性を実感できる。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入では、「学びのあしあと」として単元を通した課題が提示されている。各章の導入では、「Can-Do List」として単元で身に付けさせたい力が明確に示されているとともに、章末に再提示することで身に付いた力を確認することができる。</li> <li>・観察・実験では、生徒の思考を助ける会話文がイラストの吹き出しで示されており、探究の過程を意識することができる。</li> <li>・観察・実験のページでは、「結果」や「考察」の見方・考え方が示されている。また、結果・考察の例が示されたページでは、観察・実験を振り返ることで、結果を分析・解釈する方法を身に付けることができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察・実験に関するページについて、「気づき」「課題」「仮説」「計画」「方法」などの各ステップが2～3ページにわたって丁寧に書かれており、生徒の探究活動を手助けする工夫がされている。</li> <li>・巻頭コラム「ミッションX」や各単元末の「学びを日常にいかしたら」で、理科に関連する働く人を紹介したり日常にまつわる問題を取り上げたりすることで、生徒に科学を学ぶ意義や有用性を実感させる工夫がされている。</li> <li>・巻頭には「どうやって理科を学ぶの」と題して、探究的に観察・実験を進めるための過程が示されている。また、「この自由研究がスゴイ」では、高校生の取組がインタビュー形式で紹介され、研究方法や研究への姿勢について学ぶことができる。</li> <li>・巻末に「学びの交換」と題して、ホワイトボードとして活用できるページが設けられており、班学習を進めたり、友達の考えを聞いたりして自分の考えを深めていくことができる。</li> </ul>	

種目名	理科	発行者名	教育出版
観点	選 定 の た め の 参 考		
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実験の注意点については、「注意」と「禁止」に分かれており、より安全に配慮できるようになっている。</li> <li>・ 実験結果の記録については、多くの実験で表やグラフにまとめる活動が取り入れられており、結果の整理がしやすくなっている。</li> <li>・ 学習に役立つ観察・実験が、「参考」「やってみよう」「チャレンジ」という形で示されており、生徒の学習状況に応じて必要な内容に取り組めるようになっている。</li> <li>・ 章末ごとにある「要点のチェック」では、学んだことを自分の言葉で説明し、整理することができる。また、単元末には「要点と重要用語の整理」と「基本問題」があり、学びの段階や目的に応じて取り組むことができる。</li> </ul>		
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元や章の導入では、課題発見につながる対話をイラストで効果的に提示し、生徒が学習内容に対して関心をもちやすい構成になっている。</li> <li>・ 観察・実験では、課題に対する仮説を話し合ったり、対話的に方法を計画したりできるように工夫されている。</li> <li>・ 探究活動では、予想と結果を比較したり、結果をもとにした考察の仕方を示したりすることで、科学的に課題を解決することができる。</li> </ul>		
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いずれの学年も巻頭で、「探究の進め方」と題して「疑問を見つける」「課題を決める」などの学習の流れが示されており、一貫してそれに沿う形で各単元・各章の内容が構成されている。また、各単元に「疑問から探究してみよう」が設けられており、そこで扱う観察・実験については、探究活動を生徒に促す構成となっている。</li> <li>・ 本文内の科学読み物「ハローサイエンス」などを中心に、随所に学習内容と生活、安全、歴史、環境などに関する身近な科学や最先端の科学の話題について学習することができる。</li> <li>・ 発展的な実験内容の「やってみよう」「チャレンジ」が数多く設けられていて、身近な材料を用いた実験などを通して、既習内容をもとに学びを深めていくことができる。</li> <li>・ 巻末の「校外の施設を利用しよう」では、博物館や動物園などの施設を活用した学習の進め方が示されている。</li> </ul>		

種目名	理科	発行者名	啓林館
観点	選 定 の た め の 参 考		
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の注意点については、「！」や文章で、起こりうる危険性について注意がされている。さらに数種類の安全についてのマークを示すことで、何に注意すべきか一目でわかるようにしている。</li> <li>・図や説明文では分かりにくい実験方法について、二次元コードを読むことで、実験手順が動画で確認できるようにしている。また、「実験から」では、学習内容が分かりやすくまとめられている。</li> <li>・授業で取り組む観察・実験の他に、学習に役立つ観察・実験が手順まで細かく示されており、授業内容をより深めることができる。</li> <li>・章末ごとに「基本のチェック」として学んだことが確認できるようになっている。また、単元末の「力だめし」では観察・実験を通して学んだことが知識として定着しているかどうかを問う問題と、思考力を高める問題とが区別されており、学びの段階に応じて取り組むことができる。</li> </ul>		
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の「探Q」では、二次元コードが記載されており、課題設定や仮説を立てるための手がかりが示されている。また、考察のポイントとなるヒントを対話のかたちで示し、主体的に探究活動を進められるように工夫されている</li> <li>・「課題の把握」から始まり、「課題の追究」、そして「課題の解決」といった探究の過程に沿って内容が構成されており、系統的に学習を進めることで、探究する力を育てる工夫がされている。</li> <li>・実験後には、必ず探究活動の振り返りが設定されている。また、導入時と単元末に同じ疑問を投げかけることで、単元を通して何を学んだのかを確認できるよう工夫されている。</li> </ul>		
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元に「探Qシート」を用いた観察・実験が設定されており、生徒が仮説を立てたり、計画や方法・必要器具を考えたりするなど、探究活動をより一層促す構成となっている。</li> <li>・「お仕事ラボ」「部活ラボ」「ひろがる世界」などのコラムや、二次元コードによる映像で、日常生活や社会との関連に関する資料を紹介し、科学を学ぶ意義や有用性を実感させる工夫がされている。</li> <li>・単元末の「みんなで探Qクラブ」では、生徒が関心をもちやすい内容について、探究方法が示されている。巻末には「自由研究テーマ例」と題して、各単元に関する探究的な活動の例が示されている。</li> <li>・巻末のサイエンス資料には「ICTの活用」という項目を設定し、ICTを活用してより多面的に実験結果を考察したり、分かりやすく発表したりする方法が示されている。</li> </ul>		



# 音樂（一般・器樂合奏）

教 育 出 版

教 育 芸 術 社

## 観点の内容

### 音楽科 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既習の知識と新たに習得した知識などが結び付く学習活動が設定されている箇所数</li> <li>・ 表現の技能を高めるための記述の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付き、理解するとともに、音楽表現を楽しむために、または表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けさせるように留意する。</li> <li>・ 創意工夫の過程の中で、「技能」の習得に関する学習が質的に高まっていること。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数</li> <li>・ リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取らせる活動が見られる箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるように留意する。</li> <li>・ 音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、曲や演奏のよさなどを見いだししていくことが質的に高まっていること。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな演奏形態による教材数</li> <li>・ 聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実にかかわる教材・学習活動が設定されている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が進んで音楽に親しみ、音楽活動を楽しむとともに生涯にわたって音や音楽への興味・関心をもち続け、それをさらに高めていけるように留意する。</li> <li>・ 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図りながら、友達と音楽表現をしたり音楽を味わって聴いたりする楽しさや、様々な音楽に親しむことができるよう留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 音楽 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の知識と新たに習得した知識などが結び付く学習活動が設定されている箇所数について調査を行った。</li> <li>・表現の技能を高めるための記述の箇所数について調査を行った。 例) 曲想や活動のイメージ図・イメージ写真や挿絵の箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数について調査を行った。 例) 音楽用語や記号についての説明や資料の箇所</li> <li>・リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取らせる活動が見られる箇所数について調査を行った。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな演奏形態による教材数について調査を行った。 例) 声楽・合唱・オーケストラ・和楽器などの教材の箇所</li> <li>・聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実にかかわる教材・学習活動が設定されている箇所数について調査を行った。 例) 「聴いて感じたことを話し合しましょう」などの記述がある箇所</li> </ul>

# 調査結果

## 音楽(一般)

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	既習の知識と新たに習得した知識などが結びつく学習活動が設定されている箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数	リズム、強弱、形式などの音楽を取りづくる活動が見られる箇所数	いろいろな演奏形態による教材数	聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりする教材・学習活動の設定されている箇所数
	1年生	○	○				○
	2・3年生上		○			○	○
	2・3年生下	○	○				○
教育芸術社	1年生			○	○	○	
	2・3年生上	○		○	○		
	2・3年生下			○	○	○	

# 調査結果

## 音楽(器)

	観点A		観点B		観点C	
	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
研究調査事項  発行人	既習の知識と新たに習得した知識などが結びつく学習活動が設定されている箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数	リズム、強弱、形式などの音楽を取りづらくしている要素の働きを感じさせる活動が見られる箇所数	いろいろな演奏形態による教材数	聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり意見交換したりするなど、言語活動の充実が図られている箇所数
教育出版	○				○	○
教育芸術社		○	○	○		

種目名 音楽（一般・器楽）	発行者名	教育出版
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<p>(一般)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「何が同じで何が違う？」のページで、既習の内容を振り返り、関連している内容についても分かりやすく記述されている。</li> <li>・主要教材や「比べてみよう」で学習したことについて、さらに知識・技能を深められるような曲が、「深めてみよう」に掲載されている。</li> <li>・曲想のイメージにつながりやすい写真やイラストが多く、その曲の歌い方、演奏の仕方、鑑賞の視点といったポイントが分かりやすくまとめられている。</li> </ul> <p>(器楽合奏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きごとに「学びのねらい」が設定され、基礎からまとめの曲に向けて見直しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>・基本的な奏法を学ぶ曲から、修得した知識を生かした発展的な曲まで幅広く掲載されているとともに、ウェブサイト「まなびリンク」で範奏を聴くなどして、さらに詳しく調べることができる。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<p>(一般)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生と2・3年生(上)には「音楽を形づくっている要素」について説明したページがある。</li> <li>・教材ごとに記号や用語が図とともに取り上げられており、巻末の楽典のページに大きくまとめられている。</li> <li>・各学年で「学びのユニット」を示し、各曲でどのような要素に注目するか分かりやすく提示されている。</li> </ul> <p>(器楽合奏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器ごとに演奏法や楽譜の見方など、順序立てて説明されている。</li> <li>・「音のスケッチ」では、題材を元にした創作や、「音楽を形づくっている要素」を意識しながら学習を深める活動が設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<p>(一般)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の後半には、各分野において表現を工夫し、学びを深めるような教材が掲載されている。</li> <li>・様々な演奏形態による教材が掲載されている。</li> <li>・掲載された曲に使う楽器や奏法などを、共通点や相違点について比較し、考えて交流する活動が設定されている。また、曲を分析し、自分の考えや友達と交流したことを書き込めるページが設定されている。</li> </ul> <p>(器楽合奏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの学習では、リコーダーとクラシックギターや、箏との合奏など他の楽器と組み合わせて演奏する技能を身につけることができるような曲が設定されている。</li> <li>・「何が同じで何が違う？」のページでは、楽器ごとの共通点や特徴を理解し、自分なりの考えをまとめ、話し合い活動につなげられるよう工夫されている。</li> </ul>	

種目名 音楽（一般・器楽）	発行者名	教育芸術社
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<p>(一般)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で系統的な学びができるように学習内容が配列されている。また、生涯にわたり音楽文化に親しめるように見通したページがある。</li> <li>「深めよう！音楽」というページで、既習の曲を例に具体的な手順を示し、図やイラストを用いて視覚的に分かりやすく説明されている。</li> <li>曲想のイメージにつながりやすいイラストが多く使われている。生徒が話し合いをしているようなイラストとコメントで表現の技能につながる工夫がされている。</li> </ul> <p>(器楽合奏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽器ごとに歴史や特有の用語の解説など知識を深める記載が多い。</li> <li>楽器の基礎的な奏法や、姿勢、構え方などを、写真付きで説明されており、資料や楽譜が大きく視覚的に分かりやすい。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<p>(一般)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巻末に「音楽の約束」として楽典のまとめのページがあり、音符・休符・記号・用語は表として一覧になっており、見やすくまとめられている。</li> <li>二次元コードを読み取るとウェブサイトで詳しい解説を読むことができる。</li> <li>各学年に「音楽を形づくっている要素」のページがあり、その要素の働きを感じ取る活動ができる曲名とその曲の掲載ページが紹介されている。</li> </ul> <p>(器楽合奏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽器ごとにリズムパターンの例や奏法についての説明が詳しく掲載されている。</li> <li>「音楽を形づくっている要素」を目次で整理して学習の見通しをもてるように工夫されており、巻頭の「アンサンブルセミナー」で、その曲に合った効果的な楽器を選んだり、演奏の仕方を学んだりする活動が示されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<p>(一般)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの演奏形態についてポイントとなることや、内容、構成について説明されているページがある。</li> <li>2・3年生（下）では、音楽史の年表中で多くの曲を紹介しており、日本と西洋の音楽などを比較できるようになっている。</li> <li>「深めよう！音楽」のコーナーがあり、生徒が曲に対する自分の考えをもち、友達と話し合う設定がされている。活動後に、感じたことを交流し合う設定がされている。</li> </ul> <p>(器楽合奏)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短い練習曲からアンサンブル曲など多くの曲が掲載されており、巻末のアンサンブルでは表現を深める発展的な曲が取り上げられている。</li> <li>「深めよう！音楽」のページでは、演奏したり、鑑賞したりすることで気づいた特徴などをさらに深めるための工夫があり、奏法や表現方法について話し合いながら学習活動を進められる手立てとなっている。</li> </ul>	

# 美 術

開 隆 堂

光 村 図 書

日本文教出版



## 観点の内容

### 美術科 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりすることについて扱った箇所数</li> <li>・ 技法等の手順を紹介した箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形や色彩などの性質や、それらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などから全体のイメージや作風などで捉えることなどについて実感を伴いながら理解できるよう留意する。</li> <li>・ 一定の手順に沿って材料や用具の使い方などの個別の技能を身に付けるだけでなく、生徒自らが発想や構想したことを基に、自分の意図をよりよく表現するための創造的に表す技能を身に付けられるよう留意する。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語活動の充実にかかわる教材や学習活動が設定されている箇所数</li> <li>・ 鑑賞の活動に関わる題材の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己との対話を深めることや、〔共通事項〕に示す事項を視点に、表現において発想や構想に対する意見を述べ合ったり、鑑賞において作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合ったりするなどの言語活動の充実に留意する。</li> <li>・ 鑑賞の指導については、各学年とも、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を確保することに留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美術を通じた生活との関わりを扱った箇所数</li> <li>・ 生徒が表現や鑑賞の学習をしている場面の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 美術科の授業の内容を学校内で閉じることなく、生活や社会とつなげて関わりをもたせ、気付かせる工夫をしながら、主体的に生活や社会の中で美術を生かし、想像していく態度が養えるよう留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 美術 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりすることについて扱った箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「柔らかい感じが出るように赤い花びらを塗る」、「なめらかな感じが出るように木を削る」など表したい感じを意識したり、制作した作品を基に、形や色彩が感情にもたらす効果を踏まえて表現の意図や工夫について話し合ったりしている箇所</li> <li style="padding-left: 2em;">一題材の中に、複数の題材がある場合は、それぞれで一題材とする</li> <li>・技法等の手順を紹介した箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 図や写真等で道具の使い方や技法について紹介している箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動の充実にかかわる教材や学習活動が設定されている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 作品に対する思いや考えを話し合ったり、批評し合ったりしている箇所</li> <li>・鑑賞の活動に関わる題材の数について調査を行った。</li> <li>例) 作品のよさや美しさを味わい、作者の思いや意図を感じ取る活動等、各発行者が、鑑賞にかかわる内容として扱っている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術を通じた生活との関わりを扱った箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 学校生活で美術が活かされているような箇所や、工芸作品、日用品、工業製品、建築、標識、伝統芸能について扱っている箇所。</li> <li>・生徒が表現や鑑賞の学習をしている場面の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 生徒が制作したり、作品について話し合ったりしている場面の箇所。</li> </ul>

# 調査結果

## 美術

		観点A		観点B		観点C		
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等		
発行社	研究調査事項	す特徴ることにつ ることにつ いて扱 った 箇所 数	形や色 彩、材 料や光 などの 造形 の捉 えたり 、全 体 に 着 目 し て そ れ ら の 働 き を 捉 え たり な す	技法等 の手順 を紹 介 し た 箇 所 数	学言語 活動の 充実に かか わる 教材 や 設 定 さ れ て い る 箇 所 数	鑑賞の 活動に 関わる 題材の 数	美術を 通した 生活と の関わり を 扱 った 箇 所 数	生徒が 表現や 鑑賞の 学習を してい る 場 面 の 箇 所 数
	開隆堂	1年生				○	○	○
	2・3年生	○			○		○	
光村図書	1年生	○	○	○				
	2・3年生	○		○			○	
日本文教出版	1年生		○	○		○		
	2・3年生上・下		○	○		○		

種目名 美術	発行者名	開隆堂
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>各題材の参考作品には、簡潔な言葉による説明や作者の言葉が紹介され、随所に「美術の用語」による解説が示されている。</li> <li>領域ごとにまとめられた構成となっており、各題材のページを追うごとに、「造形的な視点による学習」の流れが明確になるように示されている。</li> <li>巻末に「学びの資料」を設け、参考作品とともに用具の扱いや技法の手順、知識や使い方が詳しく示されている。さらに、「作品展示」や「美術館」「美術の歴史と交流」などについても取り上げられている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いながら活動を進めている場面や、自分の思いや考えを伝え合っている場面を多く提示している。また、題材ごとに「学習のポイント」が示され、自然な流れで話し合いが行えるよう工夫されている。</li> <li>鑑賞の題材では、連続した12ページで日本の美術が扱われ、見開きページや「まとめ」でも作品の配置や構成が工夫されている。また、原寸大や部分拡大など図版が大きく、それぞれの写真に番号が記載されている。</li> <li>表現の題材や各扉ページにも多くの作品が配置され、鑑賞活動との関連や学習の流れが示されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材毎に他教科との関連が示されていたり、外国の生徒による作品には国名が記載されていたりしている。また、「暮らしに生きる美術」や、デザインや工芸などのページでは、身の周りや、日本の伝統文化に関心をもてるような作品が多く取り上げられている。</li> <li>「学びの資料」では、ひとつの題材に複数の活動の様子を示した写真が掲載され、活動の広がりが促されている。</li> <li>制作中の生徒の様子と共に、話し合いながら発想し、共同して活動する様子が写真で紹介されている。</li> </ul>	

種目名 美術	発行者名	光村図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師と生徒という設定のキャラクターの会話や、作品に添えられた「作者の言葉」や「作家の発想・構想」のページによって、生徒が「造形的な視点」を理解しやすいように工夫がされている。</li> <li>・全ての「表現」題材では、関連した作品鑑賞から始まり、次に「表現 - 発想・構想」、最後に「鑑賞」という実際の授業を意識した流れで構成されている。</li> <li>・巻末の「学習を支える資料」や「表現 - みんなの工夫」で写真や解説、作者の言葉も交えながら、実際の制作過程が丁寧に提示されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭巻末の詩とともに作品が紹介されているページや、「作者の言葉」や話し合いながら活動する生徒の写真を多く取り上げることで、自然な流れで言語活動を促す構成となっている。</li> <li>・「発想を広げる」ページでは、マッピングやベン図など、言葉を使って発想を広げたり、鑑賞したりする話し合いの進め方を紹介し、制作途中の作者の言葉と共に描かれたアイデアスケッチの写真が掲載されている。</li> <li>・見開きページで作品の比較を示したり、トレーシングペーパーを綴じ込んだり紙質の違うページを工夫したりして、様々な鑑賞授業の形態が提示されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「他教科とのつながり」が大きくコラムとして掲載されていたり、「道徳科とのつながり」として、関連の内容項目が示されたりしている。</li> <li>・生徒が活動している様々な様子を写真や絵で紹介し、二次元コードで「全国の中学生の作品を見てみよう」と促す工夫がされている。</li> <li>・「表現 - みんなの工夫」のページでは、実際の生徒の写真やその授業での活動の様子が流れを追って具体的に提示され、活動の様子がよくわかる工夫がされている。</li> </ul>	

種目名 美術	発行者名	日本文教出版
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各題材で、「造形的な視点」や「作者の言葉」、「学びの目標」が見やすく示され、タイトルやサブタイトルも言葉が工夫されていて、「造形的な視点」が理解しやすい構成となっている。</li> <li>・各巻末に「学びを支える資料」が設けられ、技法の手順だけでなく、原寸大写真で鑑賞と関連付けたり、作家の実際の制作の様子を提示したりして、創造的な表現につなげる工夫がされている。</li> <li>・3分冊で学年を意識した構成となっていることで、同じ素材や題材を繰り返し取り上げながらも、学びの目標を変え、発達段階を意識した学習の設定がされている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が作品を発表している場面や、グループで話し合いながら活動している場面が大きな写真で示され、実際の活動や授業で取り入れられるような例示となっている。</li> <li>・「作者の言葉」は、誌面で目に留まりやすい工夫がされ、各題材に設定された「学びの目標」に沿った内容となっている。</li> <li>・インデックスやマークで領域や分野がわかりやすく示されていたり、鑑賞と表現の題材を関連付けた学習が提示されていたりする。また、見開きページなどでは、原寸大写真や複数の作品写真で比較ができるような構成となっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各巻頭の「学びの言葉」や最終巻末の「社会に生きる美術の力」のページでは、美術作家の言葉だけでなく、多方面で活躍する人物からのメッセージが掲載され、社会のなかに生きる美術について考えることができる構成となっている。</li> <li>・生徒が作ったものを実際に使っている写真や、「日常の中の美術」「あなたの美をみつけて」「暮らしに息づくパブリックアート」など、生活や社会に美術が生きる様子が随所に紹介されている。</li> <li>・A4ワイドの誌面に作品写真と生徒の学習場面の写真が大きく配置され、活動の様子がよくわかる構成となっている。</li> </ul>	

# 保健体育

東京書籍

大日本図書

大修館書店

学研教育みらい

## 観点の内容

### 保健体育科 目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動やスポーツとの多様な関わり方(楽しみ方)や「する・みる・支える・知る」について取り扱っている箇所数</li> <li>・ 健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性について取り扱っている箇所数</li> <li>・ 心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容、ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育や保健の見方・考え方を働かせることを通して、保健体育科においては、各種の運動がもたらす体の健康への効果はもとより、心の健康も運動と密接に関連していることを実感させ、生涯に渡って心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための知識及び技能を習得させることに留意する。</li> <li>・ 「する・みる・支える・知る」といった生涯に渡る豊かなスポーツライフを実現していく資質・能力の育成に向けて、運動やスポーツの価値や文化的意義等の指導はもとより、指導する領域が有する特性や魅力を理解させること、運動実践につながる態度の形成に関する知識を理解させること、保健で学習する健康・安全の概念と体育の分野で学習する健康・安全の留意点との関連を図ることに留意する。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康・安全に関する課題を解決する学習活動を取り上げている箇所数</li> <li>・ 実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりしている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康・安全に関する課題に対応して、自己の健康・安全を保持増進するための的確に思考し、判断するとともに、それらを表現することができるような資質・能力の育成を目指すことに留意する。</li> <li>・ 健康に関する課題を解決するなどの学習活動を取り入れ、知識を身に付ける指導に偏ることなく、自ら考えたり、判断したりしながら実践的に理解できるように留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるような共生の視点の箇所数</li> <li>・ 自己の健康・安全に関する取組や自己の健康・安全の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような事例や問いの箇所数</li> <li>・ 身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習した成果を実生活や実社会に生かすこと及び運動やスポーツの習慣化を図ることについて留意する。</li> <li>・ 自己の健康の大切さを認識し、健康・安全の保持増進や回復等に主体的に取り組み、健康で豊かな生活を営む態度が身に付くように留意する。</li> <li>・ 現在及び将来にわたって健康で活力に満ちた楽しく明るい生活を営む態度が身に付くよう留意する。</li> </ul>



## 調査方法

### 種目名【 保健体育 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツとの多様な関わり方（楽しみ方）や「する・みる・支える・知る」について扱っている箇所数について調査を行った。 例）運動やスポーツの価値、文化的意義、領域が有する特性や魅力、運動実践につながる態度の形成、生涯にわたる豊かなスポーツライフ、健康・安全の留意点について記載されている箇所</li> <li>・健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性について取り扱っている箇所数について調査を行った。 例）より効果的に体力を高めること、習慣的に運動やスポーツを行うことの意義や例示の箇所</li> <li>・心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容、ストレス対処や心肺蘇生法等の技能に関する内容の箇所数について調査を行った。 例）・科学的な根拠をもとに説明されている実験結果や、統計、学校医など専門家の話で理解を促す内容が記載されている箇所 ・運動と健康の関連について具体的に記載している箇所 ・心肺蘇生法の技能について記載している箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な日常生活の体験や事例を題材にした話合いや、思考を促す資料を用いて健康に関する課題を解決する学習活動を取り上げている箇所数について調査を行った。 例）「自分の生活を振り返り、〇〇について課題発見しよう。」「〇〇についてどんな方法があるか考えてみましょう。」「〇〇の理由について具体的に説明しましょう。」など、自他の課題を発見したり、学習したことを活用・選択し、判断したり、日常生活体験から自分の考えを説明したりする活動が記載されている箇所</li> <li>・実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、コラム、写真や図、グラフ、表などを用いて解説したりしている箇所数について調査を行った。 例）科学的根拠をもとに、説明されている実験結果や、統計、学校医など専門家の話で理解を促す内容が記載されている箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるような共生の視点の箇所数について調査を行った。 例）・ルールやマナー、態度、「する・みる・知る・支える」、喜びに関わる写真の箇所</li> <li>・自己の健康・安全に関する取組や自己の健康の保持増進や回復のために主体的、協働的に活動するよさに気付くような事例や問いの箇所数について調査を行った。 例）「病気の予防で学習したことを生かして、次のことについて考えてみましょう。」など問題に設定されているものや、「学習のまとめ」コーナー等で学んだことを活用している事例を紹介している箇所</li> <li>・身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられるような内容を取り上げている箇所数について調査を行った。 例）思春期に起こる体の変化など、吹き出しや専門家の話等で自分の体の変化を肯定的に捉えられるような内容が記載されている箇所</li> </ul>

調査結果

保健体育

	観点A			観点B		観点C		
	知識及び技能			思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等		
研究調査事項 発行社	運動やスポーツの多様な関わり方（楽しみ方）や、支えている・知る・取り扱っている箇所数	健康や体力の状況に応じて取りつめる必要性について取り扱っている箇所数	心の健康や疾病の予防に関する内容の箇所数	身近な日常生活の体験や事例を題材にした話し合いや、思考を促す課題を用いて健康・安全に関することを解いている箇所数	実践的理解を促すために実験などを取り上げたり、表などを用いて説明したりしている箇所数	運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することのできるような共生の視点を箇所でできるような	自己の健康・安全に関する保持する増進組や回復のために主体的に協働的な活動や問いのよさに気付き、協働的な事例や問いのよさに主体的に協働的な	身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えている箇所数
東京書籍	○			○			○	
大日本図書	○				○		○	
大修館書店		○	○		○			
学研教育みらい			○			○		○

種目名 保健体育	発行者名	東京書籍
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツは、「すること」のほかに、「見ること」「支えること」「知ること」という多様な関わり方があることを理解できるよう、口絵や章末資料においてまとめられている。</li> <li>・運動やスポーツを続けていけるよう、健康・安全の留意点について具体的事例を取り上げまとめられている。</li> <li>・インターネットを使用したトラブルやネット依存について、身近な事例を挙げながら説明することで、自分の身に置き換えて振り返ることができるよう整理されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「○○とはどういうことでしょうか」や「○○について考えてみましょう」など、課題を発見したり、学んだ内容をもとに考えを深めたりすることができるよう工夫されている。また、「活用する」では、習得した知識をもとに、より深く考え、まとめたり、話し合ったりできるよう工夫されている。</li> <li>・科学的な分析に基づくデータやグラフがまとまりごとに掲載されており、思考力や判断力を高める工夫がされている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックで活躍した選手を紹介したり、年齢や障がいの有無に関わらず、楽しめるスポーツやスポーツを支える人の写真を掲載したりすることで、スポーツの共生の視点を学べるよう工夫されている。</li> <li>・学習のまとめとして、「活用する」「広げる」では、学んだことを生かして、自己の健康の保持増進のための活動や生き方を考え、今後に生かすことができるよう工夫されている。</li> </ul>	

種目名 保健体育	発行者名	大日本図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種目ごとに高まる体力や、スポーツの技術と学び方が整理されており、自己の体力向上のためのトレーニング方法へ導くなど、理解しやすい順序で構成されている。</li> <li>・ 自転車の特性や安全な利用の方法について、資料などが多く掲載されており、自転車による交通事故、けがを回避するための方法を理解し、実生活の中で実践できるよう配慮されている。</li> <li>・ 章ごとに「学習のまとめ」として、重要な語句とその内容が掲載されているページを明示することで、振り返ることができるよう整理されている。また、他教科と関連する内容には、教科名（単元内容）が記載され、つながりのある学習を進めることができるよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「つかもう」では、身近な日常生活の体験を振り返る発問により、自らの課題を解決できるよう工夫されている。また、「やってみよう」や「話し合ってみよう」では、資料を読み取ったり、学んだ内容を活用し、自分の考えを伝え合ったりできるよう工夫されている。</li> <li>・ ページの右側に資料がまとめて掲載されており、どの生徒にも見やすいよう工夫されている。また、イラストや写真、グラフなどを大きく掲載することで、視覚的に捉えやすいように工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動やスポーツの必要性や多様な楽しみ方を共有することができるよう、動きのある写真を豊富に掲載している。また、世界で活躍するスポーツ選手を支える人々について触れることで、スポーツの共生の視点を学べるよう工夫されている。</li> <li>・ 学習のまとめに「活用して深めよう」が設定されており、学んだことを生かして自己の健康・安全について考え、生活に生かせるよう工夫されている。また、章末の「学びを活かそう」では、実際に起こりうる場面を想定し、書き出したり、話し合ったりすることで学びを深められるよう工夫されている。</li> </ul>	

種目名 保健体育	発行者名	大修館書店
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の体力を「効果的に高める方法」や「バランスよく高める方法」について具体的事例を取り上げ、実生活の中で実践できるよう配慮されている。</li> <li>・ 悩みやストレスの原因とその対処法について、「特集資料」や「クローズアップ」の特別ページで詳しく記載することで、得た知識が実践力となるよう工夫されている。</li> <li>・ 各章の見出しページには、「この章で何を学ぶのか」を考える発問があり、興味や関心をもって学習を進めることができるよう工夫されている。また、事例内容が、生徒にとって身近な内容であり、学んだことを実践に結び付けやすいよう工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「課題をつかむ」では、小学校での学習を振り返ったり、グループで話し合ったりしながら、自他の課題を発見し、解決できるよう工夫されている。</li> <li>・ イラストや統計グラフ、写真を多く取り入れることで、生徒の理解を促せるよう工夫されている。また、次世代を担うアスリートのコラムや、栄養士など専門家の話を掲載することで、身近に感じられるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料や写真で年齢や障がいの有無、国籍に関係なく、スポーツや運動に挑戦し、楽しみ、支えあう姿を生き生きと伝えており、「共に生きる」というテーマを実感できるよう工夫されている。</li> <li>・ 学習のまとめの「生かそう」や章末の「学びに向かって」という課題を設定することにより、学んだことをもとにして自らを振り返り、主体的に取り組むにはどうすればよいかを考えられるよう工夫されている。</li> </ul>	

種目名 保健体育	発行者名	学研教育みらい
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「けがの応急手当」や「けがの再発防止や予防」に活用できるテーピングの巻き方が、図を用いて分かりやすく掲載されている。また、インフルエンザによる発熱から登校可能日までの期間を例示し、実生活の中で実践できるよう配慮されている。</li> <li>・心の健康に関連した資料を口絵や章末などで紹介することで、得た知識が実践力となるよう工夫されている。</li> <li>・各章のまとめには、「学んだキーワード」が掲載ページとともに明示されており、理解を深めることができるよう整理されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題をつかむ」では、身近な日常生活の体験を振り返ったり、グループによる話し合い活動で自らの考えを伝えあったりする中で、思考力を高めるよう工夫されている。</li> <li>・学んだことを整理したり、深めたりできるよう、科学的根拠や統計にもとづいた資料を使っている。特に、学習内容に関連した読み物資料をコラムとして記載することにより、生徒が課題を身近に感じることができるよう工夫されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口絵や各章ごとにスポーツの多様な楽しみ方や、健康・安全に関する写真が掲載されており、共生の視点を学べるよう工夫されている。また、「ひと」や「カウンセリングルーム」のコーナーでは、専門家の話などを掲載することにより、心身の発育・発達を肯定的に捉え、自らの生き方が考えられるよう工夫されている。</li> <li>・「まとめる・深める」では、学んだことを生かし自己の健康・安全について、どのように取り組んでいくかを書き出したり、話し合ったりすることで、これからの生き方について考えることができるよう工夫されている。</li> </ul>	

# 技術・家庭（技術分野）

東京書籍

教育図書

開隆堂

## 観点の内容

### 技術・家庭科（技術分野） 目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての科学的な原理や法則、基礎的な仕組みについて取り上げている箇所数</li> <li>・ 安全・適切な製作や飼育、検査・点検等ができる技能について取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまで開発され生活や社会で利用されてきた技術について、その仕組みと関係する科学的な原理・法則を理解するとともに、それらに係る技能の習得を図ることが必要であることに留意する。</li> <li>・ 製作、制作、育成、調理等の実習の指導において、機器類、刃物類、引火性液体、電気、ガス、火気などを取り扱うため、安全の保持に十分留意する。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活や社会の中にある技術に関わる問題について取り上げている箇所数</li> <li>・ 課題を設定し解決する一連の学習過程について取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術分野として解決を目指す問題の範囲が、身近な生活といったものだけでなく産業等も含めた社会にあることに留意する。</li> <li>・ 生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、課題を設定して解決策を構想し、製作図や回路図、計画表等に表現して試行錯誤しながら具体化し、実践を評価・改善することのできる力を育むことができるよう留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決とその過程を振り返り、改善、修正や生活への活用の仕方について取り上げている箇所数</li> <li>・ 環境や経済、社会と技術との関わりや持続可能な社会の構築に関して取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術分野として育成を目指す学びに向かう力、人間性等が、安心、安全で便利な生活の実現や持続可能な社会の構築のために、主体的に技術に関わり、技術を工夫し創造しようとする実践的な態度であることに留意する。</li> <li>・ 社会からの技術に対する要求と、開発・利用時の安全性、自然環境に関する負荷、開発・利用に必要な経済的負担等の相反する要求の折り合いを付け、最適な解決策を考えることが技術分野ならではの学びとなることに留意する。</li> </ul>



## 調査方法

### 種目名【 技術・家庭（技術分野） 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての科学的な原理や法則、基礎的な仕組みが分かる表や図、写真の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 木質材料の拡大写真、魚の生産量に養殖の占める割合のグラフ、蛍光灯中の電子の動きの図などの箇所</li> <li>・製作や飼育、検査や点検などの技能に関する基礎的な内容を取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 作業手順の流れ・用具の扱い方、安全に関する注意事項などの箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や社会の中にある技術に関わる問題について取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 「考えよう」「問題点を見つけよう」といった問題点を考えさせるための表記や項目などの箇所</li> <li>・課題を設定し解決する一連の学習過程について取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 問題解決学習の具体的な学習の流れや実践例などの箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決とその過程を振り返り、改善、修正や生活への活用の仕方について取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 評価レポート例、改良案を考えさせる質問や自宅での活用例の紹介などの箇所</li> <li>・環境や経済、社会と技術との関わりや持続可能な社会の構築に関して取り上げている箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 木材の循環に関する資料、水産生物の生育環境の図、大規模建造物の構造に注目した写真や図、発電方法と環境への影響をまとめた比較図などの箇所</li> </ul>

調査結果

技術

	観点A		観点B		観点C	
	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
研究調査事項  発行社	所組のギ材 数任の科―料 みに学的変 につな及工 いて理情、生 取りや報物育 上げ法則の技成 ている基礎、エ いる礎につ 箇所な	上点安 げ検全・ ている等 箇所適 数切な 技能製 につ作 いて育 取り、 取り・	所生 数活 問や 題社 につ会 いての 取り中 上げに ているある 箇所技術 に関わ	数過課 程を設 につ定 いてし 取り解 上げ決 ているする 箇所一 所連 習	に改問 つ善題 いて決 取りと 上げその ている活 箇所用 数の仕 方、	てり環 取や境 り持や 上げ続 ている可 箇所能 数な社 会と 技術 の構 築に 関し
東京書籍			○	○		○
教育図書	○	○			○	
開隆堂	○		○	○		

種目名 技術・家庭（技術分野）	発行者名	東京書籍
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「リンク」、「他教科」、「小学校」、「Dマーク」などの表示により、技術・家庭科の関連項目だけでなく、他教科および小学校の内容との関わりが一目でわかりやすく、幅広い視点から基礎的な知識を学ぶことができるように工夫されている。</li> <li>・工具の基礎的な使用方法や作業手順を「TECH Lab」のページとしてまとめ、手順に沿いながら各作業別に説明されているため、振り返りの学びがしやすいように工夫されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎節、はじめの活動として「考えてみよう」や「調べてみよう」などの考えるきっかけが与えられている。さらに、まとめの活動として「生活に生かそう」や「まとめよう」が設定されており、深い思考を促すための工夫がされている。また、いろいろな場面でキャラクターが発言する形式で、技術の見方・考え方につながる情報が提示されている。</li> <li>・実習の場面では、生活の中にある問題の発見から始まり、その問題を解決するための計画や作業、評価までの具体的な流れを「私が開発者！問題解決カード」に沿って学習できるようになっている。また、問題解決例として実習の実践例が数多く紹介されており、製作の手順や工夫をするための視点など、さらなる問題解決につながる情報が丁寧に掲載されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Next 評価、改善・修正」の中で、生活への有効な活用のための工夫や改良の仕方の例を取り上げることで、新たな課題設定がしやすいような構成になっている。また各内容のまとめに「未来のTechnology」と題して、技術を適切に評価し、未来に向けての改良、応用について考えさせる内容が盛り込まれている。</li> <li>・生活や社会の中で活用されている身近な技術から、最新の技術までを、導入部分で写真を多く使って紹介しているほか、環境や防災、情報モラルに配慮が必要な箇所を強調し、意識を高める工夫がされている。また「技術の匠」のページを各編の後半部分に配置し、技術に携わり、社会で活躍する人々から学ぶためのコラムが掲載されている。</li> </ul>	

種目名 技術・家庭（技術分野）	発行者名	教育図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各編の1章を「つくって・育てて学ぼう」として、簡単な製作や育成を通じて基礎的な知識および技能が習得できるように工夫されている。特に基礎的な仕組や性質などは、「やってみよう」を窓口に、順に理解が深まるように配慮されている。また、「情報の技術」では、2種類のプログラミング言語について、基本的な使い方をそれぞれ見開き2ページを使って見やすく示し、苦手な生徒にも基礎的な内容が定着しやすくなっている。</li> <li>・多くの製作例があり、共通の作業の流れを示す中で、異なる工程に焦点をあてて詳しく紹介し、様々な技能の習得につなげている。また、大きな写真を提示し、「基礎技能」「ポイント」を強調して示すことで、基礎的な技能を確認しながら作業ができるように工夫されている。さらに別冊「技術ハンドブック」に作業に関する内容がまとめられており、基礎的な技能がさらに定着するよう配慮されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの導入として「見つける」が設定されており、生活や社会の中にある技術に関わる問題点の気づきにつなげている。</li> <li>・各編の2章「じっくり学ぼう」では、最初に問題解決例の流れをステップ1から4に分けて紹介し、見通しをもって学習が始められるように工夫されている。また、巻末に問題解決学習の計画表が付属しており、実際の学習場面に使用できるようになっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとまりごとに「ふり返る」の項目が設定され、細かな段階ごとに、2～3項目ずつの確認事項を用いて自己評価を行うように構成されている。また、問題解決学習のまとめには、「私のひと工夫」、「先輩からのアドバイス」など、さらに改善・修正を重ねてよりよいものを作り出そうという意欲を引き出すための工夫がされている。</li> <li>・「もっと知ろう」では、最先端の技術、「技ビト」では社会で活躍する技術者の声が紹介されており、環境や社会と技術との関わりについて、数多くの事例を取り上げている。</li> </ul>	

種目名 技術・家庭（技術分野）	発行者名	開隆堂
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コードをページの右下に数多く配置し、実験や作業の内容を動画を用いて提示することで、基礎的な知識や技能が身につけやすいように工夫されている。また、生活や社会で使われる技術の工夫を調べることで、技術の内容に関心を抱かせて、自ら学ぶ意識をもたせる工夫がされており、基礎的な知識や技能がより定着するように配慮されている。</li> <li>・工具や道具の使用法や作業の注意点、情報処理の基本と表現など、基礎的な知識や技能について、写真やイラストを上手く使ってポイントや注目点が丁寧に示されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「実験」の方法や内容の紹介が数多く設けられており、実験を通して考えたり、判断したりすることができるように工夫されている。また、実際の実験の様子を二次元コードの動画で確認することができ、その様子や結果を手掛かりに、それぞれが自らの考えを深めていくように構成されている。</li> <li>・実習例ごとに問題の発見から評価、改善までの具体的な学習の流れと、問題解決に必要な情報が整理されて示されており、その流れに従って学習を進めることで、問題解決学習を確実に進めることができるように構成されている。また、情報の技術の実習例には、制作工程表やアクティビティ図が取り入れられ、問題解決までの流れを視覚的に分かりやすく整理するなど、取り組みやすいような工夫がされている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各実習例の終わりに、評価、改善についての記述が明確に示されており、あわせて改善策を考えるための視点を示し、最も適した技術の仕組みを考える姿勢を育むことを意識した構成になっている。</li> <li>・「参考」の資料に一步進んだ技術の工夫、創造についてまとめている。「探求」のコーナーでは、環境や防災の視点から、新たな技術を中心とした内容を扱っている。また、各内容の終わりには「学びを深めよう」として、それぞれの内容に関するコラムが掲載されており、学習したことを基に、課題やその解決方法について、自分の考えをまとめる場面が設定されている。</li> </ul>	

# 技術・家庭（家庭分野）

東京書籍

教育図書

開隆堂

## 観点の内容

### 技術・家庭科（家庭分野） 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族・家庭、衣食住、消費や環境についての基礎的な理解に関わる資料の箇所数</li> <li>・ 調理や製作などの技能に関する内容を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族・家庭、衣食住、消費や環境などに関する内容を取り上げ、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るために、調査や話し合い活動を取り入れ、生徒が主体的に考えられるよう留意する。</li> <li>・ 実践的・体験的な活動を重視した学習を通して、一定の手順や段階を追って身に付けるだけでなく、自分の経験や他の技能と関連付けながら主体的に活用できる知識・技能として習熟・定着させるよう留意する。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭や地域で活用するための教材や学習活動が設定されている箇所数</li> <li>・ 問題解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「生活の課題と実践」において、家族・家庭生活や衣食住の生活、消費生活・環境で学習した内容との関連を図りながら課題を設定し、実践的な活動を家庭や地域で行うことができるよう留意する。</li> <li>・ 問題解決的な学習においては、解決方法を考えたり、計画を立てて評価・改善したりする際、考察した意見を他者と交換する活動を通して、多角的に検討できるよう留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児や高齢者などとの関わり、日本の生活文化の継承、豊かな生活の創造、将来の家庭生活や職業との関わりについて取り上げている箇所数</li> <li>・ 各教科等の内容や、道徳の内容、小学校での学習内容と関連をもたせた指導に関する内容が設定されている教材の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身に付けた資質・能力を活用して、家族と協力し、地域の人々と協働しようとする態度、日本の生活文化を継承しようとする態度、生活を楽しみ、豊かさを味わおうとする態度、将来の家庭生活や職業との関わりを見通して学習に取り組もうとするなどの実践的な態度を養うことができるよう留意する。</li> <li>・ 各教科や道徳等の指導内容との関連を図るとともに、小学校家庭科や高等学校家庭科における学習と系統立てて、生徒の生活とのつながりを重視し、家庭や地域における実践に結びつけることができるよう留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 技術・家庭(家庭分野) 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<p>・家族・家庭、衣食住、消費や環境についての基礎的な理解につながるグラフや表・図・写真・資料の箇所数について調査を行った。 例) 幼児と中学生の体型の比較図、食品の成分グラフ、住まいにおける地震対策の図、繊維の拡大写真などの箇所</p> <p>・調理や製作などの技能に関する基礎的な内容（作業手順の流れ・用具の扱い方）を取り上げている箇所数について調査を行った。 例) 食材の切り方、計量の仕方、スナップのつけ方、ミシンの取り扱い方などの箇所</p>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<p>・家族・家庭や地域で活用するための教材や学習活動の箇所数について調査を行った。 例) 調理例、作品例、発展、探究、実習、考えよう、調べよう、やってみよう、挑戦しよう などの箇所</p> <p>・問題解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている箇所数について調査を行った。 例) 問題解決学習の事例、話し合おう などの箇所</p>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<p>・幼児や高齢者など家族や地域の人々との関わり、日本の生活文化の継承、豊かな生活の創造、将来の家庭生活や職業との関わりについて取り上げている箇所数について調査を行った。 例) 幼児・高齢者とのふれあいや日本の伝統文化に関する資料、プロへのインタビューなどの箇所</p> <p>・各教科等の内容や、道徳の内容、小学校での学習内容と関連をもたせた指導に関する内容が設定されている教材の数について調査を行った。 例) 他教科や道徳、小学校の学習と関連がある箇所</p>



調査結果

家庭

	観点A		観点B		観点C	
	知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
研究調査事項  発行社	家族・家庭、衣食住、消費や環境 に関する基礎的な理解に関する 資料の箇所数	調理や製作などの技能に関する内 容を取り上げている箇所数	家庭や地域で活用するための教材 や学習活動が設定されている箇所 数	問題解決的な学習の一連の学習過 程を取り上げている箇所数	幼児や高齢者などとの関わり、日 本の生活文化の継承、豊かな生活 の創造、将来の家庭生活や職業と 関わりについて取り上げている 箇所数	各教科等の内容や、道徳の内容、 小学校での学習内容と関連をもた せている指導に関する内容が設定され ている教材の箇所数
東京書籍	○	○		○		
教育図書			○	○	○	
開隆堂	○		○			○

種目名 技術・家庭（家庭分野）	発行者名	東京書籍
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語句の説明や関連する資料が豊富に掲載されており、理解しやすいようにまとめられている。</li> <li>・ 調理や製作などの基礎的な技能に関して、写真やイラストでまとめられた「いつも確かめよう」のページや二次元コードによる動画により、手順などを授業や家庭で確認することができる。</li> <li>・ 巻末に「言葉のページ」として、衣食住に関わる基礎的な語句がまとめられており、学習した内容を調べたり、振り返ったりしやすくなっている。</li> <li>・ 巻末の「防災・減災手帳」は、日常的に手元で確認できるように切り離して活用できる資料となっている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決的な学習として、消費生活のページだけでなく、食生活や衣生活でも「選択と購入に関する意思決定のプロセス」の欄が設けられており、学んだことを繰り返し活用できる工夫がされている。</li> <li>・ 「生活の課題と実践」では、物事を考えたり意見を整理したりする際に有効な思考ツールの例がまとめられている。また、思考ツールを活用した「主体的・対話的で深い学び」を通して、問題解決能力を高めることができるよう工夫されている。</li> <li>・ 「生活の課題と実践」では、まとめ方を生徒がイメージしやすいように、レポートや個人新聞などのモデルが具体的に示されている。</li> <li>・ 実習の際に生徒の創造性を引き出すことができるよう、「私のオリジナル」として工夫例が示されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職業との関わりについて、「プロに聞く！」や二次元コードによるインタビュー動画があり、学習した内容と職業や自分の生き方とを関連付けて考えることができる。</li> <li>・ 「生活の課題と実践」では、幼児や高齢者など、家族や地域の人との具体的な関わりが想定されており、より実践的に考えることができる。</li> <li>・ 「リンク」「他教科」「小学校」マークにより、教科や学校種間のつながりが分かりやすくなっており、二次元コードで関連する他教科の教科書の内容を見ることができる。</li> <li>・ 脚注には、身近な生活に関わる物事について、興味をもって読むことができる「せいかつメモ」が掲載されている。</li> </ul>	

種目名 技術・家庭（家庭分野）	発行者名	教育図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の内容に関連する資料や図があり、端的で分かりやすくまとめられている。</li> <li>・6つの食品群の分類がサイコロの目で分かりやすく図示されており、調理実習と栄養・献立などの基礎的な内容と関連付けて考えることができる。</li> <li>・材料に適した加熱調理例が豊富に掲載されており、基本を押さえた内容としてまとめられている。新しい学習内容である「蒸す」調理方法について、食材に合わせた調理の例が充実している。</li> <li>・二次元コードによる動画コンテンツがあり、基礎的な技能に関する内容を確認することができる。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私のアレンジ」として、基本の作り方をもとに、生徒一人ひとりが工夫を加えられるような実習の工夫例が多数掲載されており、生活を工夫し創造する力を身に付けることができる。</li> <li>・章ごとの「学びを生かそう」では、手順に沿った問題解決的な学習が繰り返し取り上げられたり、課題設定のヒントが示されたりしており、生活を工夫し創造する力が身に付くよう配慮されている。</li> <li>・「生活の課題と実践」では、学習のプロセスに沿った具体例が示されており、生徒が自分なりの課題を見つけることができるように工夫されている。</li> <li>・「自立度チェック」や「話し合ってみよう」「やってみよう」など、実生活に結び付けて、生徒が主体的に学習しやすいような課題が多数設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統的な年中行事や、衣食住の生活に関わる多様な伝統文化を豊富に取り上げ、日本の伝統的な文化を継承しようとする態度を養うことができる。</li> <li>・各編の最後のページにある「センパイに聞こう」では、学んだことをこれからの人生や社会で生かすことができるアドバイスが掲載されている。</li> <li>・地域の人々との助け合いや協働についての内容を取り上げ、生徒が地域で活躍するイメージをもち、地域に合わせた取組ができるようにしている。</li> <li>・高齢者疑似体験や介助の活動例、幼児とのふれあい実習の様子などを掲載するとともに、実際に高齢者や幼児と触れ合う機会がもてない場合でも、学習できる方法が掲載されている。</li> </ul>	

種目名 技術・家庭（家庭分野）	発行者名	開隆堂
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習する内容が分かりやすいように、原寸大の写真が使用されている。</li> <li>・「参考」や「memo」、図など基礎的な理解につながる資料が豊富に掲載されている。</li> <li>・二次元コードによる動画コンテンツが豊富で、基礎的な技能に関する内容を授業や家庭で確認することができる。</li> <li>・安全・防災に関する内容や、知識・技能につながる発展的な内容が、巻末に資料としてまとめられている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のはじめに、主体的・対話的な学びにつながる導入の課題が設定されている。</li> <li>・学習のまとめりごとに記述式の「振り返り」「生活にいかそう」の課題が設定されており、自分の言葉で書くことにより、学んだことを実生活に即して考えることができる。</li> <li>・習得した知識・技能などを実生活で活用するための調理や製作の例が豊富に掲載されており、実践的な活動が家庭や地域で行えるよう工夫されている。</li> <li>・「生活の課題と実践」では、自ら課題を発見し、実践できるように課題を解決していく流れに沿って例示されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに持続可能な生活を目指し、学んだこととSDGsとの関わりについて話し合う構成になっており、これからの時代を見据えた社会に目を向けることができるようになっている。</li> <li>・小学校の学びを中学校の学習に生かせるよう、各項目の冒頭に「小学校での学び」を設け、具体的に何を学んだかが明記されている。</li> <li>・他教科や道徳との関連、家庭分野の他の学習内容との関係について、ページの右上などに関連マークが示され、学習内容を関連させるとともに、学んだことを生活に生かせるようにしている。</li> <li>・多種多様な職種で働いている人へのインタビューを「先輩からのエール」として取り上げ、生き方や進路を考えるヒントになるよう工夫されている。</li> </ul>	

# 英 語

東 京 書 籍

開 隆 堂

三 省 堂

教 育 出 版

光 村 図 書

啓 林 館

## 観点の内容

### 外国語科 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「聞くこと」「読むこと」といった技能別（領域別）活動の箇所数</li> <li>・ 「話すこと [やりとり]」「話すこと [発表]」「書くこと」といった技能別（領域別）活動の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言語材料のうち、五つの領域別目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう留意する。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉える言語活動の箇所数</li> <li>・ 日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現する言語活動の箇所数</li> <li>・ 日常的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合う言語活動の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えを形成し、これらを論理的に表現することができるよう留意する。</li> <li>・ 言語活動を行うに当たり、言語の使用場面や言語の働きを取り上げるよう留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主体的に取り組むことができるよう、段階的に設定された言語活動の箇所数</li> <li>・ 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を獲得し、多面的思考ができるような題材設定の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒が興味を持って取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れたり、自己表現活動の工夫をしたりするなど、様々な手立てを通して生徒の主体的に学習に取り組む態度の育成を目指した指導をするよう留意する。</li> <li>・ 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然などに関するものの中から、生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるよう留意する。</li> </ul>

## 調査方法

### 種目名【 英語 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞くこと」「読むこと」といった技能別（領域別）活動の箇所数について調査を行った。</li> <li>例）ListenやQ and A等の技能別（領域別）活動の箇所</li> <li>・「話すこと [やりとり]」「話すこと [発表]」「書くこと」といった技能別（領域別）活動の箇所数について調査を行った。</li> <li>例）SpeakやWrite等の技能別（領域別）活動の箇所</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉える言語活動の箇所数について調査を行った。</li> <li>例）現在ヒットしている5本の映画についての情報を聞き取るなどの言語活動の箇所</li> <li>・日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現する言語活動の箇所数について調査を行った。</li> <li>例）地球にやさしいエネルギー源について書かれた資料を読み、一番よいと思う発電方法を選び、理由も含めて発表するなどの言語活動の箇所</li> <li>・日常的な話題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合う言語活動の箇所数について調査を行った。</li> <li>例）夢の世界旅行について考え、自分の行きたい国とそこで何をしたいかを伝え合うなどの言語活動の箇所。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に取り組むことができるよう、段階的に設定された言語活動の箇所数について調査を行った。</li> <li>例）メールの書き方について、モデル文を理解した後、メールに使える表現を選び、それらを活用してメールを書く等の言語活動の箇所</li> <li>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を獲得し、多面的思考ができるような題材設定の箇所数について調査を行った。</li> <li>例）アメリカでのホームステイ、世界に広がる日本食文化、世界で活躍する日本人、環境問題等が題材として設定されている箇所</li> </ul>

# 調査結果

## 英語

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」という 活動の箇所数	「話すこと」 「やりとり」 「書くこと」 「読むこと」という 活動の箇所数	「話すこと」 「やりとり」 「書くこと」 「読むこと」という 活動の箇所数	「話すこと」 「やりとり」 「書くこと」 「読むこと」という 活動の箇所数	「話すこと」 「やりとり」 「書くこと」 「読むこと」という 活動の箇所数	「話すこと」 「やりとり」 「書くこと」 「読むこと」という 活動の箇所数	「話すこと」 「やりとり」 「書くこと」 「読むこと」という 活動の箇所数
	発行社							
東京書籍	1年生		○		○		○	
	2年生	○			○		○	
	3年生				○		○	○
開隆堂	1年生			○	○			
	2年生			○			○	
	3年生	○		○			○	
三省堂	1年生	○					○	○
	2年生	○	○				○	
	3年生	○		○			○	
教育出版	1年生	○		○				○
	2年生	○		○				○
	3年生	○		○	○			
光村図書	1年生	○	○	○				
	2年生		○	○	○			
	3年生		○	○		○		
啓林館	1年生		○			○		○
	2年生		○				○	○
	3年生		○			○		○



種目名 英語	発行者名	東京書籍
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校のスムーズな接続を図るため、リスニングによる概要把握や、音声による本文や新出文法の導入など、「聞くこと」の活動が充実している。また、映像を活用することで、「目的・場面・状況」への気づきを促す工夫もされている。</li> <li>・「読むこと」については、概要をつかむ・詳細をおさえる・表現につなげるという3段階読みの活動が設定されている。</li> <li>・新出文法の定着を図るため、本文の内容と関連させたPracticeが設定されており、その後、Practiceを参考にして、簡単な自己表現をすることができる「話すこと」「書くこと」の活動が設定されている。</li> <li>・1年生の前半では、Enjoy Communicationが設定されており、「話すこと [やり取り]」を通して、単元の導入をすることができる。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ユニットのはじめに、場面や状況を設定した「聞くこと」の活動があり、単元の導入がしやすい。</li> <li>・Speak &amp; Writeでは、学んだ表現を使いながら、ペアやグループで必要な情報やそれぞれの考えを伝え合うことができる。</li> <li>・Stage Activityでは、学習段階や生徒の興味に応じたテーマが設定されており、目的をもった自己表現活動ができる。「発表」や「やり取り」を通して他の生徒と交流した後、再度自分で考えをまとめる構成になっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として多様な情報を扱っている。また、段階的に学習を進められる構成になっている。</li> <li>・単元を通して題材について自分自身の考えを深める展開となっており、多くのインプットや実生活に生かせるアウトプットの場面が設定されている。</li> <li>・コラム欄や自学自習（家庭学習）をすすめる手助けとなる二次元コードなど、多様なニーズに応える手立てが講じられている。</li> <li>・各単元で取り上げられている内容は、今日的な話題から歴史・伝統に関するものまで幅広く、興味をもって学習を進めることができる内容となっている。（例：環境・防災・AI・国際平和・ユニバーサルデザイン・エネルギー問題・偉人など）</li> </ul>	

種目名 英語	発行者名	開隆堂
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面・状況の把握や、新出表現の習得がしやすいよう、すべての単元がマンガ形式の導入になっており、小学校英語からのスムーズな接続を行うための工夫がされている。</li> <li>・Thinkでは、音声中心、読解中心、音読中心に3段階の読解ができる構成となっている。まとまりのある英文を速く読む活動ができる。</li> <li>・ScenesのSpeak&amp;Writeでは、自己表現を含む簡単な「話すこと [やり取り]」を行った後、「書くこと」につながる構成となっている。</li> <li>・各単元のStepsでは、既習の内容を用いて「話すこと」「書くこと」の技能を身に付ける活動が設定されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Readingでは、概要をつかむ・詳細を読みこむ・自己表現をするの3構成になっている。</li> <li>・Interactでは、親しみやすい話題や日常的な場面について、お互いの考えや意見を述べ合うことができる。</li> <li>・Retellでは、絵やキーワードが提示され、生徒はそれらを使って情報を整理しながら相手に伝えることができる。またOur Projectでは、学習段階に応じた場面が設定され、グループ活動を通して表現力を高めることができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Our Projectでは、マッピングの活用を紹介するなど、単元の学習をふまえて考えを深めたり、情報を整理したりできる構成になっている。また、教科書に書き込んで学習できるように、ページのレイアウトが工夫されている。</li> <li>・生徒が自分の学習状況を振り返り、主体的に学習に向かうことができるよう「できるようになったことリスト」が巻末につけられている。</li> <li>・学年の発達に応じて、文化、時事問題、社会問題を取り上げて学習意欲の向上を図り、国際社会への興味関心を高める工夫がされている。</li> <li>・各プログラムでは、学習した内容について「友達と考えよう」という活動が設定されおり、多面的思考ができるように工夫されている。</li> </ul>	

種目名 英語	発行者名	三省堂
観点	選定のための参考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生前半では、小学校からのスムーズなつなぎとして、各レッスンが「聞くこと」の活動から始まっている。1年生後半は、「読むこと」の活動の後、「聞くこと」の活動、文法事項の学習という流れになっている。</li> <li>・USE、Readの「読むこと」の活動では、概要理解のために、Guideの補助問題に取り組みながら、繰り返し英文を読むことができるよう工夫されている。</li> <li>・Drillでは、ターゲット文を聞き、それをリピートする、キーワードを聞いて言うという流れになっている。その後、Talk、Speak、Writeといったコーナーで簡単なやり取りをし、それを書くという構成になっている。</li> <li>・日常に即した内容のスキットをペアで演じ、「話すこと [やり取り]」の練習ができるようになっている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Read for Informationでは、多くの英文の中から必要な情報を捉える、といった課題が課されているが、イラストや適切な課題設定によって、生徒が意欲的に取り組めるよう工夫がされている。</li> <li>・Take Action!では、付録のRole-Play Sheetを使って「やり取り」を行うことができるよう設定されている。自分たちがおかれている場面や目的、それぞれがもっている情報を整理しやすく、実際の場面に近いやり取りを行うことができる。</li> <li>・USEでは、目的や状況、場面設定を確認し整理しながら文章の構成を学び、自己表現に生かすことができる。さらにProjectでは生徒が興味をもって表現活動に臨めるテーマが設定されており、話し合いや発表の内容が深められるようになっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域にかかわる言語活動が、段階的に学習を積み重ねていけるように構成されており、ペアやグループで取り組む課題が適切に設定されている。</li> <li>・アイデアマップやメモ欄、アイデアボックスなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような手立てが数多く設定されている。</li> <li>・比較的身近なテーマでのアウトプット活動が段階をふまえて設定されており、学年が上がるにつれて、考えを深めることができる内容となっている。</li> <li>・題材として、日本のものと諸外国のものがバランスよく取り入れられており、国際理解、他者理解につながる題材が設定されている。</li> </ul>	

種目名 英語	発行者名	教育出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 学年を通して、レッスンすべての見開きに「聞くこと」の活動が設定されている。また、各ページに音読練習回数の記録欄があり、自学自習（家庭学習）を促す工夫がされている。</li> <li>・ 5 領域のコミュニケーションを効果的に行うコツが練習場面とともに示されており、知識・技能の段階的な習得ができるようになっている。</li> <li>・ パターンプラクティスを行うためのTool Kitが設定されている。</li> <li>・ Activities PlusではQ&amp;Aのドリルを通して「話すこと [やり取り]」の練習ができる。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元末のTaskでは、既習の文法事項を含んだリスニングを行い、場面に応じた内容理解をすることができる。</li> <li>・ Activities PlusのTopic for Speakingでは、Q&amp;Aのドリルを参考にしながら会話する活動を重ね、お互いの表現から学び合うことで、さらに即興的なやり取りの活動へとつなげることができる。</li> <li>・ Think &amp; Tryでは、やり取りや会話をもとに、自分で表現する活動を積み重ね、最終的にまとまった英文で表現する活動につなげられるよう設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Projectで扱う活動の目的が明確であり、取り上げられている内容も興味深いものとなっている。</li> <li>・ 各パートのGoalで明確な目標が示されているので、生徒が自ら目標に向かい学習する態度を養うことができる。</li> <li>・ 世界で活躍する様々な立場の人（偉人）が題材として取り上げられており、興味深く読みすすめることができる。</li> <li>・ 地理・歴史・理科など他教科と関連する題材が設定されており、多面的な思考ができるよう工夫されている。</li> </ul>	

種目名 英語	発行者名	光村図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の各パートが、本文で「聞くこと」「読むこと」の活動、言語活動で「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の活動が位置付けられており、4技能をバランスよく学習することができる。</li> <li>・「読むこと」の活動で、①音声と文字を一致させる、②内容について質問に答える、③音読をする、という学習の流れが示されており、生徒が自学自習（家庭学習）できる工夫がされている。</li> <li>・本文と関連した話題についてSpeakで簡単な自己表現を含む「やり取り」を行った後に、Writeでその内容を「書くこと」という構成となっており、「話すこと」「書くこと」に関する練習が多く設定されている。</li> <li>・巻末のLet's Talkでは、既習の内容を用いた会話の練習を行うための型が提示されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の最初のページでは、大意を聞き取ることから細かな部分の聞き取りまで、段階的に課題が設定されており、生徒の学習意欲の喚起を図ることができるようにしている。</li> <li>・You Can Do It!では、目的に応じて伝える内容や表現を共同で考えるThinkingの活動があり、思考力・判断力・表現力を養うように工夫されている。</li> <li>・帯教材のStorytellingを活用して、生徒は自分の言葉で表現する活動を積み重ね、即興的に話す力を高めることができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の流れに沿って段階的に自己表現する活動が準備されており、活動の振り返りができる工夫がされている。</li> <li>・Let's Coachや英語の学び方ガイド（1年生～3年生）に英語の学び方の基本がわかりやすく示されており、生徒が主体的に学習に取り組める手立てが多く取り入れられている。</li> <li>・各学年に複数回設定されているWorld Tourというページでは、他国の文化や世界の様々な状況を紹介するなど、生徒の興味・関心をひく工夫がされている。</li> <li>・You Can Do It!のページでは様々な国の文化や人々の生活を扱い、国際的な視野を広げる内容となっている。また、グループの中で互いに発信しあう自己表現活動が設定されている。</li> </ul>	

種目名 英語	発行者名	啓林館
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の各パートが、Get Readyは「読むこと」「聞くこと」、Practiceは「話すこと」、Useは「話すこと」「書くこと」という流れで構成されており、ステップを踏みながら定着を図ることができる流れになっている。</li> <li>・各単元の「読むこと」(Read and Think)では、概要把握→細部把握→発信活動の流れに沿って構成されている。</li> <li>・Practiceでパターンプラクティス、Use①で簡単な自己表現を含むやり取り、Use②でそれを書くという構成がされており、「話すこと」「書くこと」に関する練習が多く設定されている。</li> <li>・既習の内容を用いたスキットを読み、「話すこと [やり取り]」に発展させる活動が単元ごとに設定されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元末のLet's Talkでは、生徒にとって身近な英語を聞く活動から始め、段階的に自己表現活動へつなげることができるよう構成されている。</li> <li>・Express Yourselfでは、各単元で扱われている話題について、学習したことをもとに、ペアやグループで自分の考えや体験を伝えたり、質問したりすることができる。</li> <li>・Projectでは、モデル文を読んだり聞いたりしたうえで、自分のことについて英文にまとめ、他の生徒と交流できるよう、学習段階に応じた場面設定がされている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元末のExpress Yourselfでは、3ステップを設定し、無理なくスピーチ活動に取り組めるよう構成されている。</li> <li>・Projectでは、具体的な例文とともによく使われる表現が示されており、主体的に言語活動に取り組むことができる。</li> <li>・各単元には、学習するテーマや内容について詳しく知ることができるMore Information が設定されている。</li> <li>・日本を代表するアニメやだまし絵など、親しみやすい題材が設定されている。</li> </ul>	

# 道 徳

東 京 書 籍

教 育 出 版

光 村 図 書

日 本 文 教 出 版

学 研 教 育 み ら い

廣 濟 堂 あ か つ き

日 本 教 科 書

## 観点の内容

### 道徳科 目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

観 点	観点のための研究調査事項	指導についての留意事項
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳的価値の理解に関わる学習活動が設定された箇所数</li> <li>現代的な課題に関する内容等を取扱った箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳的価値が人間らしさを表すものであることに気付き、価値理解と同様に人間理解や他者理解を深めていくよう留意する。</li> <li>生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題などを題材とし、生徒が問題意識をもって学ぶことができるように留意する。</li> </ul>
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動の箇所数</li> <li>多様な考え方を生かすための言語活動を設定した箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物事を一面的に捉えるのではなく、生徒自らが道徳的価値の理解を基に考え、様々な視点から物事を理解し、主体的に学習に取り組むことができよう留意する。</li> <li>生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動を充実させることに留意する。</li> </ul>
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動が設定された箇所数</li> <li>各教科等と関連をもたせた指導、日常生活における実践との関連に関する内容の箇所数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりすることができるよう留意する。</li> <li>各教科等と道徳科の指導のねらいが同じ方向であるとき、学習の時期を考慮したり、相互に関連を図ったりして指導を進めると、指導の効果を一層高めることができる。その際、各教科等と道徳科それぞれの特質が生かされた関連となるよう留意する。</li> </ul>



## 調査方法

### 種目名【 道徳 】

観点	調査する内容・項目についての説明
<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p>知識及び技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物教材以外の、道徳的価値の理解を深めるための学習活動ができる教材の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) コラム、先人の名言などを取り上げている箇所</li> <li>・生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応(情報モラル)等の現代的な課題等に関する内容等を取り扱った箇所数について調査を行った。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>思考力・判断力・表現力等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物事を多面的・多角的に考えるための学習活動に資する教材の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 友達のいいところ見つけ等、多様な考え方が生まれる活動の設定箇所</li> <li>・多様な考え方を生かすための言語活動について、書き込み部分の数や話し合い活動を具体的に設定した箇所数について調査を行った。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> <p>学びに向かう力・人間性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたりする学習活動が設定されている教材の箇所数について調査を行った。</li> <li>例) 自己の生活を見つめる書き込み欄や学期ごとの振り返り等の箇所</li> <li>・道徳科と各教科等との関連をもたせた指導、日常生活における実践につながるような設定がなされている教材の数について調査を行った。</li> <li>例) 他教科等の学習内容との関連付けが図られている箇所</li> </ul>

調査結果

道徳

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	道徳的価値の理解に関わる学習活動が設定された箇所数	現代的な課題に関する内容等を取扱った箇所数	物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動の箇所数	多様な考え方を生かすための言語活動を設定した箇所数	自らを振り返り、成長を実感した箇所数	日常生活における実践との関連に
		東京書籍	1年生		○		
2年生			○			○	○
3年生			○		○		○
教育出版	1年生		○		○		○
	2年生				○	○	○
	3年生		○		○	○	
光村図書	1年生		○	○			○
	2年生			○	○		○
	3年生			○		○	○
日本文教出版	1年生	○		○			○
	2年生	○	○	○			
	3年生	○	○	○			
学研教育みらい	1年生	○	○		○		
	2年生	○			○	○	
	3年生	○			○	○	
廣済堂あかつき	1年生	○		○		○	
	2年生	○			○	○	
	3年生	○		○		○	
日本教科書	1年生		○		○	○	
	2年生		○	○		○	
	3年生		○	○	○		

種目名 道徳	発行者名	東京書籍
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命尊重といじめ問題をそれぞれ3つの教材を通してユニット化し、重点的に取り扱っている。また、いじめ問題に関しては、直接的・間接的な教材、実際の事例を漫画で表した教材などが取り上げられている。</li> <li>・SDGsの観点で、人権・平和、環境・資源、防災・安全などの現代の課題を扱った教材が多く、生徒が人間としての生き方を深く考えられるように工夫されている。</li> <li>・スポーツや伝統文化、情報モラルなどの現代的な課題などについても、バランスよく配置されている。特に、情報モラルでは、SNSなど生徒が問題意識をもって取り組める身近な内容になっている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に、切り取って使える心情円とホワイトボード用紙が付いている。思考の可視化を図り、「話合いの手引き」を参考に話合い活動を活性化させるためのツールとして利用することができる。</li> <li>・各教材の「つぶやきコーナー」や教材の中に組み込まれた書き込み欄に、自分の思いを整理することで、話合いにつなげることができる。また、「Action」では、役割演技をするなど生徒の多様な意見を引き出す言語活動が充実している。</li> <li>・生命尊重といじめ問題のユニット教材の後に、自分の考えを深めるための書き込み欄が充実している。それをもとに、考えを広げる話合い活動が設定されている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に「自分の学びをふり返ろう」のページが設けられており、学期ごとの振り返りができるようになっている。生徒自らが振り返って成長を実感できることや、教師が記述内容から成長を見取ることができる。</li> <li>・デジタルコンテンツとして、二次元コードが掲載されており、関連動画や他教科の教科書紙面などを資料として活用することができる。各教科等と関連をもたせた指導がしやすいよう工夫されている。</li> <li>・終末発問に「自分を見つめよう」があり、学習したことを実生活にどのようにつなげていくか考えることができる。</li> </ul>	

種目名 道徳	発行者名	教育出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命尊重といじめ問題を扱った教材がユニット化している。ユニット以外にも、生命尊重といじめ問題を深く考える教材があり、3年間を通して繰り返しスパイラルに学習を積み上げていけるように工夫されている。</li> <li>・読むことだけに頼らない、新聞記事や漫画、絵本、写真、歌詞など様々な形式の教材が配置されており、内容が把握しやすくなっている。</li> <li>・生命倫理、情報モラル、社会参画・協働、安全・防災などの現代的な課題を考えていく教材がバランスよく配置されている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の心を揺さぶるような読み物教材や、新聞記事・漫画・絵本・写真・歌詞などの多様な形式の教材が多く、生徒の興味・関心を引き出し、「考えたい」「語り合いたい」という意欲を喚起できるよう配慮されている。</li> <li>・各学年とも、教材ごとの「学びの道しるべ」で、何をどのように考え・話し合うのか、学習の流れが分かりやすく示されている。また「やってみよう」では、直前の教材に関連して、役割演技で追体験ができる配置になっている。</li> <li>・生命尊重といじめ問題について、直接的または間接的に支える複数の教材がユニット構成されており、多面的・多角的に考えることができる。そして、コラムを手掛かりとして話し合い活動につなげることができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に「道徳の学びを振り返ろう」のページが設けられており、毎時間、毎学期に振り返りや1年間のまとめができるようになっている。生徒自らが成長を実感できることや、教師が記述内容から成長を見取ることができる。</li> <li>・「学びの道しるべ」では、学習したことを実生活にどのようにつなげていくのかを考えることができるような発問が設定されている教材が多くある。</li> <li>・巻末の「これからを生きる皆さんへ」では、1年間の道徳の学習をふまえ、これからの生き方を考えるような設定がされている。また、振り返りを書く欄に家の人から言葉をもらう箇所があり、家庭との連携を図れるようになっている。</li> </ul>	

種目名 道徳	発行者名	光村図書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を3つのシーズンに区切り、それぞれにテーマを設定している。そのテーマに沿って、様々な角度から結びつけられるよう、関連性の高い内容項目を扱った教材が配置されている。</li> <li>・道徳科の授業開きを、最初の授業に設定し、生徒がこれからの学びを見通し、目的意識をもって授業に向かえるよう工夫されている。</li> <li>・現代的な課題をバランスよく取り上げており、特に環境、国際理解、共生については、教材の後に「広げよう」でコラムを配置し、現代的な課題の理解を助ける工夫がされている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校で学習した教材を用いて、以前の自分の感じ方と比べることで、新たな気づきにつなげることができる。また、いじめ問題のユニットでは、様々な側面から捉えた教材が配置されており、生徒がいじめ問題に向き合えるように工夫されている。</li> <li>・漫画、データ資料、写真などで多様な考え方を導き出したり、「見方を変えて」で、基本的な発問とは視点を変えた発問を示したりすることで、多面的・多角的な捉え方を促している。</li> <li>・「見方を変えて」や「深めたいむ」では、役割演技や話合いの発問が具体的に示されており、問題解決的な学習や体験的な学習に取り組むことができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に「学びの記録」としてポートフォリオ形式の振り返りシートが設けられており、毎時間の振り返り、毎学期や1年間のまとめができるようになっている。生徒自らが、成長を実感できることや、教師が記述内容から成長を見取ることができる。</li> <li>・「つなげよう」では、関連する教科等や日常生活の実践につながる具体的な発問があり、学習の効果を高めるための工夫がされている。</li> <li>・「広げよう」では、実生活で考えられる課題を提示することで、教材とあわせて実践につなげる取組ができ、学びをさらに深められるよう工夫されている。</li> </ul>	

種目名 道徳	発行者名	日本文教出版
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめ問題と社会参画についてユニットが組まれており、特にいじめ問題については、認知件数のデータを基にして、1年生では年間3ユニット、2～3年生では年間2ユニットが、実施時期を考えて配置されている。</li> <li>・ 「プラットフォーム」では、人とのつながりや情報の扱い方などの、現代的な課題を取り上げるコラムが充実している。</li> <li>・ 「私の生き方」では、著名人から中学生に向けたメッセージとして、生き方のヒントや応援の言葉が掲載されており、道徳的価値の理解を深めるための学習活動に活用することができる。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いじめ問題や社会参画に関して、様々な切り口から考える直接的・間接的な教材をユニット構成にし、多様な捉え方ができるように集中的に配置されている。また、ソーシャルスキルを身につける活動も設定されている。</li> <li>・ 別冊の道徳ノートがあり、書き込み欄が充実している。どの学年も、1教材につき1ページで設定されており、自分の意見や友達の意見、話合いのメモなどが記入でき、色々な感じ方を書き残すことができる。</li> <li>・ 「学習の進め方」では、多面的・多角的にとらえる視点が提示され、議論や役割演技などの体験的な学習の具体例や写真も示されており、授業の中で効果的に活用することができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 別冊の道徳ノートで、毎時間の学習の記録や振り返りができ、巻末の「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」のページでは、毎学期の振り返りもできるようになっている。また、家の人から言葉をもらう箇所があり、家庭との連携を図れるようになっている。</li> <li>・ 「プラットフォーム」では、他教科や実生活と道徳科での学習を結び付けるようになっている。新たな考えや視野を広げることで、学びをさらに深め、実践につながるように工夫されている。</li> <li>・ 「自分にプラス1」では、自分事として、これからの自分にどう生かすかを考え、実践につながる発問が設定されている。</li> </ul>	

種目名 道徳	発行者名	学研教育みらい
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「クローズアップ」や「クローズアップ+」では、教材に関連したコラムが充実しており、道徳的価値の理解を深め、生徒が生き方についての考えを深めるための選択肢を増やせるような工夫がされている。</li> <li>・SDGsとキャリア教育の2つのユニットを3年間継続して配置している。特にSDGsでは、環境・貧困・人権・平和などの現代的な問題について、視点や内容項目の異なる複数の教材を設定するユニット構成となっている。</li> <li>・学習指導要領の内容項目「生命の尊さ」の教材を、各学年で3つずつ配置している。また他の内容項目でも、命の大切さを考える教材を複数配置し、重点的に扱っている。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「深めよう」では、「見つけよう」「考えよう」「話し合おう」「生き方につなげよう」と考えを深めるための道筋が具体的な発問とともに記されており、生徒が考えを深めやすくなっている。</li> <li>・各教材に、心の揺れに応じて思いや気づきを記入できる、メモ欄が配置されている。</li> <li>・「クローズアップ」や「クローズアップ+」で、「考えたい」「語り合いたい」という意欲を喚起し、多面的・多角的に意見を交流するような言語活動につなげることができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「深めよう」の4つ目のステップ「生き方につなげよう」では、自分を振り返ったり、自分なりの答えを見つけられたりするような、自分事として考えられる具体的な発問が設定されている。</li> <li>・すべての学年に設定された「あなたへ質問」では、具体的なデータ資料を基に、生徒が自らを振り返り、成長を実感したり、課題や目標を見つけたりする活動が設定されている。</li> <li>・学期ごとの「学びの記録」では、学びを振り返って記入することができる。また、巻頭の「マイプロフィール」と巻末の「心の四季」で、1年間の学びを通した自らの心の成長に気づくことができる工夫がある。</li> </ul>	

種目名 道徳	発行者名	廣済堂あかつき
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての学年で学期ごとに「thinking」というコラムを配置していたり、全ての教材の最後に名言が記されていたりするなど、道徳的価値の理解を深めるために、教材と合わせた活用をすることができる。</li> <li>・いじめ、情報モラル、SDGsについては、全学年で教科書の巻末で特設ページが設定されている。特に、いじめに関するページでは、様々な道徳的価値との関わりで考えられるように教材名や内容が示されている。</li> <li>・別冊の「中学生の道徳ノート」では、22の内容項目に合わせた読み物コラムが掲載されているため、補助教材として利用することで、道徳的価値の理解を深めることができる。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感動教材や実話をもとにした人物教材、直筆の文など、生徒の心を揺さぶるような読み物教材が多く、「考えたい」「語り合いたい」という意欲を喚起できるよう工夫されている。</li> <li>・全ての教材で多様な「学習の手がかり」をもとに「考える・話し合う」学びの道筋が記載されている。そしてさらに「考えを広げる・深める」というコーナーを設けて、多面的・多角的な考えを促す工夫が見られる。</li> <li>・別冊「中学生の道徳ノート」には、内容項目にあわせたコラムやグラフ、アンケート結果などの資料が豊富で、それらをもとに深められた思いを自由に書き込むことができる。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別冊「中学生の道徳ノート」では、毎時間自分を振り返り、記入することで心の整理ができ、学びの足跡を残すことができる。そしてそれを基にすることで、学期末の振り返りを行いやすくなる。</li> <li>・別冊「中学生の道徳ノート」の「心のしおり」にある道徳科で考える8つの視点に沿って記述を促すことで、生徒が自分を振り返りやすくなり、これからの課題や目標を見つけやすくなる。</li> <li>・「考えを広げる・深める」では、自分自身の課題や目標、今後の生き方について具体的に考えや行動を促す発問が設定されている。</li> </ul>	



種目名 道徳	発行者名	日本教科書
観点	選 定 の た め の 参 考	
A 知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命尊重、いじめ問題を合わせて考えており、3年間を通していじめを許さない心の根底となる、生命を尊ぶ態度を育むよう、教材の配置が工夫されている。</li> <li>・伝統文化遺産の継承と異文化理解について、各学年2つから3つの教材を配置し、地域に尽くしてきた人たちへの感謝の気持ちや、郷土に対する誇りを育むよう工夫されている。</li> <li>・生命尊重、いじめ問題、伝統と文化など、現代的な課題や問題をバランスよく配置している。</li> </ul>	
B 思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LGBTや障がいのある人など、様々な人とのコミュニケーションを通して、多面的・多角的な考え方ができるような教材が掲載されている。</li> <li>・身近な事例をもとに、家族、友人、学校、社会といった様々な視点から考えを深めたり、絵や写真をもとに、答えが一つではない課題を考えたり議論したりする教材が設定されている。</li> <li>・「考え、話し合ってみよう そして、深めよう」には、生徒の思考を揺さぶる発問が掲載されており、授業の中で自然と議論が巻き起こるような仕掛けになっている。</li> </ul>	
C 学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「考え、話し合ってみよう そして深めよう」には、自分自身の課題や目標、今後の生き方について具体的に考えや行動を促す発問が設定されている。</li> <li>・全ての学年の巻末に、1年間の道徳の授業を振り返ったり、自分の心の成長を見つめ直したりして、記入するページがある。</li> <li>・「考えてみよう」「話してみよう」「書いてみよう」などのページがあり、教材についてさらに考えを深め、自分の意見を整理して書き込むことで、自分を振り返ることができる。</li> </ul>	

## 参 考 資 料

### 調查結果（数值）

国	語
書	写
社 会（地理的分野）	
社 会（歴史的分野）	
社 会（公民的分野）	
地	図
数	学
理	科
音 楽（一 般）	
音 楽（器楽合奏）	
美	術
保 健 体 育	
技術・家庭（技術分野）	
技術・家庭（家庭分野）	
英	語
道	徳

# 調査結果

## 国語

		観点A			観点B			観点C			
		知識及び技能			思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等			
研究調査事項	発行者	言葉の特色や使用している箇所	情報の扱いに関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話し合ったり聞いたりする活動や「話すこと・聞くこと」の学習過程を明確に示している箇所	読解の学習過程を明確に示している箇所	説明的な文章や実用的な文章を取り上げ、文章を書くことに関する学習過程を明確に示している箇所	用事活動を取り上げ、得た「読むこと」の学習過程を明確に示している箇所	説明的な文章、文学的な文章、本などから情報を得て「読むこと」の学習過程を明確に示している箇所	学習指導要領に記載しているある言語活動例が示されている箇所	国語科の学習が読書活動に結び付いている箇所
		東京書籍	1年生	35	13	12	3	6	12	21	23
2年生	39		11	11	3	7	12	22	22		
3年生	39		7	13	3	4	10	21	21		
合計	113		31	36	9	17	34	64	66		
三省堂	1年生	22	13	12	2	10	18	21	22		
	2年生	27	12	9	2	8	17	25	23		
	3年生	28	7	14	2	5	18	22	23		
	合計	77	32	35	6	23	53	68	68		
教育出版	1年生	25	11	16	4	5	10	19	19		
	2年生	34	12	11	3	5	15	25	17		
	3年生	34	10	13	3	4	13	22	19		
	合計	93	33	40	10	14	38	66	55		
光村図書	1年生	19	6	24	5	9	14	28	32		
	2年生	21	12	14	5	8	13	27	28		
	3年生	24	14	14	6	7	13	20	31		
	合計	64	32	52	16	24	40	75	91		

調査結果

書写

		観点A		観点B		観点C
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等
発行社	研究調査事項	字 形、 文字 の 大 き さ、 配 列 の 例 示 の 箇 所 数	楷 書 や 行 書 の 書 き 方 に つ い て の 注 意 例 の 箇 所 数	手 本 と な っ て い る 文 字 の 数	手 本 に 関 わ る 例 示 の 箇 所 数	書 写 の 能 力 を 生 か す 様 々 な 場 面 な ど の 紹 介 例 の 箇 所 数
	東京書籍	全学年	8	16	20	17
	合計	8	16	20	17	17
三省堂	全学年	4	11	14	10	7
	合計	4	11	14	10	7
教育出版	全学年	10	13	20	16	14
	合計	10	13	20	16	14
光村図書	全学年	8	13	14	9	11
	合計	8	13	14	9	11

# 調査結果 **社会(地)**

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に關する知識、社会における概念などに関する	調査資料から様々な情報を効果的に学習内容の箇所を身に付ける学習内容の箇所	社会的な事象の多面的・多角的に考察する学習内容の箇所	社会に見られる課題の解決に向けて、社会の選択・判断したる学習内容の箇所	思考・判断したることを説明したりする学習内容の箇所	社会的な事象について、よりよい社会的現象を視野に課題を学習内容に解決しようとする学習内容の箇所	社会的な事象について、多面的・多角的に学習内容を深く理解させるための学習内容の箇所
東京書籍	全学年	130	45	25	111	42	74	150
	合計	130	45	25	111	42	74	150
教育出版	全学年	123	40	87	105	19	113	95
	合計	123	40	87	105	19	113	95
帝国書院	全学年	175	36	87	159	88	93	101
	合計	175	36	87	159	88	93	101
日本文教出版	全学年	64	44	78	100	69	77	128
	合計	64	44	78	100	69	77	128

# 調査結果

## 社会(歴)

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
発行者	研究調査事項	簡いき社治我	ける果調	察相社	のて社	学り思	数解会	の角社
		所数理会、が	る能に、の	する互的	の選会	習、そ	決の会	の学社
		解会、経	る能に、の	する互的	の選会	習、そ	決の会	の学社
		さ会、に、	る能に、の	する互的	の選会	習、そ	決の会	の学社
		せ会、に、	る能に、の	する互的	の選会	習、そ	決の会	の学社
		る会、に、	る能に、の	する互的	の選会	習、そ	決の会	の学社
		た会、に、	る能に、の	する互的	の選会	習、そ	決の会	の学社
		の会、に、	る能に、の	する互的	の選会	習、そ	決の会	の学社
		の会、に、	る能に、の	する互的	の選会	習、そ	決の会	の学社
東京書籍	全学年	198	108	25	1	117	1	101
	合計	198	108	25	1	117	1	101
教育出版	全学年	180	14	6	1	127	2	39
	合計	180	14	6	1	127	2	39
帝国書院	全学年	202	46	41	1	93	2	173
	合計	202	46	41	1	93	2	173
山川出版社	全学年	98	12	229	1	46	1	108
	合計	98	12	229	1	46	1	108
日本文教出版	全学年	96	74	90	3	107	3	54
	合計	96	74	90	3	107	3	54
学び舎	全学年	131	3	8	1	15	1	126
	合計	131	3	8	1	15	1	126
育鵬社	全学年	92	3	21	3	81	2	57
	合計	92	3	21	3	81	2	57

# 調査結果

## 社会(公)

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	簡	ける	察相	のて	学	数	の角
		い	る	互	社	習	解	学
		き	果	的	会	り	会	的
		る	調	事	に	考	的	事
		理	査	象	見	・	事	象
		解	や	の	ら	判	象	に
		さ	諸	意	を	断	に	つ
		せ	資	味	基	し	つ	い
		る	料	や	に	た	い	て
		た	か	意	課	を	、	多
		め	ら	義	題	説	よ	面
		の	様	・	の	明	り	的
		学	々	多	解	し	よ	・
		習	な	角	決	た	り	多
		内	情	的	し	り	い	多
		容	報	特	た	て	い	多
		の	を	色	り	て	い	多
		つ	身	・	す	る	い	多
		つ	に	考	る	る	い	多
		で	付	や	向	る	い	多
東京書籍	全学年	87	21	57	18	49	21	21
	合計	87	21	57	18	49	21	21
教育出版	全学年	87	18	45	22	55	15	16
	合計	87	18	45	22	55	15	16
帝国書院	全学年	80	17	62	16	21	23	15
	合計	80	17	62	16	21	23	15
日本文教出版	全学年	88	16	52	9	18	20	8
	合計	88	16	52	9	18	20	8
自由社	全学年	93	5	9	7	19	1	8
	合計	93	5	9	7	19	1	8
育鵬社	全学年	80	5	23	5	36	15	9
	合計	80	5	23	5	36	15	9

# 調査結果

## 社会地図

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	活用地図の方法を取り上げている箇所数	見学調査の方法、学習の進め方やまとめ方を取り上げている箇所数	基本図の箇所数（世界地図、日本地図、世界州別図、日本地域別図）	資料図の箇所数（社会的事象の相関図、自然環境との関係、その他）	資料図のテーマの数	巻末の統計資料の項目の数
	全学年	1	2	54	281	61	23
東京書籍	合計	1	2	54	281	61	23
帝国書院	全学年	93	13	53	328	51	15
	合計	93	13	53	328	51	15



# 調査結果

# 数学

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	箇所数	学習のまとめで、公式や性質を扱っている事項の箇所数	「問題」の箇所数	「問題」の箇所数	「問題」の箇所数	「問題」の箇所数	「問題」の箇所数
		箇所数	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数
東京書籍	1年生	1417	367	144	125	58	24	59
	2年生	703	280	138	104	95	9	32
	3年生	1147	324	181	159	66	8	45
	合計	3267	971	463	388	219	41	136
大日本図書	1年生	1747	446	210	92	57	9	58
	2年生	956	261	158	90	98	3	37
	3年生	1309	284	254	118	104	2	62
	合計	4012	991	622	300	259	14	157
学校図書	1年生	1481	360	152	151	69	13	68
	2年生	724	199	167	165	119	8	42
	3年生	1156	191	223	113	226	4	51
	合計	3361	750	542	429	414	25	161
教育出版	1年生	1672	508	171	52	74	14	64
	2年生	894	473	132	99	120	6	44
	3年生	1230	476	156	168	98	4	47
	合計	3796	1457	459	319	292	24	155
啓林館	1年生	1824	322	106	85	80	9	55
	2年生	895	186	98	96	101	1	23
	3年生	1333	186	178	97	103	6	30
	合計	4052	694	382	278	284	16	108
数研出版	1年生	1274	679	110	189	24	8	41
	2年生	739	496	136	79	60	1	22
	3年生	1200	508	194	205	62	4	36
	合計	3213	1683	440	473	146	13	99
日本文教出版	1年生	1718	363	85	45	38	9	43
	2年生	994	246	135	83	84	3	25
	3年生	1222	224	212	74	57	4	33
	合計	3934	833	432	202	179	16	101

# 調査結果

## 理科

		観点A			観点B			観点C		
		知識及び技能			思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等		
発行社	研究調査事項	安全な観察、実験などの使用に関する記述の箇所数	観察記録や実験データを示した表やグラフに表す活動を示した箇所数	単元ごとや章末の練習問題等及び学習内容を整理する工夫の箇所数	問題を見いだして課題を設定し、予想や仮説、観察、実験の計画をする活動に関する箇所数	結果を分析して解釈し表現する力を高める活動に関する箇所数	探究の過程を振り返る活動に関する箇所数	自然の事象、現象について関心を高める内容の箇所数	社会技術の利用等、実生活・実社会に関する内容の箇所数	自然環境の調査、自由研究や課題研究の意欲を高める工夫の箇所数
		東京書籍	1年生	104	16	48	80	120	17	52
2年生	114		14	50	97	138	19	79	61	
3年生	122		18	53	92	138	22	86	61	
合計	340		48	151	269	396	58	217	172	
大日本図書	1年生	126	23	38	48	28	6	71	44	
	2年生	152	24	37	65	44	7	97	36	
	3年生	108	25	48	57	36	11	96	37	
	合計	386	72	123	170	108	24	264	117	
学校図書	1年生	89	18	17	34	30	21	44	18	
	2年生	85	14	7	39	44	25	39	26	
	3年生	66	17	8	37	36	21	54	18	
	合計	240	49	32	110	110	67	137	62	
教育出版	1年生	141	27	40	46	54	15	56	44	
	2年生	130	28	37	77	41	16	76	36	
	3年生	101	24	44	89	41	24	78	29	
	合計	372	79	121	212	136	55	210	109	
啓林館	1年生	208	22	34	42	63	31	63	35	
	2年生	218	14	42	46	57	35	79	39	
	3年生	141	25	40	51	55	35	95	35	
	合計	567	61	116	139	175	101	237	109	

# 調査結果

## 音楽(一般)

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
研究調査事項	発行社	既習の知識と新たに習得した知識などが結びつく学習活動が設定されている箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数	リズム、強弱、形式などの音楽を取りづくる活動が見られる箇所数	いろいろな演奏形態による教材数	聴き取ったことや感じ取ったこと、様々な方法で伝えたり意見交換をしたりするなどの言語活動の充実が図られている箇所数
		1年生	45	34	5	35	9
教育出版	2・3年生上	8	27	7	7	40	11
	2・3年生下	12	23	11	3	32	10
	合計	28	95	52	15	107	30
	1年生	7	15	49	10	41	8
教育芸術社	2・3年生上	8	19	20	5	31	4
	2・3年生下	12	27	19	6	116	2
	合計	27	61	88	21	188	14

調査結果

音楽(器)

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	既習の知識と新たに習得した知識などが結びつく学習活動が設定されている箇所数	表現の技能を高めるための記述の箇所数	楽譜の理解を高める工夫が見られる記述の箇所数	リズム、強弱、形式などの音楽を形づくっている要素の働きを感じ取らせる活動が見られる箇所数	いろいろな演奏形態による教材数	聴き取ったことや感じ取ったことを様々な方法で伝えたり見聞したりするなどの言語活動の充実が図られている教材・学習活動の設定
	全学年	5	84	20	2	79	2
教育出版	合計	5	84	20	2	79	2
教育芸術社	全学年	4	121	31	2	69	1
	合計	4	121	31	2	69	1

# 調査結果

## 美術

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行人	研究調査事項	す特徴ることにつて扱った箇所数	技法等の手順を紹介した箇所数	学習活動が設定されている箇所数	鑑賞の活動に関わる題材の数	美術を通じた生活との関わりを	生徒が表現や鑑賞の学習をしている場面の箇所数
開隆堂	1年生	45	34	59	77	63	42
	2・3年生	54	44	77	148	63	34
	合計	99	78	136	225	126	76
光村図書	1年生	52	61	73	72	38	34
	2・3年生	48	32	69	76	45	31
	合計	100	93	142	148	83	65
日本文教出版	1年生	27	62	65	49	62	35
	2・3年生上・下	25	70	84	121	71	36
	合計	52	132	149	170	133	71

調査結果

保健体育

		観点A			観点B		観点C		
		知識及び技能			思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等		
発行社	研究調査事項	り運動やスポーツの多様な関わり方(楽しみ方)や「知る」について取り扱っている箇所数	健康や体力の状況に応じて取り扱っている必要性について取り扱っている箇所数	心の健康や疾病の予防に関する内容の箇所数	身近な日常生活の体験や事例を題材にした話し合いや、安全に関心する課題を解決する学習活動を促している箇所数	実践的理解を促すために実際に実験や図解したりして表などを用いて説明したりしている箇所数	運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することのできるよう工夫することの箇所数	自己の健康・安全に関する保持する協働的な進め方のよさを主体的に増進させるための箇所に気をつけるよう努める	身近な健康や心身の発育・発達などを肯定的に捉えられている箇所数
	全学年	265	12	190	140	136	7	30	2
	合計	265	12	190	140	136	7	30	2
	全学年	255	18	190	83	139	9	39	2
	合計	255	18	190	83	139	9	39	2
	全学年	219	20	179	70	137	11	16	4
	合計	219	20	179	70	137	11	16	4
	全学年	281	22	217	109	137	15	31	7
	合計	281	22	217	109	137	15	31	7

# 調査結果

## 技術

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	所組のギ材 数任の科―料 み学変―加 につな換及工 いて原理び、 取りや情報生 り上げ法則の育 て基礎の成、 る的につエ るなエネル	上点安 げ検全 て等・ いるが適 る箇可切 所能な 数につ作 て育や り飼 ・育、 取検 り・	所る生 数活や 問題に社 につい会 いての 取り中 上げに る技ある 術に 関 わ	数過課 程を設 につ定 いてし 取り解 り決す る一 連の 箇学 所習	に改問 つ善題 いて、 取り修 り正と 上げや てその る活過 への程 活を 用の振 仕用り 方返 り、	てり環 取や境 り持や 上げ統 て可 る能 る、 箇社 所会 数との 構 築 に 関 し わ
	東京書籍	全学年	289	161	197	74	50
	合計	289	161	197	74	50	161
教育図書	全学年	382	310	99	49	25	103
	合計	382	310	99	49	25	103
開隆堂	全学年	398	211	179	66	40	98
	合計	398	211	179	66	40	98

調査結果

家庭

		観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
発行社	研究調査事項	資料の筒所数	調理や製作などの技能に関する内容を取り上げている筒所数	数や家庭や地域で活用するための教材	問題を解決的な学習の一連の学習過程を取り上げている筒所数	筒所の関わり、将来の家庭生活や職業との関わり、文化の継承、豊かな生活	ていた指導に関する内容が設定された
		東京書籍	全学年	231	32	202	21
	合計	231	32	202	21	55	69
教育図書	全学年	171	27	208	26	58	40
	合計	171	27	208	26	58	40
開隆堂	全学年	246	21	239	14	58	95
	合計	246	21	239	14	58	95



# 調査結果

## 英語

		観点A		観点B			観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等			学びに向かう力・人間性等	
研究調査事項	発行社	聞いたこと	話すこと	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んで捉える必要な情報や考えなどを	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んで表現する	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んで表現する	日常的な話題について、伝える	外国語の背景にある文化に
		読んだこと	書くこと	「読むこと」活動の	「書くこと」活動の	「読むこと」活動の	「書くこと」活動の	「読むこと」活動の
東京書籍	1年生	96	78	59	37	38	22	26
	2年生	101	56	51	58	39	25	28
	3年生	72	42	45	50	30	18	37
	合計	269	176	155	145	107	65	91
開隆堂	1年生	82	50	52	30	54	9	11
	2年生	73	38	51	22	54	9	22
	3年生	66	34	46	19	39	6	19
	合計	221	122	149	71	147	24	52
三省堂	1年生	114	53	60	30	36	16	28
	2年生	87	49	53	27	28	16	25
	3年生	84	42	55	28	25	18	32
	合計	285	144	168	85	89	50	85
教育出版	1年生	77	33	48	17	25	6	15
	2年生	74	29	51	22	20	3	27
	3年生	56	21	44	23	10	3	21
	合計	207	83	143	62	55	12	63
光村図書	1年生	97	57	53	19	38	8	14
	2年生	79	55	55	33	32	6	27
	3年生	65	44	51	24	33	4	28
	合計	241	156	159	76	103	18	69
啓林館	1年生	87	71	48	16	45	11	18
	2年生	78	56	55	34	36	12	34
	3年生	59	42	43	28	44	9	28
	合計	224	169	146	78	125	32	80

# 調査結果

## 道徳

発行社	研究調査事項	観点A		観点B		観点C	
		知識及び技能		思考力・判断力・表現力等		学びに向かう力・人間性等	
		道徳的価値の理解に関わる学習活動が設定された箇所数	現代的な課題に関する内容等を取扱った箇所数	物事を多面的・多角的に考えるための教材や学習活動の箇所数	多様な考え方を生かすための言語活動を設定した箇所数	自らを振り返り、成長を実感したり、これからの課題や目標を見つめたりする学習活動が設定された箇所数	各教科等と関連をもたせた指導に、日常生活における実践との関連に、関する内容の箇所数
東京書籍	1年生	8	18	22	10	10	22
	2年生	14	21	19	7	11	20
	3年生	11	17	25	8	4	28
	合計	33	56	66	25	25	70
教育出版	1年生	4	19	22	11	7	15
	2年生	3	18	26	15	9	15
	3年生	2	19	24	14	7	13
	合計	9	56	72	40	23	43
光村図書	1年生	6	14	30	8	1	12
	2年生	5	13	23	7	5	14
	3年生	8	13	26	7	6	20
	合計	19	40	79	22	12	46
日本文教出版	1年生	14	13	27	7	2	13
	2年生	16	20	35	7	4	11
	3年生	16	20	34	8	5	14
	合計	46	53	96	22	11	38
学研教育みらい	1年生	20	16	23	12	4	9
	2年生	18	16	22	9	7	6
	3年生	15	17	28	12	7	8
	合計	53	49	73	33	18	23
廣済堂あかつき	1年生	30	15	25	4	12	2
	2年生	29	16	28	9	10	5
	3年生	30	19	31	3	8	2
	合計	89	50	84	16	30	9
日本教科書	1年生	9	15	22	14	12	3
	2年生	11	15	22	7	6	5
	3年生	5	16	23	8	5	4
	合計	25	46	67	29	23	12

中学校特別支援学級教科用図書選定に必要な資料  
(令和2年度作成)

# — 中学校特別支援学級 —

## ○知的障害のある生徒の場合

教科書の調査研究における観点について . . . . .	1
教科用図書調査研究観点 (著作教科書・一般図書) . . . . .	5
学年別使用のめやす . . . . .	7
国語 . . . . .	8
書写 . . . . .	10
社会 . . . . .	11
地図 . . . . .	13
数学 . . . . .	14
理科 . . . . .	16
音楽 . . . . .	18
美術 . . . . .	20
保健体育 . . . . .	21
技術・家庭 . . . . .	23
英語 . . . . .	26
道徳 . . . . .	29

○知的障害をともしない生徒の場合 . . . . .	31
----------------------------	----

滋賀県教育委員会

本県では、第3期教育振興基本計画（2019～2023年度）を策定し、基本目標である「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」を掲げ、滋賀に生きる子どもたちの確かな学力を育むため、新学習指導要領の求める教育の理念に基づき、一人ひとりの基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、文章や対話などから「読み解く力」を社会で生きていくために必要な力と位置付け、身に付けた知識・技能を活用して解決する力を育む教育の推進を図るところである。

特別支援教育においては、障害のある児童生徒一人ひとりが、障害による学習上または生活上の困難を改善・克服し、自立と社会参加のために必要な知識、技能、態度や表現力、習慣を養うことを目的として、それぞれの障害の種別や程度に応じた指導を行う必要がある。また同時に、児童生徒一人ひとりの「学ぶ力」を向上させていくことが大切である。

このため、障害のある児童生徒が使用する教科書の調査研究にあたり、学習指導要領の各教科・分野の「目標」を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の習得とその活用に特に留意し調査研究をするものとする。

また、児童生徒が二つ以上の障害を併せ有する場合に加えて留意すべき項目として、それぞれの障害種に応じた基礎的な視点を加味しながら調査研究する。

### ■「自立と社会参加のために必要な知識、技能、態度、習慣の育成」にかかる調査研究の観点

- A 日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう基礎的・基本的な事項が取り上げられているか
- B 社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるための言語活動の充実に向けた内容となるよう工夫されているか
- C 児童生徒の自主的・自発的な学習に結び付くよう工夫されているか
- D 家庭や地域と結びついた学習となるよう工夫されているか
- E 作業的・体験的な活動が十分にできるよう内容が工夫されているか

◇ 観点A：

**日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう基礎的・基本的な事項が取り上げられているか**

自立と社会参加をめざし、日常生活や社会生活に必要な技能や習慣が身に付くよう指導するとともに、あいさつや礼儀作法、また時間を守ることや決まりを守ることなどの日常生活や社会生活に密接に関係した指導は大変重要である。

こうしたことから、日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう、できるだけ基礎的・基本的な事項や事柄が取り上げられている必要がある。

◇ 観点B：

**社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるための言語活動の充実に向けた内容となるよう工夫されているか**

知識・技能の習得や、これらを活用して課題を解決するために思考し、判断し、表現することはすべて言語によって行われることから、言語能力を高めることは、感性や情緒を育て、他者とのコミュニケーション能力や社会性、豊かな心を育むことにつながっていく。

こうしたことから、社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるためにはその基盤となる言語活動の充実が必要であり、そのための取組や指導に十分な配慮がなされている必要がある。

◇ 観点C：

**児童生徒の自主的・自発的な学習に結び付くよう工夫されているか**

障害のある児童生徒、とりわけ知的障害のある児童生徒の場合、成功経験が少なく主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていないことがある。このため、日常生活と密接に関連した題材を使用することで生徒に興味・関心を持たせ、また学習の内容が日常生活や将来の自分にどのように生かされ、つながっていくかを理解させることで、児童生徒の自主的・自発的な学びへとつなげていくことが大切である。

こうしたことから、児童生徒にとって日常的でわかりやすく、また取り組みやすい題材により、意欲や関心、自ら学ぶ態度や姿勢を育てる内容となるよう工夫されている必要がある。

◇ 観点D：

**家庭や地域と結び付いた学習となるよう工夫されているか**

知的障害のある児童生徒は、その障害の特性から学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、家庭や地域など実際の生活の場で応用されにくいことが多い。このため、学校と家庭や地域との連携による授業づくりや主体的な学びの充実により、児童生徒の持つ力が家庭や地域の中で発揮できるよう指導を工夫することが大切である。

こうしたことから、できるかぎり家庭での学習や地域とのつながりを取り上げるなどして、家庭や地域と結び付いた学習となるよう工夫されている必要がある。

◇ 観点E：

**作業的・体験的な活動が十分にできるよう内容が工夫されているか**

自立と社会参加に向けては、作業や体験の積み重ねにより児童生徒に自信をつけさせていくことが重要である。このため、体育的な活動や文化芸術活動を含めたすべての教科において、児童生徒が自ら課題を設定して、解決に向けて見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を行うことで、児童生徒が知的好奇心や探究心を育て、主体的に学習に取り組む態度を養えるよう取り組むことが大切である。

こうしたことから、作業的・体験的な活動が十分にできる内容が工夫されている必要がある。

## ■ 児童生徒が二つ以上の障害を併せ有する場合に留意すべき事項について

以下に示す点を加味して調査研究を行う。

### ◇ 「視覚障害」

○視力や視機能障害の状態、また拡大鏡等の使用による認識の程度にあっているか。

- ・行間が広く、文字が大きいか。
- ・色彩が鮮明であるか。
- ・絵が大きく、簡略であるか。

### ◇ 「聴覚障害」

○視覚によって得られた内容が、言語発達を促すことにつながる内容であるか。

### ◇ 「肢体不自由および病・虚弱」

○肢体不自由の児童生徒にとって取り扱いやすく、かつ安全で破損しにくい体裁（紙質、判型、装丁）であるか。

○肢体不自由児に多く見られる、不随意運動や眼球振とう、また視野狭窄等の視知覚障害のある児童生徒に対して、「視覚障害」と同様に配慮されているか。

**中学校特別支援学級教科用図書調査研究観点（文部科学省著作教科書・一般図書）**  
**（知的障害のある生徒の場合）**

「教科書の調査研究における観点」のA～Eの各項目を踏まえたうえで、以下の各教科の具体的観点により調査研究すること。

各教科・種目の具体的観点	① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。 ② 生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。 ③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	
	国語	④ 日常生活や社会生活に必要な国語についての理解を深める内容となっているか。 ⑤ 生徒が意欲的に言語活動を充実していくことができる内容となっているか。 ⑥ 生徒の読書活動を活発にするよう工夫されているか。
	書写	④ 字形を整え、文字の大きさや配列などに気をつけて書く力を育てる内容となっているか。 ⑤ 筆記具や用紙の特質を生かし、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか。
	社会	④ 社会への理解と関心を深め、社会生活に必要な能力と態度を育てるうえでふさわしい内容となっているか。 ⑤ 生徒の生活経験や行動範囲の拡がりを踏まえ、社会生活に必要な体験的活動が展開できる内容となっているか。
	地図	④ 国土の様子や社会事象、自然環境等への理解と関心を深められる内容となっているか。 ⑤ 写真・統計資料などは最新のものが使われ、理解しやすいよう工夫されているか。
	数学	④ 日常生活に必要な数量や図形などについての理解を深め、それらを扱う能力と態度を育てる内容となっているか。 ⑤ 日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動などが工夫されているか。



各 教 科 ・ 種 目 毎 の 具 体 的 観 点	理 科	④ 身近な自然の事物・現象について興味を持ち、自然の仕組みや働きなどについて理解を深める工夫がされているか。 ⑤ 日常生活の中で科学的な見方や考え方を養い、自然を大切にすることを育てる内容となっているか。
	音 楽	④ 音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。 ⑤ 楽しく音楽に関わり、自己表現活動や鑑賞活動ができるよう工夫されているか。
	美 術	④ 造形活動によって、表現および鑑賞の能力を培い、豊かな情操を養う内容となっているか。 ⑤ 造形活動のための材料・用具や技法が幅広く取り入れられ、表現が広がるよう工夫されているか。
	保健体育	④ 運動や健康・安全についての理解を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる内容となっているか。 ⑤ 安全に体力の向上を図ることができるよう工夫されているか。
	技術・家庭	④ 職業生活や家庭生活の大切さに気付かせるとともに、必要な基礎的知識と技能の習得を図ることができる内容となっているか。 ⑤ 事故防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。
	英 語	④ 外国語に親しみ、簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。 ⑤ 日常生活でよく使われる言葉や生活の中の活動を通して学習できるよう工夫されているか。
	道 徳	④ 強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。 ⑤ 豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。

学年別使用のめやす

教科・種目	第1学年	第2学年	第3学年
国語	検：小4～中1	検：小5～中2	検：小6～中3
	著：国語☆☆☆☆～☆☆☆☆		
	一般図書	一般図書	一般図書
書写	検：中1	検：中2～中3	
	一般図書	一般図書	
社会	検：小3・4～中1	検：小5～中2	検：小6～中3
	一般図書	一般図書	一般図書
地図	検：地図（中学校用）		
数学	検：小3～中1	検：小4～中2	検：小5～中3
	著：数学☆☆☆☆～☆☆☆☆		
	一般図書	一般図書	一般図書
理科	検：小3～中1	検：小4～中2	検：小5～中3
	一般図書	一般図書	一般図書
音楽	音楽一般	検：中1	検：中2・3
	器楽	検：中	
	著：音楽☆☆☆☆～☆☆☆☆		
	一般図書	一般図書	一般図書
美術	検：中1	検：中2～中3	
	一般図書	一般図書	一般図書
技術・家庭	検：中		
	一般図書	一般図書	一般図書
保健体育	検：中		
	一般図書	一般図書	一般図書
英語	検：中1	検：中1～中2	検：中1～中3
	一般図書	一般図書	一般図書
道徳	検：小3～中1	検：小4～中2	検：小5～中3
	一般図書	一般図書	一般図書

種目名 【国 語】

文部科学省著作教科書および一般図書選定のための参考事項

(1) 「国語☆☆☆☆」「国語☆☆☆☆」 文部科学省著作教科書

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	簡単な手紙や日記、感想文などの内容を順序立てて書く力をつけることができるなど、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	身近な人の話し掛けや会話などから伝え合う力を高める工夫がされており、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	写真や挿絵が多く掲載されており、生徒の実態に合わせて学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④日常生活や社会生活に必要な国語についての理解を深める内容となっているか。	題材は季節的なもの、日常生活や社会生活に即したものが取り上げられ、理解しやすい内容となっている。
⑤生徒が意欲的に言語活動を充実していくことができる内容となっているか。	作ることを通して言語活動を広げる教材や、話す・聞く・書くことを中心にした教材と、身近な内容が取り上げられており、意欲的に言語活動を充実していくことができる内容である。
⑥生徒の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	物語教材や詩、俳句、短歌も含まれており、読書活動につながるよう工夫されている。

(2) 「くらしに役立つ国語」 東洋館出版社

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活や社会生活に必要な国語についての理解を深め活用する能力を育てる工夫がされており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	電話の使い方や手紙の書き方などがわかりやすく示されており、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	学習を進める上での具体例や注意事項が示されており、生徒の実態に合わせて学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④日常生活や社会生活に必要な国語についての理解を深める内容となっているか。	自己紹介や話し合いの仕方など、生徒の身近にある題材が取り上げられており、日常生活や社会生活に必要な言語表現の理解を深めることができる。
⑤生徒が意欲的に言語活動を充実していくことができる内容となっているか。	表現はわかりやすく簡潔で、学習内容に即した資料、写真などが効果的に取り入れられており、意欲的に言語活動を充実していくことができる内容となっている。
⑥生徒の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	俳句・百人一首・物語・詩などを含んだ読書を薦める内容も取り上げられており、生徒の読書活動を活発にするよう工夫されている。

## (3) 「にほんご」 福音館書店

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	伝え合う力を高めるよう配慮されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	見聞きしたことや自分の意見などを相手にわかるように話す力を養う工夫がされており、生徒の障害や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	ひらがな中心の表記であり、わかりやすく学習が進められるようになっている。
④日常生活や社会生活に必要な国語についての理解を深める内容となっているか。	日常生活に必要な基礎・基本となる言語能力を培う内容が多く取り上げられている。
⑤生徒が意欲的に言語活動を充実していくことができる内容となっているか。	生徒が直面する言語活動場面が多く取り上げられており、意欲的に取り組むことができる内容となっている。
⑥生徒の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	物語教材も含まれており、読書活動につながるよう工夫されている。

## (4) 「ゆっくり学ぶ子のための国語4」 同成社

(めやすとなる学年：2～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活に必要な国語についての理解を深める工夫がされており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	助詞・助動詞の使い方や言語表現が理解しやすいよう簡潔明瞭に示されており、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	挿絵が効果的に取り入れている。生徒の言語実態に合わせて学習することができるよう配慮されている。
④日常生活や社会生活に必要な国語についての理解を深める内容となっているか。	言語や文法にかかわる教材が多く取り入れられており、理解を深める内容となっている。
⑤生徒が意欲的に言語活動を充実していくことができる内容となっているか。	文学教材や説明教材など、生徒が興味をもって意欲的に学習できるように工夫されている。
⑥生徒の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	文学教材を含めて構成されており、幅広い読書活動につながるよう工夫されている。

## 種目名 【書 写】

### 一般図書選定のための参考事項

(1) 「はじめてのかきかた」 日本習字普及協会 (めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	姿勢や筆記具の持ち方や字形に注意するなど、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	文字を書くことの楽しさが味わえるよう工夫されており、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	生徒の実態に合わせて学習できるものとなっており、いろいろな線の書き方、腕の動かし方が楽しく学べるよう工夫されている。
④字形を整え、文字の大きさや配列などに気をつけて書く力を育てる内容となっているか。	見開きで1つの題字が取り上げられている。丁寧な解説により、字形を整え、文字の大きさや配列などに気をつけて書く力を育てることができる内容となっている。
⑤筆記具や用紙の特質を生かし、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか。	姿勢や道具の選び方、筆の運び方などが丁寧に示されており、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。

## 種目名 【社 会】

### 一般図書選定のための参考事項

#### (1) 「くらしに役立つ社会」 東洋館出版社 (めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	国や社会のきまり、公共施設の働きとその活用などが示されており、全体をとおして学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	障害者を支える労働制度や社会福祉のサービスの仕組みなどについてわかりやすく説明されており、社会生活に必要な学習を進めることができるよう工夫されている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	地域社会で生活していくために必要な事柄を身近な問題としてわかりやすく捉えることができ、学習が効果的に進められるものとなっている。
④社会への理解と関心を深め、社会生活に必要な能力と態度を育てるうえでふさわしい内容となっているか。	役所でできる手続き、病院や保健所の役割、警察・消防の働き、公共職業安定所や福祉事務所、就労支援センターのしくみなど、社会生活に必要な事柄がくわしく説明されており、社会生活に必要な能力と態度を育てるうえでふさわしい内容となっている。
⑤生徒の生活経験や行動範囲の広がりを踏まえ、社会生活に必要な体験的活動が展開できる内容となっているか。	日本の各地方の位置と気候、人口、歴史、産業、都道府県の様子がわかりやすく整理されており、生徒の生活経験や行動範囲を広げていくために必要な情報を得ることができるものとなっている。

#### (2) 「こども世界地図」 永岡書店 (めやすとなる学年：1～2年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	世界各地の人々のくらし、自然や産業などの地域の特徴が示されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	挿絵や写真を効果的に使い、世界の人口や世界各地の食べ物、衣装などが簡潔に示されており、生徒の障害の状況や発達段階に即して指導できる内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	世界遺産、標準時と時差、気候、民族とことばなど、様々な内容が取り入れられており、生徒の興味・関心に応じて学習活動ができるよう工夫されている。
④社会への理解と関心を深め、社会生活に必要な能力と態度を育てるうえでふさわしい内容となっているか。	世界の各地域の自然、歴史、産業の様子についてわかりやすく紹介されており、社会への理解と関心を深めていくうえでふさわしい内容となっている。
⑤生徒の生活経験や行動範囲の広がりを踏まえ、社会生活に必要な体験的活動が展開できる内容となっているか。	世界各国の人々の生活の様子が身近に感じられるような内容となっており、生徒の生活経験や行動範囲を広げていくために必要な情報を得ることができるものとなっている。

## (3) 「考える力がつく子ども地図帳&lt;日本&gt;」 草思社

(めやすとなる学年：1～2年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	我が国の自然や文化、歴史、各都道府県のデータや地図などがまとめて示されており、全体をとおして学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字にはルビがふられており、読みやすい。内容ごとに見開きのページでまとめられており、見やすいように工夫されている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	多くのテーマについて、豊富な写真や絵でまとめられており、情報量も多い。日本地理について多面的に学習できるようになっている。巻末に都道府県カルタがあり、発展的に学習できるようになっている。
④社会への理解と関心を深め、社会生活に必要な能力と態度を育てるうえでふさわしい内容となっているか。	日本列島の海底にある海溝や海流の様子、河川の長さや山、湖の大きさの比較など、日本の地形をいろいろな角度から捉えることができ、生徒が興味・関心を持って学習できる内容になっている。
⑤生徒の生活経験や行動範囲の広がりを踏まえ、社会生活に必要な体験的活動が展開できる内容となっているか。	地方ごとに、県庁所在地や名産・名所、方言などが示されており、様々な地域について興味・関心が持ちやすく、生徒の生活経験や行動範囲を広げていくために必要な情報を得ることができるものとなっている。

## (4) 「日本の歴史できごと事典」 集英社

(めやすとなる学年：1～2年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	歴史上のできごとを中心に、我が国の歴史の大きなながれを、各時代の特色を踏まえて学ぶことができるようになっており、学習指導要領に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	見開きで1つの学習内容が示されており、また、挿絵や写真によって学習が効果的に進められるように工夫されている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	挿絵や写真、図がたくさん取り入れられており、当時の社会の様子が捉えやすいよう配慮されている。
④社会への理解と関心を深め、社会生活に必要な能力と態度を育てるうえでふさわしい内容となっているか。	戦争や事件、政治、経済、文化面などの学習内容が多数取り入れられており、生徒の興味・関心に応じて課題を設定して学習できるものとなっている。
⑤生徒の生活経験や行動範囲の広がりを踏まえ、社会生活に必要な体験的活動が展開できる内容となっているか。	歴史上の人物をとおして、楽しく日本の歴史を学ぶことができ、生徒が興味をもった人物や時代について、進んで学習できるものとなっている。

## 種目名 【地 図】

### 一般図書選定のための参考事項

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	文部科学省検定教科書を生徒の実態に応じて使用することが考えられる。一般図書採択にあたっては、左記の観点を満たすものとする。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	
④国土の様子や社会事象、自然環境等への理解と関心を深められる内容となっているか。	
⑤写真・統計資料などは最新のものが使われ、理解しやすいよう工夫されているか。	



## 種目名 【数 学】

### 文部科学省著作教科書および一般図書選定のための参考事項

#### (1) 「数学☆☆☆☆」「数学☆☆☆☆」文部科学省著作教科書（めやすとなる学年：1～3年）

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活における初歩的な数量の処理や計算の仕方、長さや重さなどの単位や時計などの使い方についての理解を深め、それらを扱う能力を育てるという、学習指導要領に示された目標に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	数字、単位が大きな文字で示され、見やすく工夫されている。用いられている数量や題材は日常生活に密着しており、理解しやすい。また、身近な生活の場面の挿絵が豊富に取り入れられ、興味を持って学習が進められるように配慮されている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	1対1の数唱から計算技能、量、時間へと配列され、個々に応じて系統的に学習が進められるよう工夫されている。
④日常生活に必要な数量や図形などについての理解を深め、それらを扱う能力と態度を育てる内容となっているか。	学校生活や買い物などの具体的な場面を通して、生活に必要な数量や図形など、基礎的な事柄についての知識が身に付くように編集されている。生徒の実生活に関連した具体的な学習内容が取り入れられ、体験を通して学習できるよう工夫されている。
⑤日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動などが工夫されているか。	計算機・計量器具の使い方を取り入れ、具体的操作を通して技能や概念が身につくよう配慮されている。

#### (2) 「くらしに役立つ数学」 東洋館出版社（めやすとなる学年：1～3年）

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活に結びついた金銭の計算や数量の適切な単位表現など、自立して生活していく中で出会う事象を数理的に捉え、処理する技能を身に付ける内容となっており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	身近な生活の場面の挿絵が豊富に取り入れられ、興味を持って学習が進められるよう工夫されている。また、数量は日常生活に密着したものとなっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	「基礎編」と「生活編」に分かれていて、個々の生徒の状況に応じて、学習を進めることができるよう工夫されている。
④日常生活に必要な数量や図形などについての理解を深め、それらを扱う能力と態度を育てる内容となっているか。	買い物や時刻表を見ての外出、調理などの具体的な場面を通して、生活に必要な数量や図形などの基礎的な事柄について学ぶことができるものとなっている。また、電子式卓上計算機の使い方も丁寧に記述されており、生活の中で活用できる知識・技能を育てる内容となっている。
⑤日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動などが工夫されているか。	買い物や外出など、自分の日常生活と重ね合わせて発展的に学習を進めて行くことができるよう工夫されている。

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活に必要な「重さや量」、「図形、表とグラフ」、「時間、こよみ」など、実生活に必要な内容を学ぶことができる内容となっており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字にはすべてルビが付記されている。重さと量、金銭の扱い方など、生活単元学習や作業学習でも活用できるような内容にもなっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	「基礎を学ぼう」と「生活シーンで学ぼう」に分けられており、個々の生徒の状況に応じて、学習を進めることができるよう工夫されている。
④日常生活に必要な数量や図形などについての理解を深め、それらを扱う能力と態度を育てる内容となっているか。	身の回りの事象を数量で表しながら学ぶワーク形式となっている。生活に必要な数量や図形などの基礎的な事柄について学ぶことができるものとなっている。
⑤日常生活に生かせるよう作業的・体験的な活動などが工夫されているか。	買い物や外出など、日常生活の中にある事象から問題が設定されており、自分の経験と関連付けて考えることができる。

種目名 【理 科】

一般図書選定のための参考事項

(1) 「くらしに役立つ理科」 東洋館出版社 (めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活に生かしていけるよう、人の体や自然の仕組みなどについての初歩的な事柄が簡潔にまとめており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	難しい漢字にはルビがふられており、簡潔にわかりやすく表現されている。また、挿絵や写真は、内容理解のために効果的に配置されている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	自分の体や自然現象など、社会に出て暮らす上で役立つような内容が取り入れられている。また、自分の身の回りのことと関連づけて学習できるよう配慮されている。
④身近な自然の事物・現象について興味を持ち、自然の仕組みや働きなどについて理解を深める工夫がされているか。	身近な自然の事物や現象が紹介されており、興味をもって学習を進めてくことができるよう工夫されている。
⑤日常生活の中で科学的な見方や考え方を養い、自然を大切にすることを育てる内容となっているか。	健康にくらしていくために、まず自分の体や自然環境について関心をもつことができるよう工夫されており、自然を大切にする態度や、日常生活の現象を科学的に考える力を養うことができるものとなっている。

(2) 「NATURA ふしぎをためす図鑑 しぜんあそび」 フレーベル館 (めやすとなる学年：1年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	身近な生き物の特徴や、自然の事物・現象についての興味を広げるものとなっており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字にはルビがふられており、写真は見やすく配置されているので、興味ももてるものとなっている。また、巻末には危険な生き物の紹介など、安全面を意識し判断する力を育てるための内容も示されている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	草花、雲、風、雪や生き物を生かした学習活動が多数紹介されており、四季を通して学べるよう工夫されている。
④身近な自然の事物・現象について興味を持ち、自然の仕組みや働きなどについて理解を深める工夫がされているか。	身近な自然について、「草花の特性」「小動物の習性と飼育の仕方」、「天候の変化」などのジャンルに分け、日常生活の中での自然科学について学習できるよう工夫されている。
⑤日常生活の中で科学的な見方や考え方を養い、自然を大切にすることを育てる内容となっているか。	草や花、生きもの、川や海、雲・風・雪という身近な教材で、遊びを通して自然に親しみながら自然の仕組みが学べるよう工夫されている。豊かな自然とのふれあいによって、自然を大切にする態度を育てることができるものとなっている。

(3) 「小学館の図鑑NEO 科学の実験」 小学館 (めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	簡単でおもしろい科学の実験・あそび・工作・手品などを通して、日常生活に関係の深い自然の仕組みや働きなど、初歩的な事柄について学習することができ、学習指導要領の目標に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字にはルビがふられており読みやすい。実験の手順や難易度、材料は写真や図で示しており、発達段階に合わせて学習できるよう工夫されている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	実験の準備物や手順が示されており、器具の使い方や実験の注意事項がわかりやすい。また、実験材料がどんなところで売られているのかが書かれており、進んで科学実験をやってみようという意欲がもてるものとなっている。
④身近な自然の事物・現象について興味を持ち、自然の仕組みや働きなどについて理解を深める工夫がされているか。	光、音、温度と熱、燃焼、力など、日常生活に関係の深い9つのテーマに分けられており、分野別に科学実験が紹介されている。また、身近なものに工夫を加えてできる実験など、自然の仕組みや働きが理解できるよう工夫されている。
⑤日常生活の中で科学的な見方や考え方を養い、自然を大切にすることを育てる内容となっているか。	身近な事象や事物に興味を持てるよう、様々な題材が盛り込まれており、実験を通して発見する喜びが味わえるよう工夫されている。また、自然のしくみや働きについての解説もあり、日常生活の事象を科学的に理解できる内容となっている。

(4) 「すごい！うちでもこんな実験ができるんだ！！」主婦と生活社

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活に関係の深い自然の事物・現象についての興味を広げ、科学的な見方や考え方を養うことができるよう工夫されており、学習指導要領の目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	難しい漢字にはルビがふられており、挿絵によりわかりやすく説明されている。また、実践の手順を示すとともに「実験のコツ」のコーナーが設けられており、見通しを持って自主的に実験できるものとなっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	日常生活の中で見られる不思議な現象について広範囲に示し、体験活動をとおして学習できる内容となっている。また、実験ごとにめあてが示されており、目的を持って取り組むことができるよう工夫されている。
④身近な自然の事物・現象について興味を持ち、自然の仕組みや働きなどについて理解を深める工夫がされているか。	日常使用している身近な物を実験材料に取り上げており、簡単な材料で科学実験を行うことができるよう配慮されている。
⑤日常生活の中で科学的な見方や考え方を養い、自然を大切にすることを育てる内容となっているか。	遊びを通して学んできた事象について、科学的な視点で捉え直すことができるよう教材が選定されており、事物の働きについての理解が深められるよう工夫されている。

## 種目名 【音 楽】

### 文部科学省著作教科書および一般図書選定のための参考事項

#### (1) 「音楽☆☆☆☆」 「音楽☆☆☆☆」 文部科学省著作教科書 (めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	鑑賞、楽器づくり、合奏など様々な活動が取り入れられており、学習指導要領の目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	歌ったり、手あそびをしたり、いろいろな音をつくったりする表現活動をとおして、豊かな感性を育むことができるよう工夫されており、障害の状況や発達段階に即して活用できる内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	楽譜が見やすく自然な形で音符や音階を学ぶことができるよう工夫されており、学習を効果的に進めることができるよう配慮されている。
④音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。	自然や生活の中から楽しく感性を培うことのできる楽曲を多く取り上げており、音楽に親しむ態度を培う内容となっている。
⑤楽しく音楽に関わり、自己表現活動や鑑賞活動ができるよう工夫されているか。	リズムや曲を感じて表現するなど、生活の中で楽しく自己表現ができるよう工夫されている。また、鑑賞曲にあった挿絵により、曲のイメージを広げ鑑賞活動を楽しむことができるよう工夫されている。

#### (2) 「ブルー・アイランド先生のがくふのほん」 アマネコ舎

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	音楽によって生活を明るく楽しいものにするよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	楽譜の読み方や音楽の理論について感覚的に捉えられるようわかりやすく説明されている。また、漢字にはルビがふられており、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	項目ごとに内容理解の手がかりとなる絵と分かりやすい解説でまとめられており、生徒の実態に合わせて音楽を楽しめるように工夫されている。
④音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。	音符や楽譜が大きく示されており、生徒が興味・関心を持って学習を進めることができるよう配慮されている。
⑤楽しく音楽に関わり、自己表現活動や鑑賞活動ができるよう工夫されているか。	音の強さや速さ、表情などの変化について表現のちがいを工夫し、音楽のある生活を楽しむことができるよう工夫されている。

(3) 「楽しいオーケストラ図鑑」 小学館

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	様々な楽器について興味をもって学ぶことができ、主体的に器楽の活動をしたり鑑賞したりすることを楽しめるよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	写真が多く使用されており、実際に触れることが難しい楽器であってもイメージがしやすい。漢字にはルビがふられており、説明の文章も簡潔に記述されているため、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	オーケストラで使用される楽器がページ毎に同じ構成で説明されているため、それぞれの楽器を比較しながら特徴を学びやすくなるよう工夫されている。また、その楽器が活躍する楽曲の紹介もあり、鑑賞の活動において使用しやすい。
④音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。	演奏会をつくり上げるための様々な人々が紹介されている。演奏者だけでなく、会場やオーケストラのスタッフの仕事や、さまざまな音楽活動をする人々の記述もあり、生涯学習として音楽に親しむための知識を得られる内容となっている。
⑤楽しく音楽に関わり、自己表現活動や鑑賞活動ができるよう工夫されているか。	演奏会の1日のスケジュール、演奏会のマナーや楽しみ方について知ることができ、将来、余暇活動の一つとして音楽のある生活を楽しむための知識を得ることができる内容となっている。

## 種目名 【美術】

### 一般図書選定のための参考事項

#### (1) 「うつくしい絵」 偕成社

(めやすとなる学年：1～2年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	絵画作品の美しさなどに親しみが持てるよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	ひらがな中心の表記で、描かれている人物の感情や作者の意図が平易な言葉で解説されているため理解しやすく、生徒の障害の状況や発達段階に即したものとなっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	絵画の解説がわかりやすく楽しく示されており、効果的に絵に親しむことができるよう工夫されている。
④造形活動によって、表現および鑑賞の能力を培い、豊かな情操を養う内容となっているか。	配色や色使い、構図など、作品づくりのヒントにもなる内容となっている。また、創作の背景や解説も示されており、豊かな発想で鑑賞ができるよう工夫されている。
⑤造形活動のための材料・用具や技法が幅広く取り入れられ、表現が広がるよう工夫されているか。	作者の表現の意図や工夫したポイント、また、筆遣いや版画の特徴などが詳しく説明されており、生徒の表現が広がるよう工夫されている。

#### (2) 「色えんぴつ初級レッスン」 視覚デザイン研究所

(めやすとなる学年：2～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	身近な画材である色鉛筆を使って表現能力を培うことができるものとなっており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	描かれていく様子が、順を追ってわかりやすく示されており、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	身近な食べ物や、風景画などを題材にした色鉛筆での描き方が具体的に示されており、楽しい気持ちを味わいながら効果的に表現活動を進めることができるものとなっている。
④造形活動によって、表現および鑑賞の能力を培い、豊かな情操を養う内容となっているか。	作品には温かみがあり、また、色彩もやさしく、豊かな情操を養うことのできる内容となっている。また、作家の作品を鑑賞するページがあり、感じたことを話し合う活動の資料とすることも可能である。
⑤造形活動のための材料・用具や技法が幅広く取り入れられ、表現が広がるよう工夫されているか。	題材に合わせて色の濃淡の出し方、色の選び方、光の表現方法、使用する材料や用具などについて触れられており、表現が広がるよう工夫されている。

## 種目名 【保健体育】

### 一般図書選定のための参考事項

#### (1) 「くらしに役立つ保健体育」 東洋館出版社 (めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	運動や保健、スポーツのきまりなどの学習を通して、健康の保持増進と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てるものとなっており、学習指導要領に示された目標や内容に沿っている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	体育分野と保健分野の両方の基本的な事柄が、挿絵や写真を使いながら、わかりやすく簡潔に示されている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	運動や健康・安全、きまりや簡単なスポーツのルールなどについて、自ら学習することができるものとなっている。また、運動に必要な判断力や責任感、協調性を育て、豊かな生活を営むための態度や行動を養うことができるよう工夫されている。
④運動や健康・安全についての理解を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる内容となっているか。	「体とくらし」「いろいろな運動」「保健」「スポーツのきまり」の4つの章からなり、明るく豊かな生活を送るための生活環境や運動の重要性、サービスの利用方法などについて学習できるものとなっている。
⑤安全に体力の向上を図ることができるよう工夫されているか。	生徒自らできる体ほぐしの運動や体力を高める運動について、具体的に示されている。また、各運動の種目のルール、練習方法などについてもわかりやすく解説されている。

#### (2) 「シリーズ生活を学ぶ⑥ わたしたちのからだ」 福村出版 (めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	保健に関する基本的な知識、からだの成長と男女のちがいなど、発育・発達や健康・安全について示されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	ひらがな中心の表記で漢字にはルビがふられており、挿絵を用いながら簡潔に説明されている。また、生活するうえで必要な事柄を中心に示しており、発達段階に合ったわかりやすいものとなっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	健康な生活を送るために必要なこと、病気やけがをしたときの対処方法、大人になるときのからだの変化などについてわかりやすく示しており、日常の様々な場面で生かすことができるものとなっている。
④運動や健康・安全についての理解を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる内容となっているか。	健康な生活を送るための基本的な事柄や、かかりやすい病気、体の成長などについて、わかりやすくまとめられている。また、健康や男女の違いについて学習する中で、異性を大切にする態度を養うことができる。
⑤安全に体力の向上を図ることができるよう工夫されているか。	健康な生活を送るために運動が大切なことや、栄養のバランスを考えた食事が大切であることについて学習できるよう工夫されている。



(3) 「自立生活ハンドブック 4 からだ!!げんき!？」 全日本手をつなぐ育成会連合会

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	体のしくみや栄養、生活習慣病の予防のポイント、病気の見分け方、食べ物、予防法など、健康に関する初歩的な事柄が理解できるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	文字は大きくて読みやすく、手書きの図や挿絵により、興味を持って学習できるものとなっている。また、具体的に取り組むべき行動について、わかりやすい言葉を使って簡潔に示されている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	挿絵を見ながら、健康や病気、生活習慣病の予防について学ぶことができ、自分のからだを大切にしようとする態度を養うことができるものとなっている。
④運動や健康・安全についての理解を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる内容となっているか。	日頃から気をつけるべき生活習慣について取り上げ、生活に必要な知識と実践的態度を養うことができるよう工夫されている。また、自分の体を大切に、自他を尊重する態度を育てることができる内容となっている。
⑤安全に体力の向上を図ることができるよう工夫されているか。	健康な生活を送るためには、運動とバランスの良い食事が大切であるということをわかりやすく紹介している。

## 種目名 【技術・家庭】

### 一般図書選定のための参考事項

#### (1) 「くらしに役立つ家庭」 東洋館出版社 (めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	家族・食事・被服・住まい・環境などについての基礎的な知識と技能がまとめられており、学習指導要領の目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	用具の使い方や計画的な消費、余暇の過ごし方を、発達段階に応じて学習することができる。また、挿絵や写真、わかりやすい言葉を使って簡潔に示している。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	「家族」「食事」「被服」「住まい」「環境」の項目に分けられており、家庭生活に必要な項目を選択して学習できるよう工夫されている。
④職業生活や家庭生活の大切さに気付かせるとともに、必要な基礎的知識と技能の習得を図ることができる内容となっているか。	自分の家庭生活を振り返るとともに、今後の生活についても考えられるよう内容が構成され、食の基礎知識と調理の技能、身の回りの整頓と身支度、生活空間を整えることの大切さなどについて学習できるものとなっている。
⑤事故防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。	調理器具や電気器具の正しい使い方がわかり、作業や実習が安全にできるよう工夫されている。また、健康面や衛生面についての留意事項がわかりやすく示されている。

#### (2) 「生活図鑑『生きる力』を楽しくみがく」 福音館書店 (めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	調理、衣服、くらしについての必要な知識・技能が身に付くよう、また、明るく豊かな家庭生活に向けた実践的態度が育つよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	1つのテーマが見開きで簡潔にまとめられ、手順や方法についても図解でわかりやすく示されており、発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	日常生活の中でよく使う表現を用いているのでわかりやすい。また、身の回りに関する内容から将来に役立つ内容へと配列されており、行動範囲の広がりとともに生活経験を上げられるよう工夫されている。
④職業生活や家庭生活の大切さに気付かせるとともに、必要な基礎的知識と技能の習得を図ることができる内容となっているか。	身近自立を図るための基礎的な知識や技能を身に付け、主体的にくらす態度を育てる内容となっており、自らの生き方を考えることができるよう工夫されている。
⑤事故防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。	道具の使い方や作業のポイントがくわしく示されており、事故防止や安全・衛生にも留意されている。

## (3) 「共に生きる家庭科 自立を目指して」 開隆堂出版

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	家庭生活や職業生活に結び付く15の具体的内容から構成されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字には全てルビがふられており読みやすい。また、図や挿絵が加わり見やすい。また、端的な文章での記述となっており、分かりやすく示されている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	作業や実習に関してより実践的、体験的な学習ができるよう工夫されている。挿絵の人物の表情が分かりやすく描かれており、実際の場面での活動がイメージしやすい。
④職業生活や家庭生活の大切さに気付かせるとともに、必要な基礎的知識と技能の習得を図ることができる内容となっているか。	見出しや項目は赤色に統一して示し、何を学ぶのかをわかりやすく示している。生徒の自立につながる内容が整理され、具体的な体験を通して学べるように工夫されている。題材ごとに「学習のふり返し」を設けており、実際の生活の場で応用できるように工夫がされている。
⑤事故防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。	安全に関する事項が裏表紙に記述され、すぐに確認できるように配慮されている。事故防止、作業を円滑に進めるために統一したマークを使い、注目し、確認しやすいように書かれている。

## (4) 「坂本廣子の食育自立応援シリーズ2 お弁当」 少年写真新聞社

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	家庭生活に必要な食事や調理の基礎的な知識・技能を育てる工夫がされており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	挿絵や写真を用いて、材料・手順・調理時間がわかりやすく示されており、生徒の障害の状況や発達段階に即したものとなっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	調理前の準備から実際の調理方法、後片付けへと手順を踏まえた構成となっており、1つのメニューの作り方について見開きで見ることができるよう工夫されている。
④職業生活や家庭生活の大切さに気付かせるとともに、必要な基礎的知識と技能の習得を図ることができる内容となっているか。	身支度・器具の扱い方・調理方法と、幅広い知識・技能が身に付く内容となっている。また、和食・洋食・中華と幅広くメニューが紹介されており、選択して学習できるよう工夫されている。
⑤事故防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。	調理の際の注意事項、包丁や火の扱い方、調理器具や食器の洗い方など、衛生面や安全面についての注意事項がわかりやすく示されている。

(5) 「イラスト版 手のしごと 子どもとマスターする 49 の生活技術」 合同出版

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	生活に必要な道具や用具の正しい持ち方や使い方についてまとめられている。家庭生活や職業生活に結び付く内容となっており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	道具や用具を使うときの手や指の動かし方がよくわかるように、細かい挿絵や写真がふんだんに使われており、発達段階に応じて活用することができるよう工夫されている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	「食生活」「衣生活」「住生活」「勉強・遊び」の4項目から構成されており、すべての項目について見開きで学習できるよう工夫されている。
④職業生活や家庭生活の大切さに気付かせるとともに、必要な基礎的知識と技能の習得を図ることができる内容となっているか。	家庭生活や職業生活をしていくうえで身に付けておきたい技術がまとめられており、描かれた挿絵どおりにやってみることで、技能を身に付けていくことができるよう工夫されている。
⑤事故防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。	項目ごとに事故防止や安全・衛生についての説明があり、工夫されている。

## 種目名 【英 語】

### 一般図書選定のための参考事項

#### (1) 「ことばのえほん ABC」 あかね書房

(めやすとなる学年：1年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	アルファベットや身近な英単語を親しみながら学習できるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	すべての単語が挿絵とともに表されており、英語とその意味が結びつきやすく工夫されている。またカタカナで発音が示されており、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容になっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	アルファベットごとに様々な英単語が取り上げられており、アルファベットの発音を習得しやすくなっている。また強く発音するところは太文字で表されており、より英語らしい発音につながるよう配慮されている。
④外国語に親しみ、簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。	絵と英語と日本語が結びつけられていて、一目で情報を得られることから、英語への関心を育てることができる内容となっている。
⑤日常生活でよく使われる言葉や生活の中の活動を通して学習できるよう工夫されているか。	絵本を通して様々な英単語を学習することができ、学んだ英語が日常生活で出会う単語につながる内容となっている。

#### (2) 「あそびがいっぱい！はじめてのえいごレッスン」 成美堂出版

(めやすとなる学年：1～2年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	単語だけでなく、英単語を使ったやりとりが紹介されている。実際のコミュニケーションに活用できるよう配慮されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	英単語が、挿絵とカタカナによる発音表記でわかりやすく示されている。また、「順番を代わってほしいとき」「お礼を言うとき」など、場面ごとの簡単な英会話も取り上げられており、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容になっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	アルファベットの学習から始まり、色・形・数など基礎的な英語、身の回りにあるもの、動作を表す英語が段階的に取り上げられており、学習が効果的に進められるよう工夫されている。
④外国語に親しみ、簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。	初歩的な英会話や、英語の歌が掲載されており、英語への興味・関心を高められる内容となっている。
⑤日常生活でよく使われる言葉や生活の中の活動を通して学習できるよう工夫されているか。	日常生活や社会生活でよく使われる英単語や英会話でのやりとりを、付属のCDで聞くことができる。繰り返し聞いて自分で発音し、学習できるようになっている。

(3) 「ARで英語が聞ける英語もののなまえ絵じてん」 三省堂

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	テーマに沿った会話例が多数紹介されている。会話例の一部を置き換えることで自己表現につなげられるなど、学習指導要領に示された目標に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	アプリをダウンロードすると、すべての英単語や英会話で発音を確認することができる。また、すべての英単語に発音がカナ表記されており、生徒の発達段階に即して学習を進めることができる。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	日常生活に関連した題材の使用により、生徒の興味・関心を高める内容となっている。また英語から日本語、日本語から英語の2種類の索引によって、自ら学ぶ態度や姿勢を育てる内容となっている。
④外国語に親しみ、簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。	あいさつや自己紹介、動作・状態・気持ちを表すことばなど、名詞だけでなく動詞や形容詞も扱われており、より自然な英語表現に触れることができる。
⑤日常生活でよく使われる言葉や生活の中の活動を通して学習できるように工夫されているか。	食べ物や生き物、家や学校に関するものだけでなく、趣味や行事など日常で使うことばが、場面別に示されており、取り組みやすい題材となっている。

(4) 「はじめて英語図鑑」 学研

(めやすとなる学年：2～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	それぞれのテーマでは、ものの名前だけでなく、それらに関わる動作(動詞)が紹介され、自己表現の幅が広がるよう工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	英語を発音する際の手がかりとなる、カナ発音がついている。また太文字を強く発音することで、より英語らしく発音できるよう工夫されており、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	CDが付属されており、家庭学習でも音声を聞きながら学習することができる。また索引は日本語から英語と英語から日本語の2種類あり、調べたい言葉を自分で確認することができるよう工夫されている。
④外国語に親しみ、簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。	アメリカ、イギリスなどの国と日本との文化の違いや、さまざまな行事について紹介されており、外国への関心を育てる内容となっている。
⑤日常生活でよく使われる言葉や生活の中の活動を通して学習できるように工夫されているか。	場面やテーマごとに、日常生活でよく使われる単語や会話表現が紹介されている。またそれぞれの場面が挿絵で分かりやすく表されており、日常生活で英文を活用しやすいよう工夫されている。

(5) 「親子ではじめる英会話絵じてん① らくらくひとこと編」 三省堂

(めやすとなる学年：2～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	「あいさつする」「お礼をいう・あやまる」「たのむ・ことわる」「自分の気持ちを伝える」などの英語表現がマンガ形式で紹介されている。実際にやりとりをしながら学習できるように工夫されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	すべての英語にカタカナで発音が示されている。マンガ形式で登場人物の表情から会話のニュアンスが理解しやすく、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	平易な英語で会話が構成されており、興味を持って学習できるものとなっている。また、単語ではなく表現の索引により、調べた表現をそのまま活用できるよう配慮されている。
④外国語に親しみ、簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。	日常的な会話場面が取り上げられており、言語表現の活動をおして、英会話を楽しむことができる。また、各ページの「その他の表現」のコーナーには類似表現や文化の違いがまとめられており、外国語や外国への関心を育てる内容となっている。
⑤日常生活でよく使われる言葉や生活の中の活動を通して学習できるよう工夫されているか。	日常生活の場面においての様々な英会話表現が取り上げられており、柔軟に選択しながら学習を進めることができるよう工夫されている。

## 種目名 【道 徳】

一般図書選定のための参考事項

### (1) 「こころのふしぎ なぜ? どうして?」 高橋書店 (めやすとなる学年: 1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常生活、社会生活の中で、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考えられる基本的な事項が取り上げられており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	日常生活の中で体験する心の動きについてイラストと言葉が対応しており、理解を助けるよう工夫され、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	テーマごとに様々な角度から取り上げられた題材が数多く示されており、生徒の実態に合わせて学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。	生徒が直面する心の葛藤がわかりやすい言葉とイラストで表現されており、自己を振り返る機会となるよう配慮されている。自己理解を深め、明るく前向きに生きようとする姿勢を育むことができる内容となっている。
⑤豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。	日常生活の中で生じる自己の感情を理解することを通して、相手の気持ちを尊重する態度や豊かな道徳的心情を育てることができる内容となっている。

### (2) 「イラスト版 気持ちの伝え方」 合同出版 (めやすとなる学年: 1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	集団や社会に関するコミュニケーションに必要な基本のこトばや態度を育てる工夫がされており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	イラストによる例示がわかりやすく示されており、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	場面ごとにコミュニケーションのとり方が具体的に示され、ワークシートで考えを深められるよう配慮されている。
④強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。	心の立て直し方や、心を強くするヒントが示され、自分で問題や困難を解決していく力を育てながら、言葉によるコミュニケーションを理解し、人とのつながりを広げていくことができる内容となっている。
⑤豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。	状況に応じた言葉や態度を学習し、使えるようになることで、善悪の判断や社会生活上のきまりを理解し、日常生活に役立てようとする気持ちを育てることができる内容となっている。



(3) 「未来へむかう心が育つおはなし」 主婦の友社 (めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	物語を通して、自分の経験と照らし合わせながら考えを深めることができるなど、学習指導要領に沿った内容になっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	挿絵は、その場面の状況を適切に表現しており、自然に内容を理解でき、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容となっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	題材に適した挿絵からイメージや思考が深まるよう工夫され、さらに一話ごとに学びのポイントが示されることにより、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。	様々な物語を通して、未知の世界へ飛び込んでいく勇気、失敗をしてもくじけずに立ち上がってまた進もうとするたくましさなど、強く生きようとする意欲を高められる内容となっている。
⑤豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。	生徒が物語を通して、多様な考え方や感じ方に接することができる、物事を多面的に考えることができる。さらに、自分で考えを深め、判断し、表現できる力を育むことができる内容となっている。

(4) 「やっぱり こういうときどうするんだっけ」 毎日新聞出版

(めやすとなる学年：1～3年)

観点項目	調査のまとめ
①学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	集団や社会に関してのコミュニケーションに必要な基本のこぼや態度を育てる工夫がされており、学習指導要領に沿った内容となっている。
②生徒の障害の状況や発達段階に即しているか。	日常生活の中で体験する心の動きについてイラストと言葉が対応しており、理解を助けるよう工夫され、生徒の障害の状況や発達段階に即した内容になっている。
③学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	題材に適した挿絵からイメージや思考が深まるよう工夫され、わかりやすく簡潔な文章で解説されている。生徒の実態にあわせて学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。	身近な問題を取り上げながら、生活する上で人のかかわりの基礎的・基本的な事柄を身につけることができるよう配慮されている。周りによりよい関係を築きながら、前向きに生きていこうとする意欲を育むことができる内容となっている。
⑤豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。	具体的な場面を通して、多様な考え方や感じ方に接することができる、物事を多面的に考えることができる。さらに自分で考えを深め、判断し生きる力を育むことができる内容となっている。

## ○知的障害をともなわない生徒の場合

肢体不自由、病弱・身体虚弱、難聴、弱視、自閉症・情緒障害学級における知的障害をともなわない生徒の場合は、中学校の通常の学級における教科用図書に準じて採択するものとする。

ただし、視覚障害のある生徒に対して検定済教科書と同一内容の文字等を拡大したいわゆる「拡大教科書」を採択する場合は、附則第9条第1項の規定による教科用図書としての取扱いとなることに留意する。

令和2年(2020年)6月11日  
6月定例教育委員会  
第15号議案関係資料

滋 教 審 第 3 号  
令和2年(2020年)6月5日

滋賀県教育委員会 様

滋賀県教科用図書選定審議会  
会 長 白 井 重 樹



令和3年度において義務教育諸学校で使用する教科用図書の採択について(答申)

令和2年(2020年)4月10日付け滋教委幼小中第286号で諮問のありましたことについては、第2次答申として別紙のとおり答申します。

## 令和２年度 滋賀県教科用図書選定審議会への諮問～答申（第２次）

### 諮問事項 1

令和３年度に中学校において使用する教科用図書の採択の適正を図るため、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第８条に定める採択基準と選定に必要な資料について、御意見を賜りたい。

### 諮問事項 2

令和３年度に小学校および中学校の特別支援学級において使用する学校教育法附則第９条第１項に規定する教科用図書の採択の適正を図るため、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第８条に定める採択基準と選定に必要な資料について、御意見を賜りたい。

### 答 申

令和２年度に作成する選定に必要な資料は、次のとおりとすること。

- 1 「中学校教科用図書選定に必要な資料（令和２年度作成）－中学校－」
- 2 「中学校特別支援学級教科用図書選定に必要な資料（令和２年度作成）－中学校特別支援学級－」